

自己評価指標（ベンチマーク）解説書

低炭素ベンチマーク(2012年度実績改定版)

平成28年3月

東京都環境局

はじめに

東日本大震災以降、わが国の電力エネルギー政策は抜本的な見直しを迫られ、電力供給体制の変革とともに、需要面においても省エネルギー・節電を加速するしくみの構築が求められています。一方で、世界各地では異常気象が頻発し、地球温暖化の影響が懸念され、気候変動に関する国際的な新たな枠組みづくりの進展が求められる中、気候変動対策の推進役として都市レベルの取組への期待が高まっています。

都は、温室効果ガスを 2030 年までに 2000 年比で 30%削減するという意欲的な目標を策定するとともに、これまで大規模事業所向けのキャップ&トレード制度、中小規模事業所向けの地球温暖化対策報告書制度など、先駆的な気候変動対策を展開してきました。こうした対策を通じて培った経験やノウハウと日本の優れた省エネ技術を活用して、低炭素・快適性・防災力を備えた「スマートエネルギー都市」の実現を目指しています。

これまで地球温暖化対策報告書に取り組んでいただいていた事業者のみなさまは、既に、自らの事業所のCO₂排出量を把握し、日々、地球温暖化対策を実践されているところでございます。

都は、その取組を一層推進していくため、平成 24 年（2012 年）度に提出をいただいた地球温暖化対策報告書の情報を活用し、報告書を提出した事業者のみなさまが、自らの事業所の排出水準を把握するためのツールとして、各業種のCO₂排出状況を示した、自己評価指標（ベンチマーク）と、ベンチマークを活用する手引きとなる「自己評価指標（ベンチマーク）解説書」を作成しました。

今回、東日本大震災以降に発電方法の構成比が変化したこと等に伴い、事業所のCO₂排出量をより実態に合うものとするため、平成 27 年度の実績データの報告から新しいCO₂排出係数を使用することとしました。

これにあわせて、平成 28 年 3 月には事業者のみなさまが自らの事業所の平成 27 年（2015 年）度の実績データに対して活用いただけるようにベンチマークの原単位の見直しを行いました。

本書では、ベンチマークの作成方法や自分の事業所がどのベンチマーク区分に該当するかなど、ベンチマークの利用方法を詳しく解説していますので、報告書を提出されたみなさまに広くご活用いただけることを期待しています。

目次

1	地球温暖化対策報告書を活用した自己評価指標（ベンチマーク）導入	1
1-1	自己評価指標（ベンチマーク）導入のねらい	1
1-2	CO ₂ 排出原単位	3
1-3	ベンチマーク 2012 年度実績改定版	4
1-4	ベンチマーク（業種）区分	5
2	ベンチマークの見方と活用方法	6
2-1	ベンチマークの見方	6
2-2	ベンチマークレンジについて	7
2-3	自分の事業所におけるCO ₂ 排出原単位の確認について	8
2-4	ベンチマークとの比較について	9
2-5	ベンチマーク改定による範囲の変化	10
2-6	ベンチマークの活用について	12
3	ベンチマーク（業種）区分について	15
3-1	オフィス（テナント専有部）	15
3-2	オフィス（自社ビル）	16
3-3	テナントビル（オフィス系）	17
3-4	テナントビル（商業複合系）	18
3-5	物販店（コンビニ）	19
3-6	物販店（ドラッグストア）	19
3-7	物販店（総合スーパー・百貨店）	19
3-8	物販店（生鮮食品等）	20
3-9	物販店（食料品の製造小売）	20
3-10	物販店（服飾品）	20
3-11	物販店（自動車（新車）小売）	21
3-12	飲食店（食堂・レストラン）	21
3-13	飲食店（居酒屋・バー）	22
3-14	飲食店（ハンバーガー）	22
3-15	飲食店（喫茶）	22
3-16	飲食店（焼肉）	23
3-17	飲食店（中華料理・ラーメン）	23
3-18	飲食店（その他）	23
3-19	旅館・ホテル	24

3-20	学校・教育施設	24
3-21	病院・診療所	24
3-22	保育所	25
3-23	保健・介護施設	25
3-24	フィットネス施設	25
3-25	パチンコ店舗	26
3-26	カラオケボックス店舗	26
3-27	ゲームセンター	26
3-28	図書館	27
3-29	博物館・美術館	27
3-30	区市町村庁舎等	27
4	ベンチマークを活用する際の留意点	28
4-1	活用時の留意点	28
4-2	テナントビルにおける留意点	29
4-3	補正方法の紹介	32
4-4	物販店（コンビニ）等を例にした延べ床面積による補正方法の解説	33
4-5	今後のベンチマーク改定について	37
5	業種区分ごとのベンチマーク	38
5-1	オフィス（テナント専有部）	39
5-2	オフィス（自社ビル）	40
5-3	テナントビル（オフィス系）	41
5-4	テナントビル（商業複合系）	44
5-5	物販店（コンビニ）	47
5-6	物販店（ドラッグストア）	48
5-7	物販店（総合スーパー・百貨店）	49
5-8	物販店（生鮮食品等）	50
5-9	物販店（食料品の製造小売）	51
5-10	物販店（服飾品）	52
5-11	物販店（自動車（新車）小売）	53
5-12	飲食店（食堂・レストラン）	54
5-13	飲食店（居酒屋・バー）	55
5-14	飲食店（ハンバーガー）	56
5-15	飲食店（喫茶）	57
5-16	飲食店（焼肉）	58

5-17 飲食店（中華料理・ラーメン）	59
5-18 飲食店（その他）	60
5-19 旅館・ホテル	61
5-20 学校・教育施設	62
5-21 病院・診療所	63
5-22 保育所	64
5-23 保健・介護施設	65
5-24 フィットネス施設	66
5-25 パチンコ店舗	67
5-26 カラオケボックス店舗	68
5-27 ゲームセンター	69
5-28 図書館	70
5-29 博物館・美術館	71
5-30 区市町村庁舎等	72

参考資料 ベンチマークの作成方法

- 1 ベンチマーク作成作業フロー
- 2 スクリーニング作業の概念

1. 地球温暖化対策報告書を活用した自己評価指標（ベンチマーク）導入

1-1 自己評価指標（ベンチマーク）導入のねらい

平成 22 年（2010 年）度から開始した「地球温暖化対策報告書制度」は、中小規模事業所の地球温暖化対策の底上げを目的としたものであり、各事業所等の CO₂ 排出量を把握し、具体的な地球温暖化対策に取り組み、その内容を東京都に報告するものとなっています。

提出を開始して以降、既に 6 か年が経過し、毎年度 3 万を超す事業所の報告書が提出され、多くの中小規模事業所の CO₂ 排出量等に関する情報が集まっています。

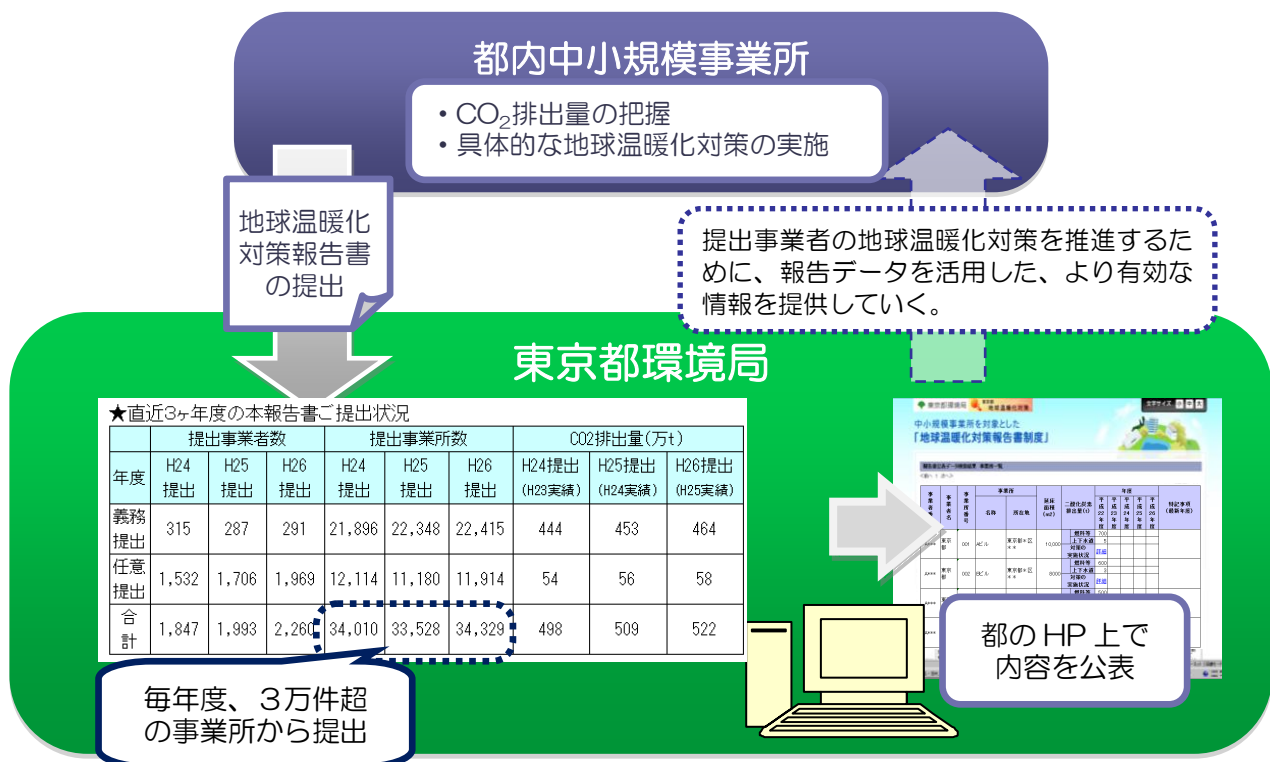


図 1-1 報告書制度による情報の蓄積（概念図）

報告された情報を分析すると、同種同規模の事業所であっても、CO₂ 排出実績が大きく異なっていることが分かってきました（図 1-2）。

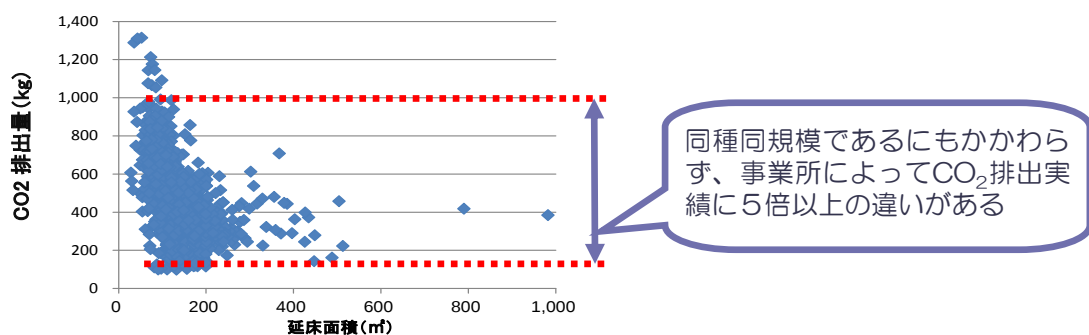


図 1-2 同種同規模事業所の CO₂ 排出実績

そこで都は、平成 24 年（2012 年）度、提出された報告書の情報を活用し、提出事業者のみなさまが、さらに地球温暖化対策を推進していくためのより有効な情報提供を行うため、自己評価指標（ベンチマーク）を作成しました。

これにより事業者のみなさまは、同種の事業所全体の中で自分の事業所の CO₂ 排出量が多いのか、少ないのかを把握できるとともに、ベンチマークと自らの事業所の排出量を比較することで、現在の排出水準を把握し、ワンランク上の排出水準を目指すことで、地球温暖化対策をより明確にステップアップしていくことができます。

自分の事業所の CO₂ 排出原単位とベンチマークを比較

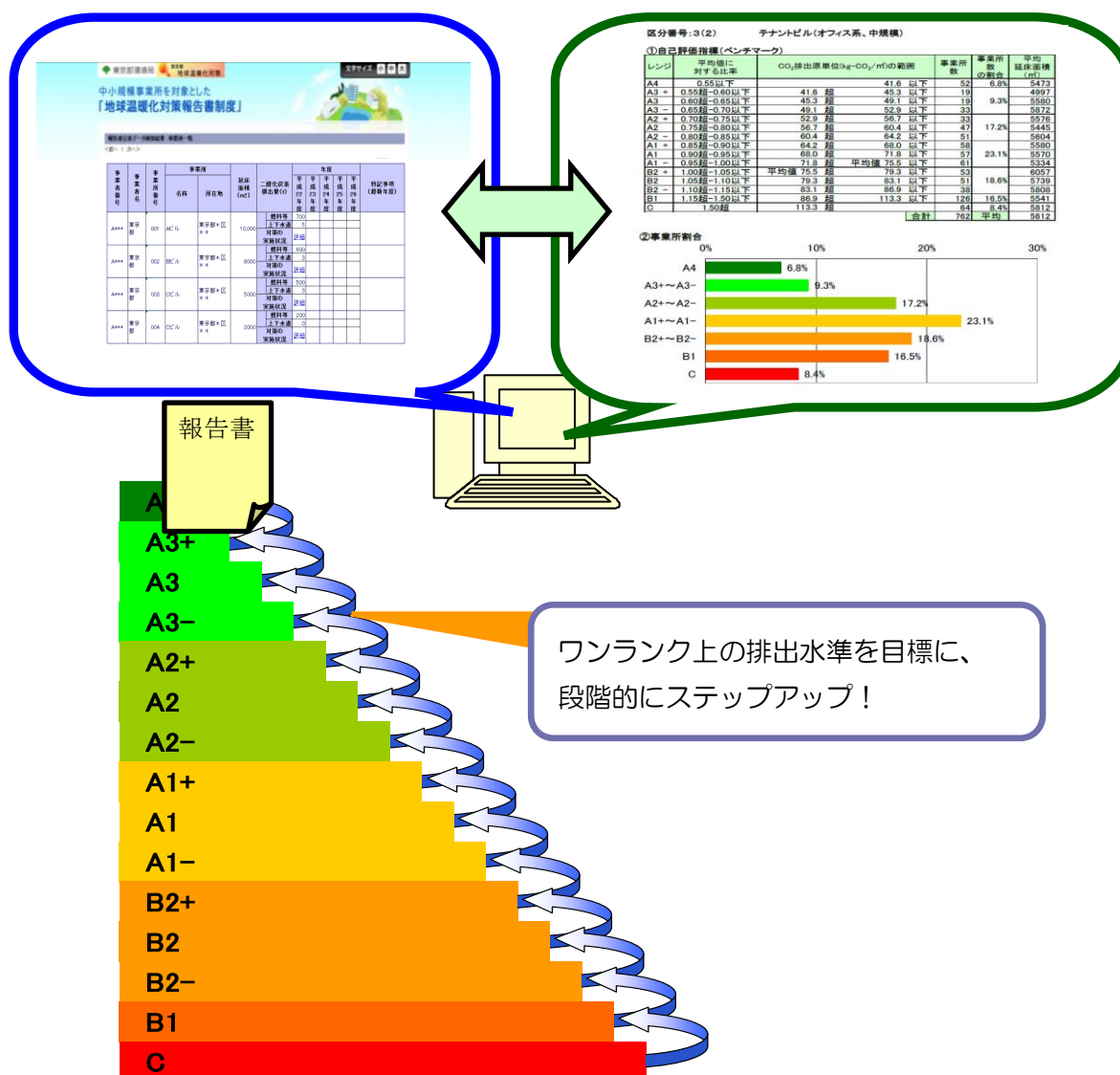


図 1-3 自己評価指標（ベンチマーク）の活用イメージ

地球温暖化対策報告書とは

都内の中小規模事業所（年間のエネルギー使用量が原油に換算して 1,500kL 未満となる事業所等※¹）全てを対象に、報告の前年度のCO₂排出量と地球温暖化対策の実施状況を都に報告する任意の報告制度。ただし、都内に複数の事業所※²を設置し、合算したエネルギー使用量が 3,000kL 以上となる事業者には、報告書の提出が義務付けられている。

※1 建物単位だけでなく、テナントも対象となります。

※2 義務提出者の合算対象事業所は、30kL 以上、1,500kL 未満の事業所

1-2 CO₂排出原単位

CO₂排出量は、一般的に事業所の規模に応じて大きければ多く、小さければ少なくなります。そのため、規模の異なる事業所のCO₂排出量の比較は、そのままでは単純に比較することはできません。

そこで、こうした比較を可能にするため、都の自己評価指標（ベンチマーク）では、指標を原単位化しています。原単位化にあたっては、既公表情報となっている燃料等の使用に伴い排出される1年間のCO₂排出量の実績値を延べ床面積で除算した単位面積当たりのCO₂排出量を算出し、それをベンチマークとしています。

$$\text{自己評価指標 (ベンチマーク)} = \frac{\text{CO}_2\text{排出量(t)} \times 1,000}{\text{単位面積(m}^2\text{)}}$$

図 1-4 自己評価指標（ベンチマーク）とCO₂排出原単位

平成 24 年（2012 年）度から、CO₂排出原単位（kg-CO₂/m²）がホームページで公表されています。それ以前の年度の実績は、公表されている情報から次のように求めることができます。

がてとより。

4件中 30 件表示

事業者番号 ID	事業者名 Owner or User	事業所等の概要(最新年度)					年度別 公表項目	年度別実績 Performance of Each Year													
		事業所番号 No.	名称 Facility	所在地 Address	延床面積 (m ²) Floor	特記事項 (最新年度) Remarks		21年度 実績 (2009)		22年度 実績 (2010)		23年度 実績 (2011)		24年度 実績 (2012)		25年度 実績 (2013)					
								t	kg/m ²	t	kg/m ²	t	kg/m ²	t	kg/m ²	t	kg/m ²				
D0004		〇〇第1	東京都新	〇〇1-1	1234.56	CO ₂ 排出状況	燃料等	75	72	69	70	56.7									
							上下水道			—											
							有無														
原単位の算出方法									公表されている原単位												
									(試算例) CO₂排出原単位 = (72(t) × 1,000) ÷ 1,234.56(m²) = 58.3(kg-CO₂/m²)												

※CO₂排出量は、燃料等の排出に伴うCO₂排出量を用います。(上下水道は除く) また、原単位は、小数点第2位は切り捨てとします。

図 1-5 CO₂排出原単位の算出方法

1-3 ベンチマーク 2012 年度実績改定版

都のベンチマークは、地球温暖化対策報告書制度により提出された、3 万を超える中小規模事業所のデータを基に作成したのですが、平成 24 年（2012 年）5 月に公表したベンチマークは、平成 22 年（2010 年）度に提出のあった、平成 21 年（2009 年）度のデータによるものでした。

震災以降、省エネ・節電の取組とその継続により中小規模事業所のCO₂排出量は、大きな削減を見せています。このため都は、平成 26 年 3 月に、平成 24 年（2012 年）度の実績データを基に、ベンチマーク区分等の見直しを行いました。

そして今回、平成 27 年（2015 年）度実績から適用となる新しい排出係数を用いて平成 24 年（2012 年）度の実績データの再計算を行い、事業者のみなさまが自らの事業所の平成 27 年（2015 年）度の実績データに対してベンチマークを活用できるように改定を行いました。

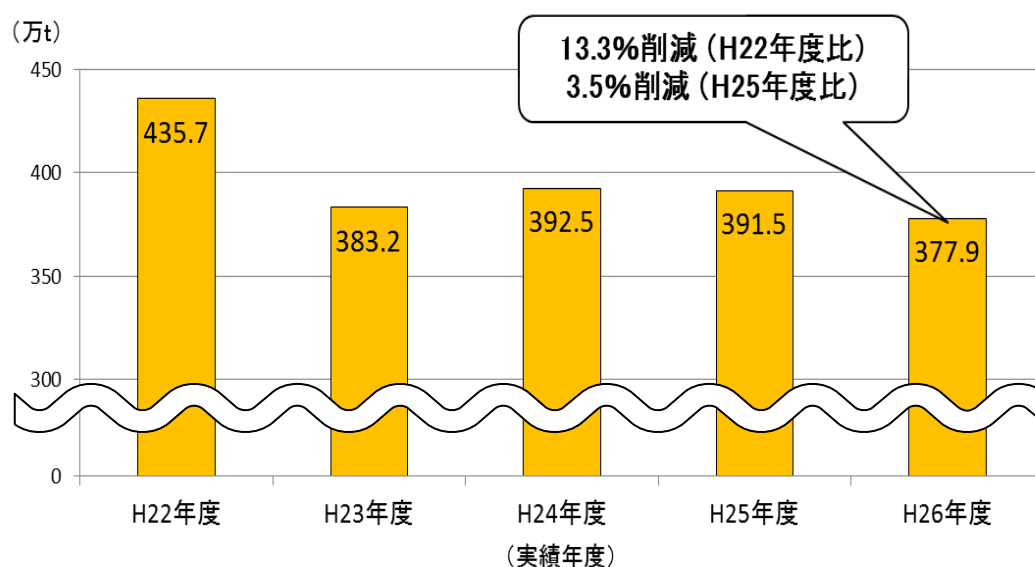


図 1-6 報告書を 5 年連続提出した事業所 (23,786 事業所) の CO₂ 排出量の推移

1-4 ベンチマーク（業種）区分

ベンチマークは、日本標準産業分類「細分類」の業種区分を基に、同質の事業形態のものを1つの区分にとりまとめて、ベンチマーク区分を構築しています。

ベンチマーク区分は、産業分類が明確（例：コンビニやハンバーガー店）な場合には、産業分類情報のみを使用し区分を作成していますが、産業分類だけでは正確に区分を設定することが困難（テナントオフィス、テナントビル）な場合には、その他の情報（所有形態、報告範囲、主たる用途など）を加味して区分を設定しています。

また、ベンチマーク区分は、原則として同質の事業形態をとる事業所が多いものについて設定していますが、すべての業種を網羅しているものではありません。

ベンチマーク区分は、現在、次に示すとおりです。（表 1-1）。

表 1-1 自己評価指標で使用するベンチマーク区分

区分 番号	ベンチマーク区分	区分 番号	ベンチマーク区分
1	オフィス(テナント専有部)	19	旅館・ホテル
2	オフィス(自社ビル)	20	学校・教育施設
3	テナントビル(オフィス系)	21	病院・診療所
4	テナントビル(商業複合系)	22	保育所
5	物販店(コンビニ)	23	保健・介護施設
6	物販店(ドラッグストア)	24	フィットネス施設
7	物販店(総合スーパー・百貨店)	25	パチンコ店舗
8	物販店(生鮮食品等)	26	カラオケボックス店舗
9	物販店(食料品の製造小売)	27	ゲームセンター
10	物販店(服飾品)	28	図書館
11	物販店(自動車(新車)小売)	29	博物館・美術館
12	飲食店(食堂・レストラン)	30	区市町村庁舎等
13	飲食店(居酒屋・バー)		
14	飲食店(ハンバーガー)		
15	飲食店(喫茶)		
16	飲食店(焼肉)		
17	飲食店(中華料理・ラーメン)		
18	飲食店(その他)		

2. ベンチマークの見方と活用方法

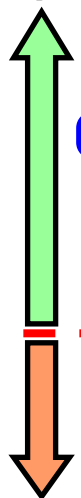
2-1 ベンチマークの見方

テナントビル(オフィス系、中規模)におけるベンチマーク

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲		事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	41.6	以下	52	6.8%	5473
A3 +	0.55超-0.60以下	41.6	超 45.3 以下	19	9.3%	4997
A3	0.60超-0.65以下	45.3	超 49.1 以下	19		5580
A3 -	0.65超-0.70以下	49.1	超 52.9 以下	33		5872
A2 +	0.70超-0.75以下	52.9	超 56.7 以下	33	17.2%	5576
A2	0.75超-0.80以下	56.7	超 60.4 以下	47		5570
A2 -	0.80超-0.85以下	60.4	超 64.2 以下	51		5570
A1 +	0.85超-0.90以下	64.2	超 68.0 以下	58	23.1%	5570
A1	0.90超-0.95以下	68.0	超 71.8 以下	57		5334
A1 -	0.95超-1.00以下	71.8	超 平均値 75.5 以下	61		6057
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 75.5	超 79.3 以下	53	18.6%	5739
B2	1.05超-1.10以下	79.3	超 83.1 以下	51		5808
B2 -	1.10超-1.15以下	83.1	超 86.9 以下	38		5541
B1	1.15超-1.50以下	86.9	超 113.3 以下	126	16.5%	5812
C	1.50超	113.3	超	64	8.4%	5612
合計				762	平均	5612

CO₂排出原単位

“小”



CO₂排出原単位

“大”



レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	
A4	0.55以下	41.6	以下
A3 +	0.55超-0.60以下	41.6	超 45.3 以下
A3	0.60超-0.65以下	45.3	超 49.1 以下
A3 -	0.65超-0.70以下	49.1	超 52.9 以下
A2 +	0.70超-0.75以下	52.9	超 56.7 以下
A2	0.75超-0.80以下	56.7	超 60.4 以下
A2 -	0.80超-0.85以下	60.4	超 64.2 以下
A1 +	0.85超-0.90以下	64.2	超 68.0 以下
A1	0.90超-0.95以下	68.0	超 71.8 以下
A1 -	0.95超-1.00以下	71.8	超 平均値 75.5 以下
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 75.5	超 79.3 以下
B2	1.05超-1.10以下	79.3	超 83.1 以下
B2 -	1.10超-1.15以下	83.1	超 86.9 以下
B1	1.15超-1.50以下	86.9	超 113.3 以下
C	1.50超	113.3	超

テナントビル(オフィス系、中規模)における平均CO₂排出原単位

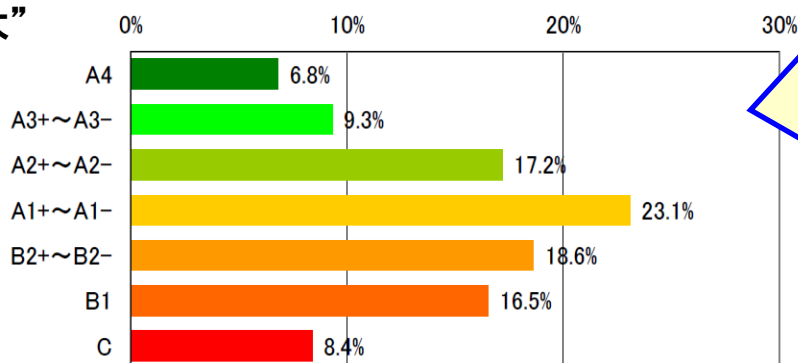


図 2-1 テナントビル(中規模、オフィス系)のベンチマークの見方(イメージ)

例えば、A3のCO₂排出原単位の範囲は45.3～49.1 kg-CO₂/m²ですが、これは、平均値(75.5)×60(%)=45.3(kg-CO₂/m²)超、平均値(75.5)×65(%)=49.1(kg-CO₂/m²)以下の範囲になります。また、ベンチマーク表右側の事業所数、割合をグラフ化したものが、下段のグラフになり、このベンチマークの対象となる業種区分（テナントビル（オフィス系、中規模））の排出水準の分布が一目でわかるようになっています。

2-2 ベンチマークレンジについて

ベンチマークは、2段階のスクリーニング作業を終了した母数の平均値を基準に、平均値からの排出原単位の少ない方に向かって、平均値から15%刻みで、A1～A4の4段階とし（A1～A3は、さらに細分化）、また、平均値から排出原単位の多い方には、平均値の15%増しをB2、50%増しをB1、B1を超えるレンジをCとして、3段階を設定（B2は、さらに細分化）しています。

表 2-1 ベンチマークレンジ基準

レンジ		基準
A4	A4	55%以下
A3	A3 ⁺	55%超-60%以下
	A3	60%超-65%以下
	A3 ⁻	65%超-70%以下
A2	A2 ⁺	70%超-75%以下
	A2	75%超-80%以下
	A2 ⁻	80%超-85%以下
A1	A1 ⁺	85%超-90%以下
	A1	90%超-95%以下
	A1 ⁻	95%超-100%以下
B2	B2 ⁺	100%超-105%以下
	B2	105%超-110%以下
	B2 ⁻	110%超-115%以下
B1	B1	115%超-150%以下
C	C	150%超

平均値から原単位の小さい（“0”に近い）方に、5%刻みで算出

平均値ライン

平均値から原単位の大きい方に、5%刻みで算出

表 2-1 からみわかれとおり、平均値自体はA1⁻に属し、平均値を超過するとB2⁺に属することになります。以下、各レンジにおける排出原単位の大きい次のレンジとの境界値についても同様に、境界値自体は当該レンジに含む構成となっています。

ベンチマークレンジは、欧州の7段階のエネルギー性能評価（具体的には、英国DEC（Display Energy Certificate）等）を参考にして、7段階（15レンジ）として構成しています。今後も、ベンチマークを活用するみなさまのご意見を踏まえて改善を図っていく予定です。

報告書を提出した事業者様は、CO₂排出原単位を都のホームページや提出した報告書から簡単に確認することができます。ベンチマークと比較したい事業所のCO₂排出原単位に関する必要な情報は、主に次の①～③の方法で確認することができます。

- ① 環境局のＨＰ上から当該事業所を確認
- ② 提出した地球温暖化対策報告書（その２）
- ③ 地球温暖化対策報告書を作成した作成ツールの入力情報

(表) 地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要															
事業所等の名称				〇〇第1ビルディング											
事業所番号				D	0	0	0	4	-	0	0	0	1		
事業所の所在地				T	F	1	6	3	-	0	0	0	0	市町村名	新宿区
町名番用 地番用				〇〇1-1-1-1											
事業所等の延床面積				123.54	m ²	事業所等の業種年度の売上高に占めるエネルギー使用割合				□1年度分 □1年未満					
所有形態				☒ 自己所有		☐ 他者所有									
報告範囲				☒ 建物の全部		☐ 建物の一部(テナント)		☐ 建物の一部(その他)							
報告範囲の主たる用途				☒ 事務所		☐ 商業施設(物販)		☐ 商業施設(飲食)		☐ その他					
日本標準産業分類における細分類番号				6	9	1	1	通関化学薬品区分	□ 産廃室	□ 加置室	□ 非鉄金属				
前年度の報告内容からの変更点															
2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成24年度の状況)															
原油換算エネルギー使用量(TJ=tp × 0.0238)														45	kI
燃料等への使用に伴い排出される水蒸気及び工業用水道の使用に伴って発生する二酸化炭素の量を(単位:kg-CO ₂ /a)														68	t/a
二酸化炭素原料等への使用に伴い排出される二酸化炭素の底面面積当たりの量(単位:kg-CO ₂ /m ²)														0	a
二酸化炭素原料等への使用に伴い排出される二酸化炭素の底面面積当たりの量(単位:kg-CO ₂ /m ² ; 数量の年別総括値)														55.0	kg-CO ₂ /m ²
排出原単位は、数量(トン)×1000÷数量の年別総括値															
3 燃料に係るエネルギー消費量の内訳															
燃料等の種類				推計の方法	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出率(単位:CO ₂ /GJ)	排出量(t-CO ₂ /a)	削減率(%)	削減効果(t-CO ₂ /a)			
燃 料	都市ガス	☐	Nm ³	巻	45,000		0.01136		0.01136						
	その他のLPG	☐	kg	巻	50,000		0.01431		0.01431						
	灯油(灯油)	☐	L	巻	26,700		0.01145		0.01145						
	その他*	☐	J	巻											
	その他*	☐													
電 力	一般電気事業者からの買電	☐	KWh	巻	9,977		0.382		0.382						
	特定電気事業者からの買電	☐	KWh	巻	9,978		0.382		0.382						

方法②：報告書(その2)
による確認

トップに戻る

事業所一覧に戻る

換算係数を参照する

入力データ削除

←毎月の
（燃料費）

電力については、昼間と夜間等で異動していない場合は、すべてのその他の買電（昼夜間不明の場合も含む。）に人力してください。

推計で求めた場合は、リスト(有)を
選んで登録してください。

事業所情報		項目		単位	推計の 使用	熱量換 算係数	熱量合計 (GJ)	CO ₂ 換 算係数
No	名称							
1	〇〇第1ビル ディング	燃料等の使用に伴う熱量合計	1,759,425	MJ				
		原油換算合計	45	kL				
		燃料等の消費	68	tCO ₂				
		排水等に伴うCO ₂ 排出量	0	tCO ₂				
		CO ₂ 排出量合計	68	tCO ₂				
		燃料等の使用に伴うCO ₂ 排出単単位	55.0	tCO ₂ /m ³				
		都市ガス	暖圧	m ³	45.00	0	0.014	
			中圧	m ³	45.00	0	0.014	
			温水	MJ	1.36	0	0.052	
		(データ の重複 不可)	冷水	MJ	1.36	0	0.052	
		電力	一般電気事業者 からの買電	昼間 (8時から22時)	kWh	9.97	0	0.382
				夜間 (22時から翌日8時)	kWh	9.28	0	0.382
			その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	9.76	1,759	0.382	
				0	0.382			
					0.200			
					0.450			

方法③：作成ツール による確認

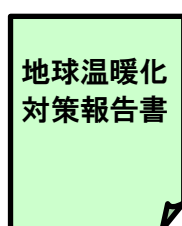
図 2-2 事業所のCO₂排出原単位の確認方法

2-4 ベンチマークとの比較について

自分の事業所のCO₂排出原単位が確認できたら、当該区分のベンチマークと比較することで、自分の事業所がベンチマークのどの範囲に入っているのかが分かります。これによりベンチマークの業種区分における自分の事業所のCO₂排出水準を把握し、評価することができます。

ここでは、実際に自分の事業所のCO₂排出量とベンチマークとの比較を、オフィス（テナント専有部）を例にとって説明します。

<参考例>



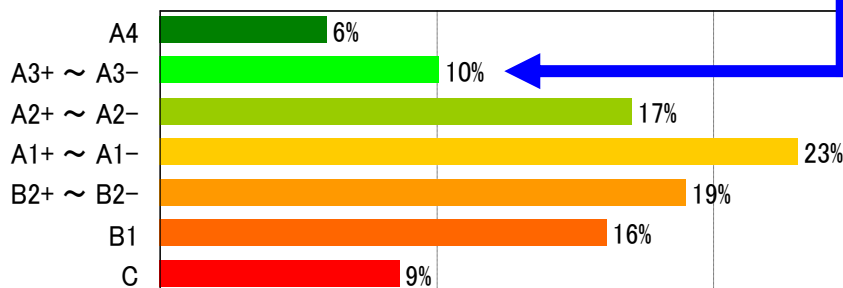
延べ床面積 1500m² CO₂排出量 75t



$$\text{CO}_2 \text{ 排出原単位} = (75 \times 1,000) \div 1500 \\ = 50\text{kg-CO}_2/\text{m}^2$$

テナントビル(中規模、オフィス系)におけるベンチマーク

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	41.6 以下	52	6.8%	5473
A3 +	0.55超-0.60以下	41.6 超 45.3 以下	19	9.3%	4997
A3	0.60超-0.65以下	45.3 超 49.1 以下	19		5580
A3 -	0.65超-0.70以下	49.1 超 52.9 以下	33		5872
A2 +	0.70超-0.75以下	52.9 超 56.7 以下	33	17.2%	5576
A2	0.75超-0.80以下	56.7 超 60.4 以下	47		5445
A2 -	0.80超-0.85以下	60.4 超 64.2 以下	51		5604
A1 +	0.85超-0.90以下	64.2 超 68.0 以下	58	23.1%	5580
A1	0.90超-0.95以下	68.0 超 71.8 以下	57		5570
A1 -	0.95超-1.00以下	71.8 超 75.5 以下	61		5334
B2 +	1.00超-1.05以下	75.5 超 79.3 以下	53	18.6%	6057
B2	1.05超-1.10以下	79.3 超 83.1 以下	51		5739
B2 -	1.10超-1.15以下	83.1 超 86.9 以下	38		5999
B1	1.15超-1.50以下	86.9 超 113.3 以下	126		
C	1.50超	113.3 超	64		
合計			762		



算出したCO₂排出原単位は50kg-CO₂/m²で、A3-の範囲に位置する。

割合やグラフから上位約16%位の排出水準であることが読み取れる。

図 2-3 事業所のCO₂排出水準の把握（参考例）

2-5 ベンチマーク改定による範囲の変化

ベンチマークは、地球温暖化対策報告書の各事業所等のCO₂排出実績を基に作成しています。そのため、集計を行った年度の実績水準により、データの基となる事業所数（有効データ）や平均値等が異なってきます。

本書のベンチマークは、平成 24 年（2012 年）度のデータを基に平成 27 年（2015 年）度実績から適用となる新しい排出係数を用いて再計算を行い、作成したものです。改定前ベンチマークと改定後ベンチマークの違いについては、次ページに比較表を掲載していますのでご参照ください。

平成 27 年（2015 年）度以降の排出実績とベンチマークの比較を行う場合は、改定後のベンチマークを利用してください。

表 2-2 平成 28 年 3 月の改定による新・旧ベンチマークの比較表

区分no.	ベンチマーク区分名	(新) 2012年度実績改定版			(旧) 2012年度実績版		
		事業所数 (有効データ)	平均原単位 kgCO ₂ /m ²	平均延床 m ²	事業所数 (有効データ)	平均原単位 kgCO ₂ /m ²	平均延床 m ²
1	オフィス(テナント専有部)	722	81.3	1467	727	63.6	1458
2	オフィス(自社ビル)	573	65.4	4232	573	52.0	4232
3(1)	テナントビル(オフィス系、小規模)	517	78.9	1966	517	61.9	1966
3(2)	テナントビル(オフィス系、中規模)	762	75.5	5612	763	59.7	5616
3(3)	テナントビル(オフィス系、準大規模)	199	75.1	13970	201	59.6	13977
4(1)	テナントビル(商業複合系、小規模)	135	207.7	1783	135	165.5	1783
4(2)	テナントビル(商業複合系、中規模)	118	174.8	5687	119	138.8	5672
4(3)	テナントビル(商業複合系、準大規模)	40	124.1	13470	40	99.6	13467
5	物販店(コンビニ)	3646	585.4	142	3646	456.6	142
6	物販店(ドラッグストア)	312	295.4	341	312	230.1	341
7	物販店(総合スーパー・百貨店)	423	259.7	3999	423	204.5	3999
8	物販店(生鮮食品等)	694	387.0	1772	694	303.2	1772
9	物販店(食料品の製造小売)	355	765.3	81	355	638.0	81
10	物販店(服飾品)	168	124.8	958	168	98.0	958
11	物販店(自動車(新車)小売)	267	63.4	1668	267	51.6	1668
12	飲食店(食堂・レストラン)	1569	596.6	240	1569	496.2	240
13	飲食店(居酒屋・バー)	1127	365.1	280	1127	301.5	280
14	飲食店(ハンバーガー)	413	733.4	220	413	600.5	220
15	飲食店(喫茶)	394	414.1	139	394	324.8	139
16	飲食店(焼肉)	119	561.9	184	119	458.2	184
17	飲食店(中華料理・ラーメン)	183	985.1	106	183	876.4	106
18	飲食店(その他)	437	718.7	145	439	601.1	145
19	旅館・ホテル	158	125.2	4311	158	103.8	4311
20	学校・教育施設	1781	23.4	7339	1781	19.9	7338
21	病院・診療所	48	106.0	5213	48	86.2	5213
22	保育所	241	57.1	960	241	49.0	960
23	保健・介護施設	422	72.6	2332	423	62.5	2317
24	フィットネス施設	146	203.5	3248	146	178.9	3248
25	パチンコ店舗	89	287.1	1068	89	224.9	1068
26	カラオケボックス店舗	168	252.1	635	168	198.5	635
27	ゲームセンター	50	333.9	905	50	259.9	905
28	図書館	149	64.3	1981	149	52.6	1981
29	博物館・美術館	64	69.3	2717	63	56.7	2758
30	区市町村庁舎等	62	54.6	7778	62	44.5	7778

2-6 ベンチマークの活用について

(1) ベンチマークを活用したPDCAの実践

本解説書のベンチマークと、自分の事業所のCO₂排出水準と比較することにより、同業種の事業所全体の中で、自らのCO₂排出水準が多いのか少ないのか立ち位置を知ることができます。また、ベンチマークの範囲やそのレンジに属する事業所の割合を確認することで、自らの事業所が、概ね上位何%程度に位置しているのか把握することができます。

現状を認識することで、自らが目指すべき地球温暖化対策（事業所のCO₂排出水準）について、次のステージが見えてきます。

ベンチマークの有効な活用方法は、上位のCO₂排出水準を自分の事業所の次なる目標水準として設定できることにあります。目標となる水準が定まることで、現在実施している地球温暖化対策の内容や程度を客観的に評価・見直し、さらにステップアップしていくためにはどの対策を実践していくことが良いのか等を具体的に検討することが可能となります。

具体的な目標を設定することで、地球温暖化対策・省エネ対策のPDCAサイクルを推進していくことができます。

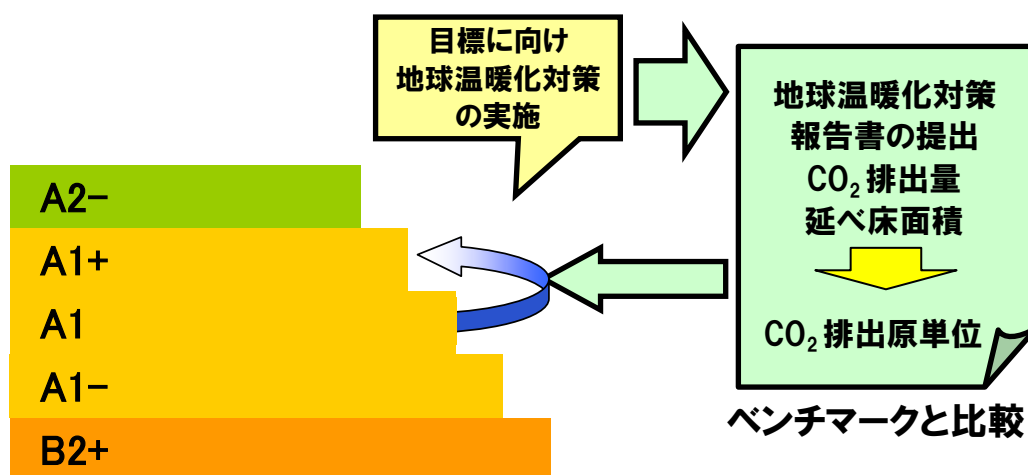


図 2-4 ベンチマークを活用したPDCAの実践

(2) 上位の事業所をお手本に対策メニューを検討

ベンチマークを活用することで、同業種の事業所の中で自分の事業所よりCO₂排出水準が上位に位置する事業所を見つけ、その事業所では、どのような地球温暖化対策が行われ、どんな取組を実施しているか把握することで、自らが実践する地球温暖化対策の手本とすることも可能です。

地球温暖化対策報告書制度の公表画面を利用し、次章で説明するベンチマークに属する産業分類番号による事業所を検索し、事業所一覧の画面から手本となるCO₂排出水準の少ない同種の事業所を探すことができます。

事業所一覧画面のCO₂排出実績下の「詳細」をクリックすることで当該事業所の地球温暖化対策の実施状況が表示されます。表示された地球温暖化対策メニューを参考にし、自分の事業所の地球温暖化対策の実施メニューを策定することができます。

事業所検索 Search by Facility Information

事業所名 Name of Facility

所在地 Address of Facility

郵便番号 (例 999-9999)

区市町村名 指定しない

町名番地以下

提出区分 Submission Category [Mandatory/Voluntary]

延床面積 Total Floor Area m²以上 m²

用途・業種 Type of Business

主たる用途 指定しない

産業分類(中分類) 指定しない

産業分類(細分類) 指定しない

事業所一覧を表示する Search

事業者・事業所条件による複合検索が可能

事業者番号 ID	事業者名 Owner or User	事業所番号 No.	名称 Facility	所在地 Address	延床面積 (m ²) Floor	特記事項 (最新年度) Remarks	年度別公表項目 Performance of Each Year				
							21年度 実績 (2009)	22年度 実績 (2010)	23年度 実績 (2011)	24年度 実績 (2012)	
xxxxxxx	新渡戸行株式会社	xxxxx	新渡戸ビル	新渡戸西新面	3020.15		CO ₂ 排出状況	117	115	72	
							燃料等	2	2	2	
							上下水道				
							有無				
							目標達成状況				
							対策の実施状況	詳細	詳細	詳細	

地球温暖化対策の実施状況

対策番号	対策名	対策番号	対策名
A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
		A405	ビル全体の推進体制の整備
E101	自ら入手可能な情報に基づく把握	E106	過去のデータによる傾向の把握
E105	エネルギー使用量の前年度比較	E108	エネルギー等情報の対策への活用
C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C120	外灯等の点灯時間の季節別管理

図 2-5 地球温暖化対策報告書制度の公表画面の利用

(3) ベンチマークを活用する際の留意点

ベンチマークを活用する際の留意点について、4. ベンチマークを活用する際の留意点にて解説していますのでご覧ください。

(4) ベンチマークを用いたテナントビルの環境評価（カーボンレポート）

カーボンレポートは、ベンチマークによってテナントビルの省エネレベルを分かりやすく表示した書面で、地球温暖化対策報告書を提出しているテナントビルであれば、ホームページから簡単にダウンロードすることができます。ビルオーナー等が、不動産取引の際に示すことでビルの環境性能のアピールに活用できます。また、エントランス等に掲示することで来訪者への温暖化対策や CSR 活動の PR に繋がり、幅広い活用が可能です。

(URL) <http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/other/lowcarbon.html>

【カーボンレポート裏面】

	重点対策	その他対策
組織体制の整備	対策名 地球温暖化防止の推進の特定 具体的な数値目標と内容の特定 取組状況の公表体制の構築	対策名 都などの無料の市民登録の利用 外部専門業への相談依頼の実施
エネルギー等の 使用状況の把握	自法人等個別の建物に基づいた エネルギー使用量の前年度比較	過去のデータによる傾向の把握
	利用団体のプロファイルの管理	経路図の適正管理
	利用者のプロファイルの公開	
運用対策		
	利用者の定期的な連絡・交換	その他数値の定期的な保守・点検
設備保守対策	空調フィルターの清掃・点検	
	基本設備点検器具の使用（屋内）	更新に合わせた基本設備器具の使用
設備導入対策	空調エネルギーの削減	

上記は、事業計画が実施中に実行した対策です。

●空調設備（自由記入）

〇〇〇ビルディングでは、空調設備を更新し、全ての照明器具をLED照明化する等ビル全体の光熱費の削減を図っております。

◆注記

ビルのCO2排出原単位（延床面積当りの年間CO2排出量）は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中央地区のCO2排出原単位の平均値を適用し、換算値に示してあり、その平均値から多少のCO2排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル（省エネルギー性能）を評価することができます。

なお、ビルCO2排出原単位は、空室率、給湯や電気室の有無、稼働時間、入居テナントの稼働や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネルギーの取組がより顕著に大きい場合は、評価者から、これらの要因などの理由、CO2排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、「自己評価指標（ベンチマーク）解説書」（東京都環境局発行）をご参照ください。

【カーボンレポート:ダウンロード画面】

地球温暖化対策報告書公表データ検索結果 事業所一覧ページからダウンロード

3. ベンチマーク（業種）区分について

報告書を提出した自分の事業所がどのベンチマーク区分に該当（属）しているかについては、次表の「表 3-〇 ベンチマーク区分と日本標準産業分類等との対比表」で確認してください。

ベンチマークの業種区分が、産業分類情報だけでなく、その他の情報も加味して設定している場合には、設定方法についても解説していますので、自分の事業所の属性を確認する際の参考としてください。

3-1 オフィス（テナント専有部）

この区分では、オフィス（テナント専有部）のベンチマーク区分を設定しています。テナントビル自体のベンチマーク区分は 3-3 で説明していますが、ここでは、テナントビルの共用部は含まれず、テナント専有部の CO₂ 排出量についてのベンチマーク区分となっています。

テナント専有部か否かについては、産業分類情報だけでは特定ができないため、報告書その 2 の事業所に関する情報から、建物の所有形態が「他社所有」、報告範囲が「建物の一部（テナント）」である事業所をテナント専有部として抽出し、そこから、報告範囲の主たる用途※が「事務所」である事業所をオフィス（テナント専有部）とし、ベンチマークの区分を設定しています。なお、産業分類情報により、公共機関に該当する産業分類番号を除外しています。

※ 主たる用途とは、「報告範囲における延床面積の 50 % 以上を占める用途」としています。

その 2 (表)

地球温暖化対策報告書 ()

1 事業所等の概要									
事業所等の名称									
事業所番号									
事業所等の所在地									
事業所等の延床面積									
事業所等の実績年次									
所 有 形 態									
報 告 範 囲									
報告範囲の主たる用途									
日本標準産業分類における細分類番号									
前年度の報告からの変更									

✓他社所有
✓建物の一部（テナント）

↓

まず、テナント（専有部）を抽出

✓事務所
✓産業分類

→

オフィス相当を抽出
公共機関を除外

図 3-1 オフィス（テナント専有部）の抽出条件

表 3-1 ベンチマーク区分（オフィス（テナント専有部））と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
1	オフィス (テナント専有部)	全ての産業分類 ただし、6911 貸事務所業及び下記の公共機関等を除く 96 外国公務 97 国家公務 98 地方公務		・他社所有 ・一部使用 ・事務所 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-2 オフィス（自社ビル）

この区分では、オフィス（自社ビル）のベンチマーク区分を設定しています。自社ビルか否かは、産業分類情報だけでは特定ができないため、報告書その2の事業所に関する情報から、建物の所有形態が「自己所有」、報告範囲が「建物全部」である事業所を自社ビルとして抽出し、そこから、報告範囲の主たる用途が「事務所」である事業所をオフィス（自社ビル）とし、公共機関に該当する産業分類番号を除外してベンチマークの区分を設定しています。

地球温暖化対策

1 事業所等の概要

事業所等の名称

事業所番号

事業所等の所在地

事業所等の延床面積

事業所等の使用期間

事業所等の所有形態

報告範囲

報告範囲の主たる用途

日本標準産業分類における細分類番号

前年度の報告からの変更

✓自己所有
✓建物全部
まず、自社ビルを抽出

✓事務所
✓産業分類
オフィス相当を抽出
公共機関を除外

図 3-2 オフィス（自社ビル）の抽出条件

表 3-2 ベンチマーク区分（オフィス（自社ビル））と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
2	オフィス (自社ビル)	全ての産業分類 ただし、6911 貸事務所業及び下記の公共機関等を除く 96 外国公務 97 国家公務 98 地方公務		・自己所有 ・全部使用 ・事務所 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-3 テナントビル（オフィス系）

この区分では、テナントビル（オフィス系）のベンチマーク区分を設定しています。3-1 オフィス（テナント専有部）とは逆に、ここでは、ビルの共用部も含めたビル全体のCO₂排出量についてのベンチマーク区分となっています。

テナントビルか否かについては、産業分類情報だけでは特定ができないため、報告書その2の事業所に関する情報から、建物の所有形態が「自己所有」、報告範囲が「建物の全部」である事業所をビル（1棟分）として抽出し、そこから、産業分類の中分類番号 69 不動産賃貸業・管理業の中の細分類番号 11 貸事務所業により、テナントビルのベンチマークの区分を設定しています。

また、テナントビルにおいては、その用途によりCO₂排出量が大きく異なってくることからオフィス系と商業複合系に区分しています。

テナントビル（オフィス系）では、報告範囲の主たる用途が、「事務所」である事業所をテナントビル（オフィス系）としており、延床面積の規模により3つの区分を設定しています。排出原単位の平均値は、規模により大きな違いはありませんが、排出原単位の分布に違いがあることから規模別に設定しました。

なお、1,000m²未満については、排出原単位が、オフィス以外の用途の影響を受ける傾向が強くなり、データのばらつきが大きくなるため、ベンチマークを作成していません。また、20,000 m²以上のベンチマークについては、年間エネルギー使用量が1,500kL以上の大規模事業所の割合が多くなり、地球温暖化対策報告書制度の対象（1,500kL 未満）が少なくなるため、ベンチマークは作成していません。

地球温暖化対策報告書（第2号）

事業所の所在地

事業所等の延床面積

事業所等のエネルギー使用期間

所有形態

報告範囲

報告範囲の主たる用途

日本標準産業分類における細分類番号

連鎖化事業区分

直営店

加盟店

非該当

ビル1棟分の事業所情報を抽出

6911 貸事務所業を選択

用途による分類を実施

図 3-3 テナントビルの抽出条件

表 3-3 ベンチマーク区分：テナントビル（オフィス系）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分		産業分類による抽出対象業種			抽出条件
	細区分		中分類		細分類	
3	テナントビル （オフィス系）	小規模 （1,000 m ² 以上、 3,000 m ² 未満）	69	不動産賃貸業 ・管理業	11 貸事務所業	・全部使用 ・事務所 ・平均原単位の 1/10～10 倍
		中規模 （3,000 m ² 以上、 10,000 m ² 未満）				・全部使用 ・事務所 ・平均原単位の 1/5～5 倍
		準大規模 （10,000 m ² 以上、 20,000 未満 m ² ）				

3-4 テナントビル（商業複合系）

この区分では、テナントビル（商業複合系）のベンチマーク区分を設定しています。テナントビルの抽出方法は、3-3 テナント（オフィス系）と同じで、報告範囲の主たる用途が、商業施設（物販）、商業施設（飲食）、複合施設となる事業所にて設定しています。また、3-3 同様に、延べ床面積の規模により排出原単位の平均値に違いがあることから3つの区分を設定しています。

なお、1,000 m²未満については、データのばらつきが大きくなるため、ベンチマークを作成していません。20,000 m²以上については、3-3 テナントビル（オフィス系）と同様の理由で作成していません。

表 3-4 ベンチマーク区分：テナントビル（商業複合系）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分		産業分類による抽出対象業種			抽出条件
	細区分		中分類		細分類	
4	テナントビル （商業複合系）	小規模 （1,000 m ² 以上、 3,000 m ² 未満）	69	不動産賃貸業 ・管理業	11 貸事務所業	・全部使用 ・物販、飲食、複合 ・平均原単位の 1/10～10 倍
		中規模 （3,000 m ² 以上、 10,000 m ² 未満）				・全部使用 ・物販、飲食、複合 ・平均原単位の 1/5～5 倍
		準大規模 （10,000 m ² 以上、 20,000 未満 m ² ）				

3-5 物販店（コンビニ）

この区分では、物販店（コンビニ）のベンチマーク区分を設定しています。コンビニは、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 58 その他の飲食料品小売業の中の細分類番号 91 コンビニの分類のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-5 ベンチマーク区分：物販店（コンビニ）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
5	物販店 (コンビニ)	58	その他の飲食料 品小売業	91	コンビニエンスストア (飲食料品を中心とする ものに限る)	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-6 物販店（ドラッグストア）

この区分では、物販店（ドラッグストア）のベンチマーク区分を設定しています。ドラッグストアは、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 60 その他の小売業の中の細分類番号 31 ドラッグストアの分類のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-6 ベンチマーク区分：物販店（ドラッグストア）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
6	物販店 (ドラッグストア)	60	その他の小売業	31	ドラッグストア	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-7 物販店（総合スーパー・百貨店）

この区分では、物販店（総合スーパー・百貨店）のベンチマーク区分を設定しています。総合スーパー・百貨店は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 56 各種商品小売業の中の細分類番号 11 百貨店、総合スーパーの分類のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-7 ベンチマーク区分：物販店（総合スーパー・百貨店）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
7	物販店 (総合スーパー・百貨店)	56	各種商品小売業	11	百貨店、総合スーパー	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-8 物販店（生鮮食品等）

この区分では、物販店（生鮮食品等）のベンチマーク区分を設定しています。生鮮食品の小売業は、小売店舗において生鮮食料品等を取り扱うために、冷蔵設備等を設置している店舗を想定しています。具体的には、産業分類の中分類番号 58 飲食料品小売業の中から、表 3-8 に示す産業分類細分類番号の業種により、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-8 ベンチマーク区分：物販店（生鮮食品等）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
8	物販店 (生鮮食品等)	58	飲食料品小売業	11 各種食料品小売業	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍
				21 野菜小売業	
				22 果物小売業	
				31 食肉小売業	
				32 卵・鶏肉小売業	
				41 鮮魚小売業	
				51 酒小売業	
				62 菓子小売業	
				92 牛乳小売業	
				93 飲料小売業	
				97 豆腐・かまぼこ等加工食品小売業	

3-9 物販店（食料品の製造小売）

この区分では、物販店（食料品の製造小売）のベンチマーク区分を設定しています。食料品の製造小売業は、小売店舗において食品等を製造販売する店舗を想定しています。具体的には、産業分類の中分類番号 58 飲食料品小売業の中の細分類番号 61 菓子小売（製造小売）、63 パン小売（製造小売）、95 料理品小売業と中分類番号 77 持ち帰り・配達飲食サービスからベンチマークの区分を設定しています。

表 3-8 ベンチマーク区分：物販店（食料品の製造小売）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
9	物販店 (食料品の製造小売)	58	飲食料品小売業	61 菓子小売（製造小売）	・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍
				63 パン小売（製造小売）	
				95 料理品小売業	
		77	持ち帰り・配達飲食サービス		

3-10 物販店（服飾品）

この区分では、物販店（服飾品）のベンチマーク区分を設定しています。服飾品の小売

業は、小売店舗において商品陳列に際し、特別な設備を必要としない店舗を想定しています。具体的には産業分類の中分類番号 57 織物・衣服・身の回品小売業に属する全ての業種によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-10 ベンチマーク区分：物販店（服飾品）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
10	物販店 (服飾品)	57	織物・衣服・身の回品 小売業			・物販 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-11 物販店（自動車（新車）小売）

この区分では、物販店（自動車（新車）小売）のベンチマーク区分を設定しています。自動車（新車）の小売業は、いわゆる新車ディーラー（自動車小売店）を想定しています。具体的には産業分類の中分類番号 59 機械器具小売業の中の細分類番号 11 自動車（新車）小売業によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-11 ベンチマーク区分：物販店（自動車（新車）小売）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
11	物販店 (自動車(新車)小売)	59	機械器具小売業	11	自動車（新車）小売業	・物販 ・複合施設 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-12 飲食店（食堂・レストラン）

この区分では、飲食店（食堂・レストラン）のベンチマーク区分を設定しています。具体的には、ファミリーレストラン等ですが、食堂・レストランは、産業分類の細分類により区分されていますので産業分類の中分類番号 76 飲食店の中の細分類番号 11 食堂・レストランのみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-12 ベンチマーク区分：飲食店（食堂・レストラン）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
12	飲食店 (食堂・レストラン)	76	飲食店	11	食堂・レストラン	・飲食 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-13 飲食店（居酒屋・バー）

この区分では、飲食店（居酒屋・バー）のベンチマーク区分を設定しています。具体的には、産業分類の中分類番号の76 飲食店の中の細分類番号51 酒場・ビヤホールを中心にベンチマーク区分を設定していますが、集計した報告書の中には、事業所としての形態がほとんど同じである細分類番号61 バー、キャバレー、ナイトクラブのデータも数件あったことから、この2つの細分類番号でベンチマーク区分を設定しています。

表 3-13 ベンチマーク区分：飲食店（居酒屋・バー）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
13	飲食店 (居酒屋・バー)	76 飲食店	51 酒場・ビヤホール 61 バー、キャバレー、ナイト クラブ	・飲食 ・平均原単位 の1/5～5倍

3-14 飲食店（ハンバーガー）

この区分では、飲食店（ハンバーガー）のベンチマーク区分を設定しています。ハンバーガー店は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号76 飲食店の中の細分類番号91 ハンバーガー店のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-14 ベンチマーク区分：飲食店（ハンバーガー）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
14	飲食店 (ハンバーガー)	76 飲食店	91 ハンバーガー店	・飲食 ・平均原単位 の1/5～5倍

3-15 飲食店（喫茶）

この区分では、飲食店（喫茶）のベンチマーク区分を設定しています。具体的には、カフェやコーヒーショップ等ですが、喫茶店は、産業分類の細分類により区分されていますので産業分類の中分類番号76 飲食店の中の細分類番号71 喫茶店のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-15 ベンチマーク区分：飲食店（喫茶）と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
15	飲食店 (喫茶)	76 飲食店	71 喫茶店	・飲食 ・平均原単位 の1/5～5倍

3-16 飲食店（焼肉）

この区分では、飲食店（焼肉店）のベンチマーク区分を設定しています。焼肉店は、産業分類の細分類により区分されていますので産業分類の中分類番号 76 飲食店の中の細分類番号 26 焼肉店のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-16 ベンチマーク区分：飲食店（焼肉）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
16	飲食店（焼肉）	76 飲食店	25 焼肉店	・ 飲食 ・ 平均原単位の 1/5～5 倍

3-17 飲食店（中華料理・ラーメン）

この区分では、飲食店（中華料理店・ラーメン）のベンチマーク区分を設定しています。中華料理店及びラーメン店は、産業分類の細分類により、それぞれ区分されていますので産業分類の中分類番号 76 飲食店の中の細分類番号 23 中華料理店と 24 ラーメン店で、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-17 ベンチマーク区分：飲食店（中華料理・ラーメン）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
17	飲食店（中華料理・ラーメン）	76 飲食店	23 中華料理店	・ 飲食 ・ 平均原単位の 1/5～5 倍
			24 ラーメン店	

3-18 飲食店（その他）

この区分では、飲食店の区分 3-12～17 以外の、飲食店（その他）の区分を設定しています。具体的には、産業分類の中分類番号 76 飲食店の中の細分類番号 21、22、29、31、41、92、99 でベンチマークの区分を構成しています。

表 3-18 ベンチマーク区分：飲食店（その他）と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種		抽出条件
		中分類	細分類	
18	飲食店（その他）	76 飲食店	21 日本料理店	・ 飲食 ・ 平均原単位の 1/5～5 倍
			22 料亭	
			29 その他の専門料理店	
			31 そば・うどん店	
			41 すし店	
			92 お好み焼・焼きそば・たこ焼店	
			99 他に分類されないその他の飲食店	

3-19 旅館・ホテル

この区分では、旅館・ホテルのベンチマーク区分を設定しています。旅館・ホテルは、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 75 宿泊業の中の細分類番号 11 旅館・ホテルのみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-19 ベンチマーク区分：旅館・ホテルと日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
19	旅館・ホテル	75	宿泊業	11	旅館・ホテル	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-20 学校・教育施設

この区分では、学校・教育施設のベンチマーク区分を設定しています。いわゆる学校やそれに類する施設を想定していますので、具体的には、産業分類の中分類番号 81 学校教育に属する全ての業種によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-20 ベンチマーク区分：学校・教育施設と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
20	学校・教育施設	81	学校教育			・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-21 病院・診療所

この区分では、病院・診療所のベンチマーク区分を設定しています。いわゆる病院・診療所を想定していますので、産業分類の中分類番号 83 医療業の中の細分類番号 41 助産所、42 看護業、61 歯科技巧所 69 その他の医療に附帯するサービス業を除いた、次の表 3-21 に示す産業分類細分類番号によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-21 ベンチマーク区分：病院・診療所と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類	細分類			
21	病院・診療所	83	医療業	11	一般病院	・その他 ・平均原単 位の 1/5 ～5 倍
				12	精神科病院	
				21	有床診療所	
				22	無床診療所	
				31	歯科診療所	
				51	あん摩・はり師・きゅう師・柔道整復師	
				59	その他の療術業	

3-22 保育所

この区分では、社会保険施設の中の保育所の区分を設定しています。保育所は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 85 社会保険・社会福祉・介護業の中の細分類番号 31 保育所のみで、ベンチマークの区分を設定しています。

表 3-22 ベンチマーク区分：保育所と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
22	保育所	85	社会保険・社会福祉・介護事業	31 保育所	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-23 保健・介護施設

この区分では、保育所を除く、保健・介護施設のベンチマーク区分を設定しています。具体的には、産業分類の中分類 85 社会保健・社会福祉・介護事業の中から細分類番号 31 保育所を除く、次の表 3-23 に示す産業分類細分類番号によりベンチマークの区分を設定しています。

表 3-23 ベンチマーク区分：保健・介護施設と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
23	保健・介護施設	85	社会保険・社会福祉・介護事業	39 その他の児童福祉事業	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍
				41 特別養護老人ホーム	
				42 介護老人保健施設	
				43 通所・短期入所介護事業	
				45 認知症老人グループホーム	
				46 有料老人ホーム	
				49 その他の老人福祉・介護事業	
				51 居住支援事業	
				59 その他の障害者福祉事業	
				91 更生保護事業	

3-24 フィットネス施設

この区分では、フィットネス施設のベンチマーク区分を設定しています。フィットネス施設は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 80 娯楽業の中の細分類番号 48 フィットネスクラブのみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-24 ベンチマーク区分：フィットネス施設と日本標準産業分類との対比表

区分番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種			抽出条件
		中分類		細分類	
24	フィットネス施設	80	娯楽業	48 フィットネスクラブ	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-24 パチンコ店舗

この区分では、パチンコ店舗のベンチマーク区分を設定しています。パチンコ店舗は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 80 娯楽業の中の細分類番号 64 パチンコホールのみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-25 ベンチマーク区分：パチンコ店舗と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
25	パチンコ店舗	80	娯楽業	64	パチンコホール	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-26 カラオケボックス店舗

この区分では、カラオケボックス店舗のベンチマーク区分を設定しています。カラオケボックス業は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 80 娯楽業の中の細分類番号 95 カラオケボックス業のみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-26 ベンチマーク区分：カラオケボックス店舗と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
26	カラオケボックス店舗	80	娯楽業	95	カラオケボックス業	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-27 ゲームセンター

この区分では、ゲームセンターのベンチマーク区分を設定しています。ゲームセンターは、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 80 娯楽業の中の細分類番号 65 ゲームセンターのみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-27 ベンチマーク区分：ゲームセンターと日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
27	ゲームセンター	80	娯楽業	65	ゲームセンター	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-28 図書館

この区分では、図書館のベンチマーク区分を設定しています。図書館は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 82 その他の教育、学習支援業の中の細分類番号 12 図書館のみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-28 ベンチマーク区分：図書館と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
28	図書館	82	その他の教育、学習 支援業	12	図書館	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-29 博物館・美術館

この区分では、博物館・美術館のベンチマーク区分を設定しています。博物館・美術館は、産業分類の細分類により区分されていますので、産業分類の中分類番号 82 その他の教育、学習支援業の中の細分類番号 13 博物館、美術館のみでベンチマークの区分を設定しています。

表 3-29 ベンチマーク区分：博物館・美術館と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
29	博物館・美術館	82	その他の教育、学習 支援業	13	博物館、美術館	・その他 ・平均原単位の 1/5～5 倍

3-30 区市町村庁舎等

この区分では、区市町村庁舎等のベンチマーク区分を設定しています。公共機関としては、産業分類の中分類番号 96 外国公務、97 国家公務、98 地方公務とありますが、ここでは 98 地方公務の中の細分類番号 21 市町村機関のみでベンチマークの区分を設定しています。また、区役所や市役所などを想定しているため、建物の所有形態が「自己所有」、報告範囲が「建物の全部」である事業所を抽出し、そこから、報告範囲の主たる用途が「事務所」である事業所を、区市町村庁舎等としています。

表 3-30 ベンチマーク区分：区市町村庁舎等と日本標準産業分類との対比表

区分 番号	ベンチマーク区分	産業分類による抽出対象業種				抽出条件
		中分類		細分類		
30	区市町村庁舎等	98	地方公務	21	市町村機関	・ 自己所有 ・ 全部使用 ・ 事務所 ・ 平均原単位の 1/5～5 倍

4. ベンチマークを活用する際の留意点

4-1 活用時の留意点

地球温暖化対策報告書のCO₂排出量の実績値を基に作成した本ベンチマークは、事業所の断熱性能、設備、機器のエネルギー効率、運用・保守管理状況が反映された省エネルギー指標といえます。

また、自分の事業所のCO₂排出量を延べ床面積で割って原単位化しているため、原則として、事業所の規模にとらわれずに、本ベンチマークと比較することで、同業種の事業所の中におけるCO₂の排出水準を把握することができるのです。

一方、事業所のCO₂排出量は、稼働時間の長短や設備の構成などによっても影響を受けるといえます。そのため、全体の中の排出水準だけでなく、個々の事業所のCO₂排出量を評価していく際には、こうした情報を自ら収集して、詳細な評価をしていくこともできます。

特にCO₂排出原単位の小さい（大きい）事業所については、省エネルギー以外の要因がどの程度影響しているか、必要に応じて、事業所の状況把握を行う必要があります。

省エネ以外でCO₂排出量に影響を与える事項

- | |
|--------|
| ① 稼働時間 |
| ② 設置設備 |
| ③ 室用途 |

以下に、ベンチマークを活用する際の留意事項を紹介します。

① 稼働状況に関する留意事項

例えば、ファミリーレストランの平均的な稼働時間（営業時間＋開閉店準備時間）は概ね15時間（業種別テキスト（外食産業）：東京都）となっています。ファミリーレストランの中には、24時間営業の店舗もありますので、こうした長時間営業店舗は当然CO₂排出量が多くなります。自らの事業所の稼働時間に関する情報を収集し、それを考慮してCO₂排出量を評価することもできます。

なお、夜間、深夜のエネルギー使用量は、昼間に比べて低くなる場合があるので、この点も考慮する必要があります。

② 設置設備に関する事項

例えば、フィットネスクラブなどでは、プール設備があるかないかでCO₂排出量は大きく違います。自らの事業所のこうした設備構成に関する情報を収集し、それを考慮してCO₂排出量を評価することもできます。

③ 室用途に関する事項

例えば、オフィスビルなどでは、サーバー室があるか、会議室や倉庫のスペースはどの程度あるのか等によってCO₂排出量は違ってきます。自らの事業所の室用途に関する情報を収集し、これらを考慮してCO₂排出量を評価することが大切です。

オフィス（事務室）より、CO₂排出原単位が高い用途の例

- 電算室・サーバー室
- データセンター

オフィス（事務室）より、CO₂排出原単位が低い用途の例

- 駐車場
- 会議室・打合せスペース
- 書庫・倉庫

上記の様に、面積当たりのエネルギー使用量の大きい電算室や、エネルギー使用量の少ない駐車場、会議室等の状況によって、事業所の排出原単位が影響を受ける場合があります。

4-2 テナントビルにおける留意点

テナントビルのエネルギー使用量は60～70％はテナント専用部が占めており、テナントのエネルギーの使い方に影響を受けるといえます。また、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間（24時間営業など）、飲食・物販といった入居テナントの種類によってもCO₂排出原単位は影響を受けます。このため、テナントビルのベンチマークを活用する際には、省エネ性能以外の要因の有無、あるいはその影響の程度を考慮することが必要となる場合があります。

以下では、テナントビルにおけるベンチマーク活用の留意点について説明します。

（１）テナントビルにおけるベンチマークが意味するもの

ベンチマーク作成の基となるデータは、都内の中小テナントビルのCO₂排出実績データです。排出実績には、省エネ効果のほかに、上記で説明したテナントビル特有の要因が働いており、ベンチマークは、こうした様々な要因が含まれた都内中小テナントビルの約2,500件の排出実績データを統計処理し、CO₂排出原単位の平均値を求めて作成しています。

このため、テナントビルのベンチマークは、省エネ効果以外の要因として、例えば、「空室率等は集計対象の中小テナントビルの平均的な空室率が前提となっている。」と考えることができます。

したがって、ベンチマークと比較をしようとするテナントビルにおいて、例えば、空室率が非常に高いなど、ベンチマークが前提とする平均像から大きく乖離した要因がある場合は、その影響を考慮して、ベンチマークとの比較を行うことができます。逆に、平均像と大きな乖離がない場合は、そのままベンチマークで評価することができます。(2)～(4)では、空室率や稼働時間等を例に、その影響の把握方法の例を紹介します。

(2) 空室率の影響

まず、大手不動産仲介事業者等が公表する空室率に関する調査資料等より、ベンチマークが作成された 2012 年度の空室率について確認をします。

この空室率を平均的なそれとし、評価をしようとするテナントビルの評価時点での空室率と大きな乖離がある場合は、この点を考慮して考えることができます。

例えば、空室率が 15%程度大きい場合、数量的に排出原単位を補正するという方法もありますが、より簡易な方法としては、「空室率が平均より大きいのであれば、本来のベンチマークはもっと下のレンジにある、例えば A2 であれば A1 以下である可能性が高い。」と考える方法があります。

(3) 用途等の影響

電算室、飲食・物販といった入居テナントの用途・種類についても、平均的な中小テナントビルより、こうしたエネルギー使用割合（密度）の高い用途が相当程度多く入居していれば、その影響を考慮して評価することができます。

(4) 稼働時間の影響

例えば 24 時間営業のテナントが入居している場合、中小規模テナントビルの一般的な稼働時間を想定し、そこからの乖離の程度を考慮することができます。

参考として、都内中小クレジット算定ガイドラインにおける照明の年間点灯時間を 表 4-1 に示します。評価しようとするテナントビルに入居するテナントの稼働時間が、表に示す時間と大きく乖離する場合は、稼働時間の影響を考慮することができます。

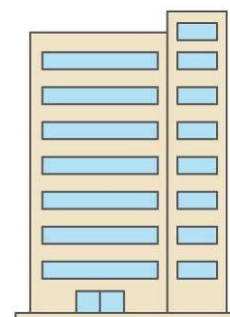
また、夜間・深夜のエネルギー負荷（使用量）は昼間に比べ低くなると考えられるため、こうした点も考慮して、24 時間営業のテナントが与える排出原単位への影響を判断することができます。

以上、いくつかの場合の影響の把握について説明しましたが、いずれの場合も、評価対象のテナントビルの CO₂ 排出原単位を補正することができます。しかし、より簡便な方法としては、現状のベンチマークレンジよりも下（あるいは上）となる可能性があるとして評価することも可能です。

<参考> 総量削減義務と排出量取引制度における都内中小クレジット算定ガイドラインより

表 4-1 年間点灯時間（単位 h／年）

室 名	年間点灯時間
エントランスホール、廊下	3,000
階段室（階段通路誘導灯と兼用）	8,760
階段室	3,000
便所、湯沸室	3,000
倉庫、設備室、更衣室	500
駐車場	3,000
事務室	3,000
会議室	1,500
電算室	500
レストラン・食堂客席	4,500
レストラン・食堂厨房	3,000
物販店舗	4,500
飲食店舗	4,500
ホテルロビー、客室廊下	8,760
ホテル客室、宴会場	3,000
教室	1,500
研究室	3,000
体育館	1,500
病室	3,000
診察室	1,500
物流倉庫	3,000
屋外	3,000



4-3 補正方法の紹介

事業所のCO₂排出水準を正確に把握しようとする、前述した稼働時間等の要因を考慮することになります。こうした要因の影響を取り除くために、CO₂排出量（実績値）について補正をするという考え方があります。

補正の方法には、得られる情報によって、様々な方法がありますが、一方で、補正をするためには、それに伴う情報の収集が不可欠となります。

参考に、店舗の規模にかかわらず、同様な能力の設備を設置している形態の店舗のベンチマーク区分について、CO₂排出原単位の散布図をお示しします。こうした店舗の散布図で近似曲線を引くと直線の傾きが大きくなります。これは、店舗の面積によらず、同様な能力の設備を設置しているため、店舗面積が小さくなるほどCO₂排出原単位が大きくなっているからで、傾きが急なほどその傾向が顕著な店舗（ベンチマーク）ということになります。ここでは、こうした店舗について、店舗の延床面積によりCO₂排出量の実績値を補正する方法の一つを紹介しますので、こうした店舗のCO₂排出量を評価する際の参考としてください。

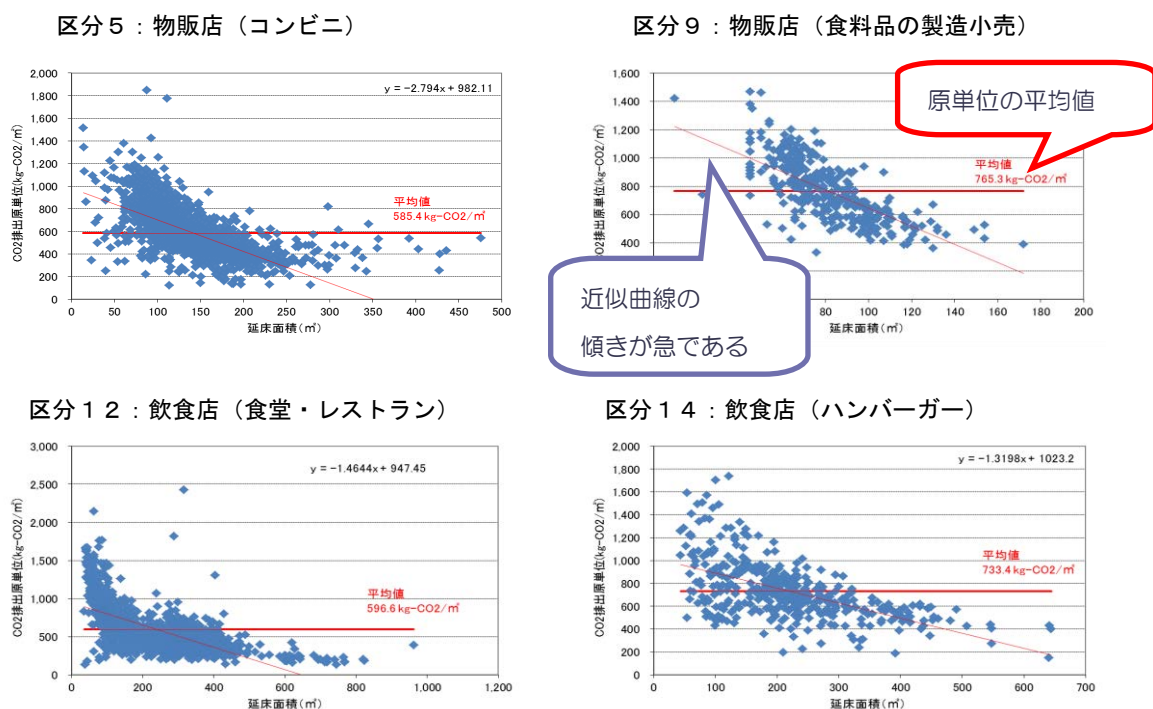
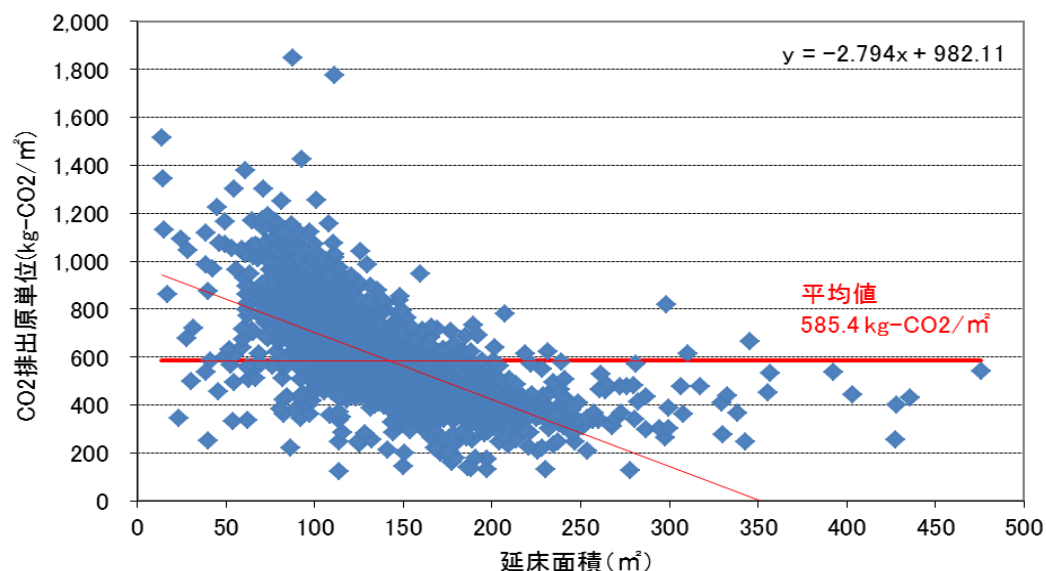


図 4-2 面積が小さくなるに従い排出量が多くなる業種区分の例
（CO₂排出原単位による散布図）

4-4 物販店（コンビニ）等を例にした延べ床面積による補正方法の解説

ここでは、面積によるCO₂排出量の補正方法について、物販店（コンビニ）を例にして具体的に解説します。

物販店（コンビニ）のCO₂排出原単位の散布図及び近似式は以下のとおりです。



CO₂排出原単位の散布図から近似曲線を設定

近似曲線 $Y = -2.794x + 982.11$

図 4-3 物販店（コンビニ）のCO₂排出原単位の散布図及び近似式

下図では、ベンチマークの散布図から作成した近似曲線を基に補正式を作成しています。この式は、事業所における近似曲線から補正したい想定排出原単位を求め、その想定値と平均値との比率分だけ実際の原単位(実績値)の補正を行うための補正式となっています。

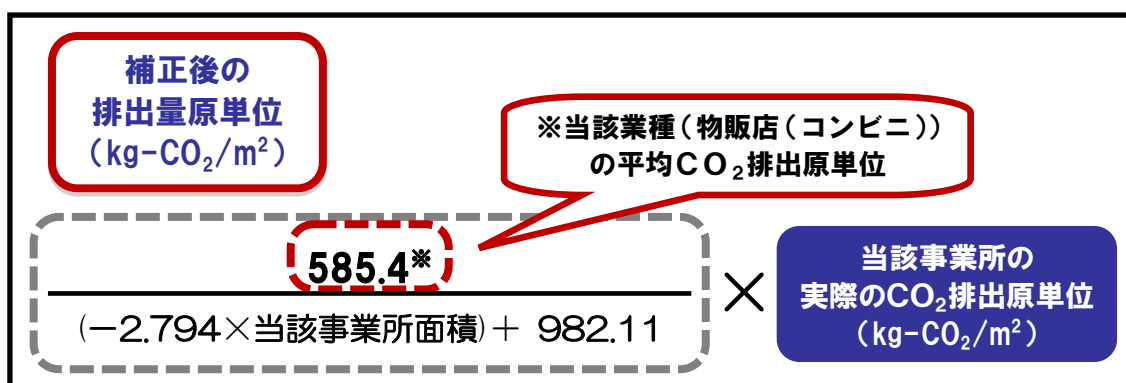


図 4-4 物販店（コンビニ）のベンチマークにおける補正式

①モデル事業所 A（延べ床面積の小さい店舗の計算例）

店舗面積が、ベンチマークによる物販店(コンビニ)の平均面積より約 2 割小さい 114 m²

CO₂排出実績に基づく原単位は 547.9kg-CO₂/m²

$$\frac{585.4 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2}{(-2.794 \times 114 \text{ m}^2) + 982.11} \times 547.9 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2 = 483.3 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2$$

⇒補正後は、483.3kg-CO₂/m²(B 2)となり、補正前の 547.9kg-CO₂/m²(B 1)から
区分が 2 段階良くなっている。

②モデル事業所 B

店舗面積が、ベンチマークによる物販店(コンビニ)の平均面積より約 2 割大きい 170 m²

CO₂排出実績に基づく原単位は 320.0kg-CO₂/m²

$$\frac{585.4 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2}{(-2.794 \times 170 \text{ m}^2) + 982.11} \times 320.0 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2 = 369.4 \text{ kg-CO}_2/\text{m}^2$$

⇒補正後は、369.4kg-CO₂/m²(A 2-)となり、補正前の 320.0kg-CO₂/m²(A 2+)から
区分が 2 段階悪くなっている。

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲		事業所 数	事業所 数の割合	平均 延床面積 (m ²)	
A4	0.55以下		322.0 以下	80	2.2%	202	2段階 DOWN
A3 +	0.55超-0.60以下	322.0 超	351.3 以下	62		194	
A3	0.60超-0.65以下	351.3 超	380.6 以下	106	8.6%	193	
A3 -	0.65超-0.70以下	380.6 超	409.8 以下	146		188	
A2 +	0.70超-0.75以下	409.8 超	439.1 以下	221		177	2段階 UP
A2	0.75超-0.80以下	439.1 超	468.4 以下	251	22.3%	170	
A2 -	0.80超-0.85以下	468.4 超	497.6 以下	341		162	
A1 +	0.85超-0.90以下	497.6 超	526.9 以下	307		152	
A1	0.90超-0.95以下	526.9 超	556.2 以下	293	24.7%	144	
A1 -	0.95超-1.00以下	556.2 超	585.4 以下	302		137	
B2 +	1.00超-1.05以下	585.4 超	614.7 以下	230		132	
B2	1.05超-1.10以下	614.7 超	644.0 以下	208	17.0%	128	
B2 -	1.10超-1.15以下	644.0 超	673.3 以下	181		122	
B1	1.15超-1.50以下	673.3 超	878.1 以下	708	19.4%	109	
C	1.50超	878.1 超		210	5.8%	88	
			合計	3646	平均	142	

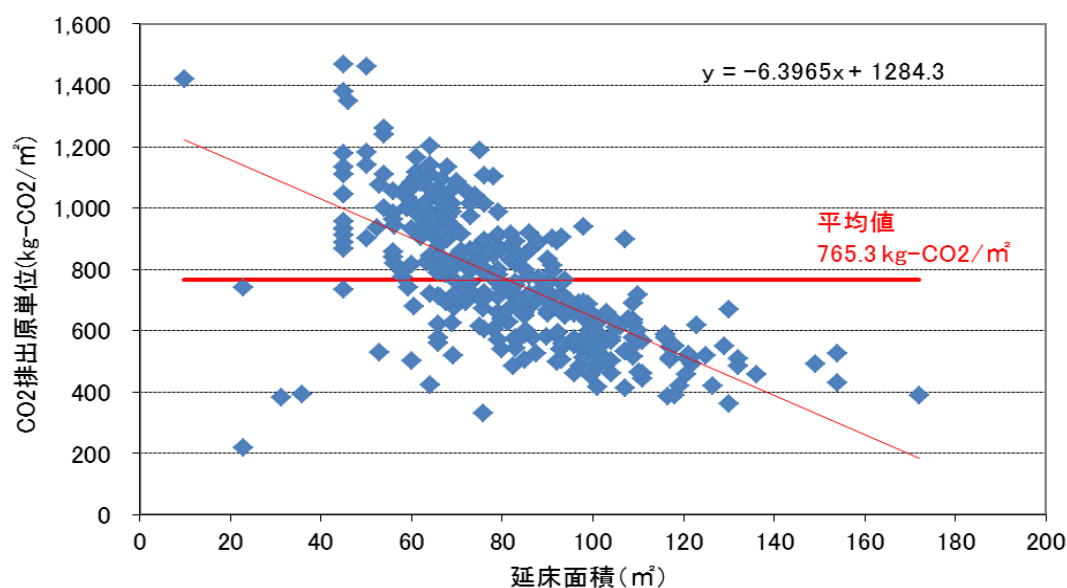
図 4-5 物販店（コンビニ）のベンチマーク（参考）

この試算例では補正後にベンチマークの区分がそれぞれ 2 段階移動しました。このように、補正する店舗が平均面積よりも小さい場合には、CO₂排出量を実績より少し小さく補正し、補正する店舗が平均面積よりも大きい場合には、CO₂排出量を実績より少し大きく補正することになります。

ここで示した方法は、補正方法の一つの例ですが、こうした方法により店舗の延床面積を用いてCO₂排出量（実績値）を補正することができます。

以下に、参考例として、補正する可能性のあるベンチマーク区分の散布図及び補正式を、物販店（食料品の製造小売）、飲食店（食堂・レストラン）、飲食店（ハンバーガー）の順に示します。

◆ 物販店（食料品の製造小売）



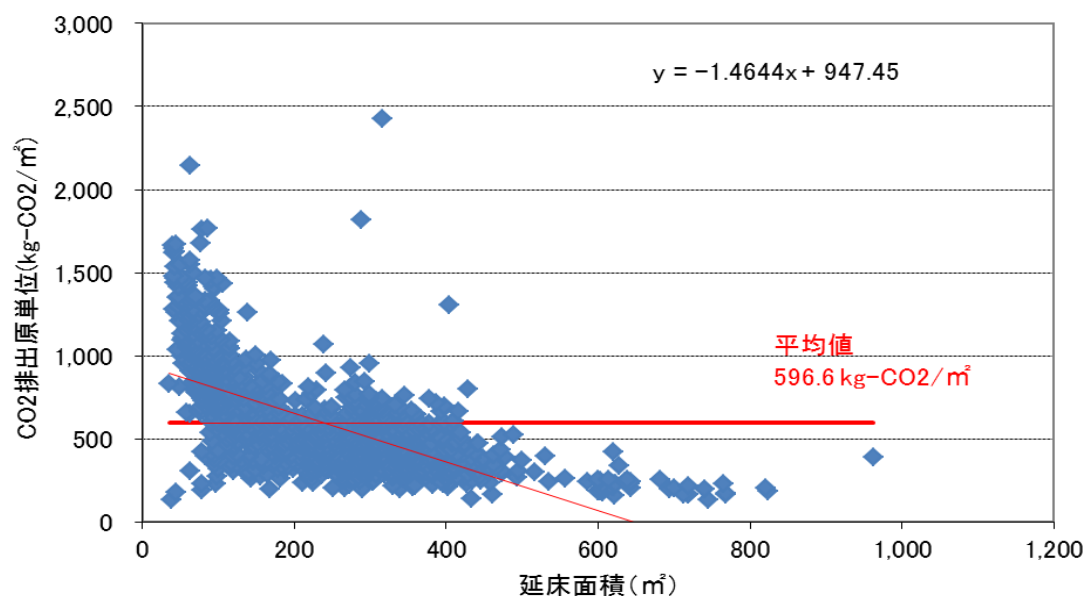
CO₂排出原単位の散布図から近似曲線を設定

近似曲線 $Y = -6.3965x + 1284.3$

補正式	※当該業種の平均CO ₂ 排出原単位	
$(-6.3965 \times \text{当該事業所面積}) + 1284.3$	×	当該事業所の 実際のCO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /m ²)
765.3*		

図 4-6 物販店（食料品の製造小売）の散布図及び補正式

◆ 飲食店（食堂・レストラン）



CO₂排出原単位の散布図から近似曲線を設定

近似曲線 $Y = -1.4644x + 947.45$

補正式

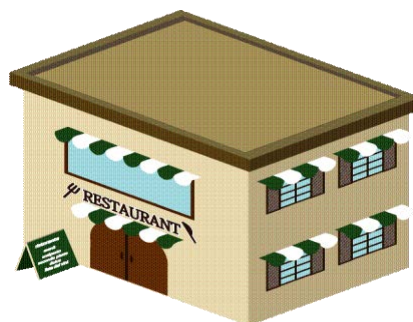
※当該業種の平均CO₂排出原単位

596.6*

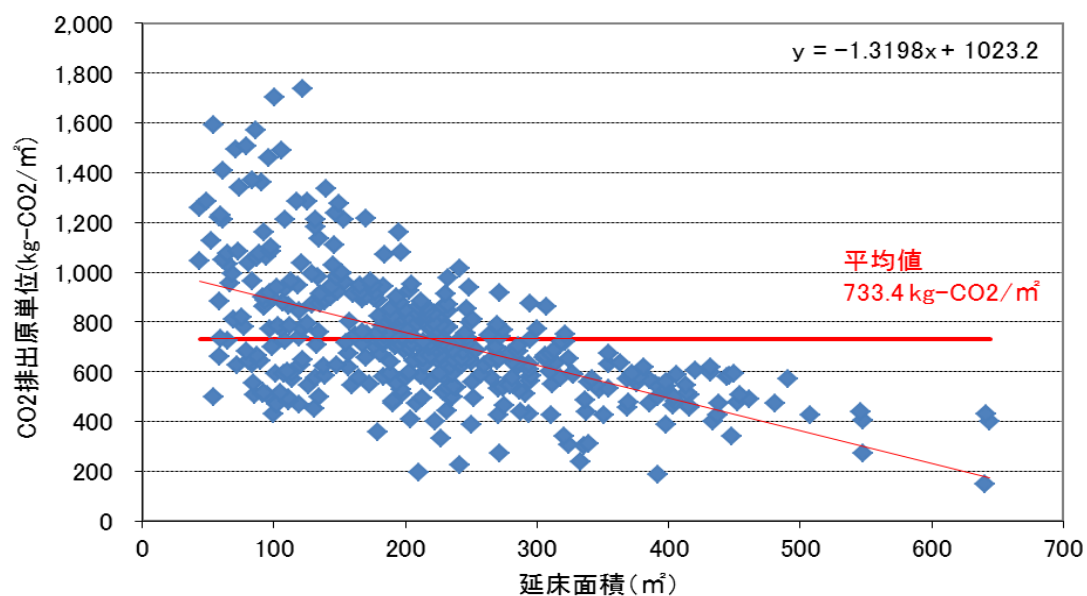
$(-1.4644 \times \text{当該事業所面積}) + 947.45$

当該事業所の
実際のCO₂排出原単位
(kg-CO₂/m²)

図 4-7 飲食店（食堂・レストラン）の散布図及び補正式



◆ 飲食店（ハンバーガー）



CO₂排出原単位の散布図から近似曲線を設定

近似曲線 $Y = -1.3198x + 1023.2$

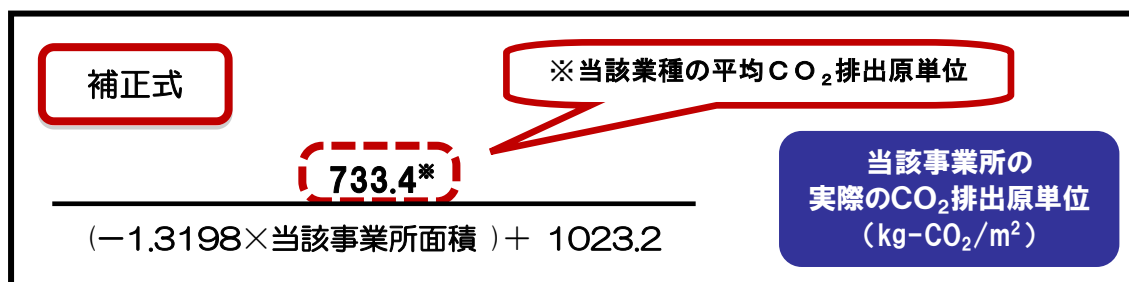


図 4-8 飲食店（ハンバーガー）の散布図及び補正式

4-5 今後のベンチマーク改定について

都は今後もベンチマークをより使いやすいものとしていくため、更なる検討を行ってまいります。

5. 業種区分ごとのベンチマーク（2012 年度実績改定版）

本章では、全30区分のベンチマークを示します(前章の「3. ベンチマーク（業種）区分について」でベンチマーク区分を確認してください）。

また、各ベンチマークの平均値を表 5-1 に示します。

表 5-1 各ベンチマークの平均値

区分no.	ベンチマーク区分名	事業所数 (有効データ)	平均原単位 kgCO ₂ /m ²	平均延床 m ²
1	オフィス(テナント専有部)	722	81.3	1467
2	オフィス(自社ビル)	573	65.4	4232
3(1)	テナントビル(オフィス系、小規模)	517	78.9	1966
3(2)	テナントビル(オフィス系、中規模)	762	75.5	5612
3(3)	テナントビル(オフィス系、準大規模)	199	75.1	13970
4(1)	テナントビル(商業複合系、小規模)	135	207.7	1783
4(2)	テナントビル(商業複合系、中規模)	118	174.8	5687
4(3)	テナントビル(商業複合系、準大規模)	40	124.1	13470
5	物販店(コンビニ)	3646	585.4	142
6	物販店(ドラッグストア)	312	295.4	341
7	物販店(総合スーパー・百貨店)	423	259.7	3999
8	物販店(生鮮食品等)	694	387.0	1772
9	物販店(食料品の製造小売)	355	765.3	81
10	物販店(服飾品)	168	124.8	958
11	物販店(自動車(新車)小売)	267	63.4	1668
12	飲食店(食堂・レストラン)	1569	596.6	240
13	飲食店(居酒屋・バー)	1127	365.1	280
14	飲食店(ハンバーガー)	413	733.4	220
15	飲食店(喫茶)	394	414.1	139
16	飲食店(焼肉)	119	561.9	184
17	飲食店(中華料理・ラーメン)	183	985.1	106
18	飲食店(その他)	437	718.7	145
19	旅館・ホテル	158	125.2	4311
20	学校・教育施設	1781	23.4	7339
21	病院・診療所	48	106.0	5213
22	保育所	241	57.1	960
23	保健・介護施設	422	72.6	2332
24	フィットネス施設	146	203.5	3248
25	パチンコ店舗	89	287.1	1068
26	カラオケボックス店舗	168	252.1	635
27	ゲームセンター	50	333.9	905
28	図書館	149	64.3	1981
29	博物館・美術館	64	69.3	2717
30	区市町村庁舎等	62	54.6	7778

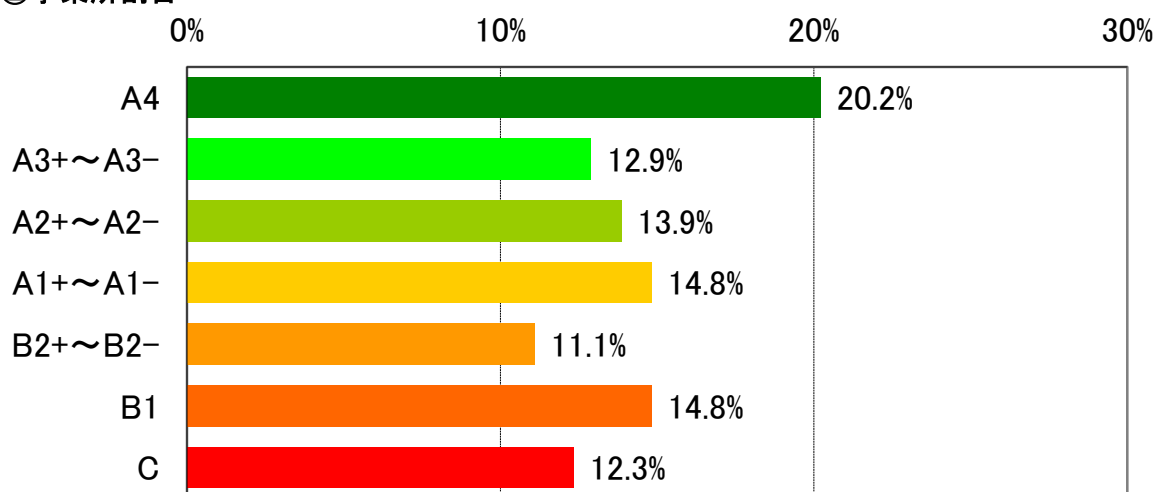
区分番号:1

オフィス(テナント専有部)

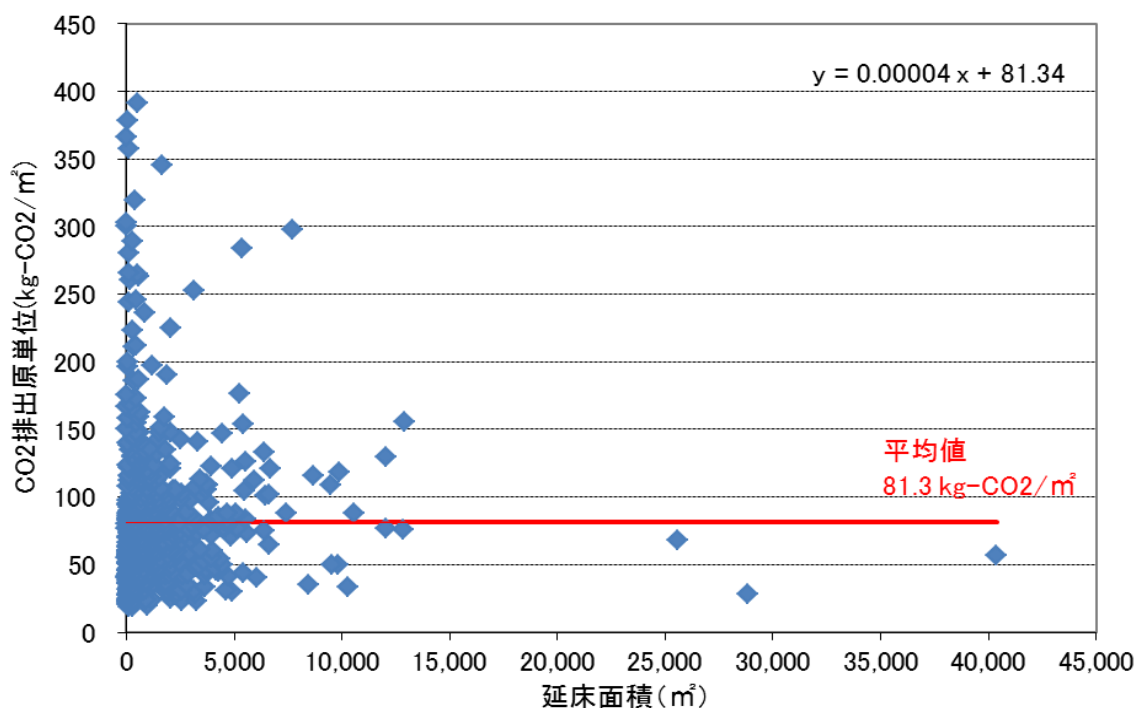
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	44.8 以下	146	20.2%	1260
A3 +	0.55超-0.60以下	44.8 超 48.8 以下	27	12.9%	1203
A3	0.60超-0.65以下	48.8 超 52.9 以下	31		1501
A3 -	0.65超-0.70以下	52.9 超 57.0 以下	35		1078
A2 +	0.70超-0.75以下	57.0 超 61.0 以下	40	13.9%	1924
A2	0.75超-0.80以下	61.0 超 65.1 以下	28		1097
A2 -	0.80超-0.85以下	65.1 超 69.2 以下	32		1756
A1 +	0.85超-0.90以下	69.2 超 73.2 以下	30	14.8%	1328
A1	0.90超-0.95以下	73.2 超 77.3 以下	47		2001
A1 -	0.95超-1.00以下	77.3 超 平均値 81.3 以下	30		1283
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 81.3 超 85.4 以下	28	11.1%	1497
B2	1.05超-1.10以下	85.4 超 89.5 以下	32		1920
B2 -	1.10超-1.15以下	89.5 超 93.5 以下	20		919
B1	1.15超-1.50以下	93.5 超 122.0 以下	107	14.8%	1641
C	1.50超	122.0 超	89	12.3%	1402
合計			722	平均	1467

②事業所割合



③CO₂排出原単位の散布図



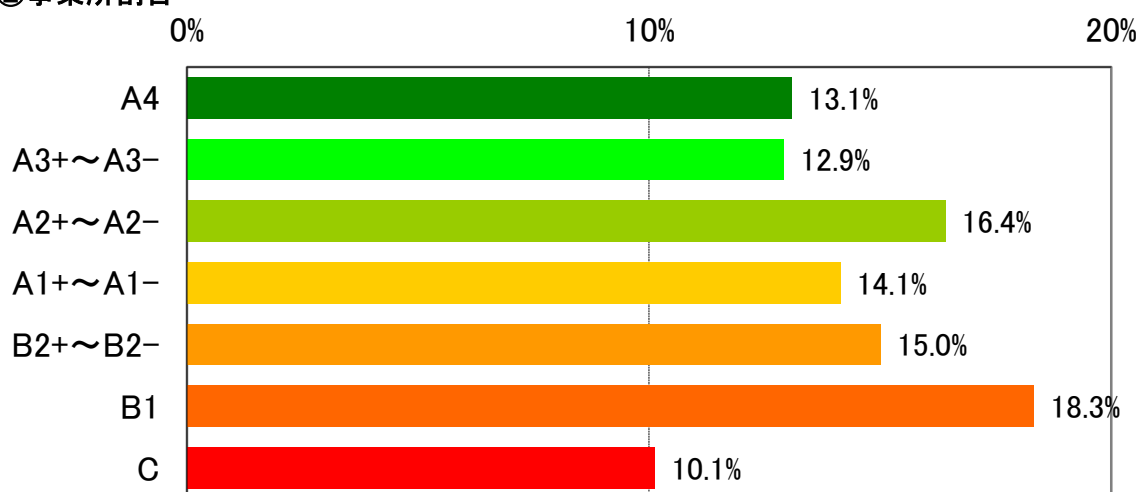
区分番号:2

オフィス(自社ビル)

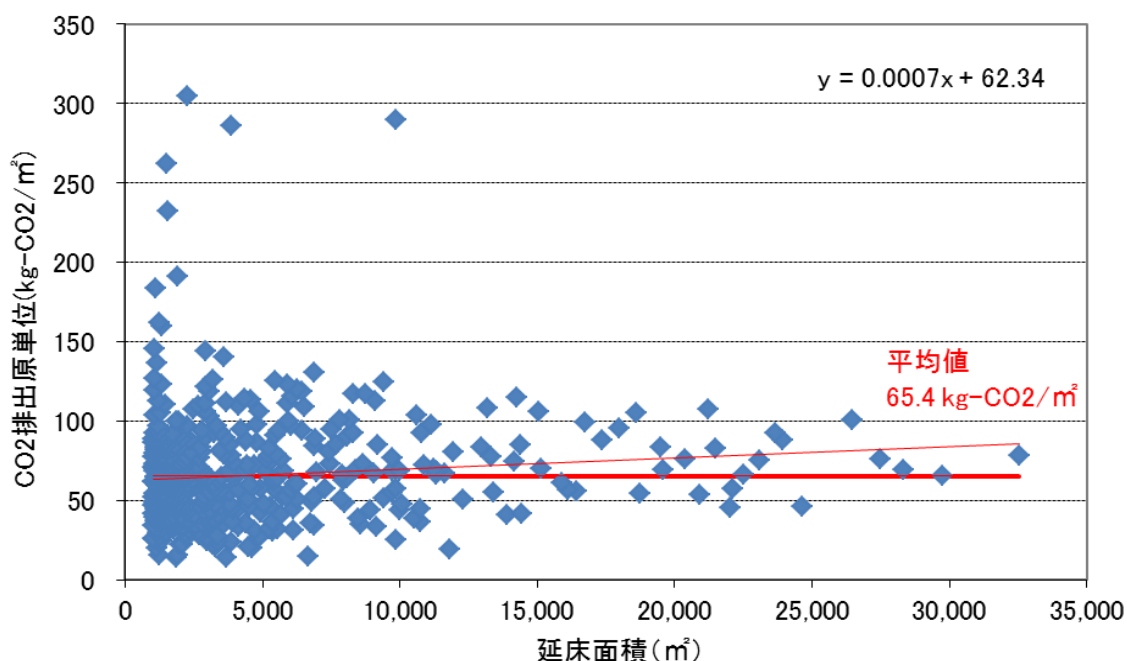
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	36.0 以下	75	13.1%	3126
A3 +	0.55超-0.60以下	36.0 超 39.3 以下	29	12.9%	3092
A3	0.60超-0.65以下	39.3 超 42.6 以下	21		3338
A3 -	0.65超-0.70以下	42.6 超 45.8 以下	24		4377
A2 +	0.70超-0.75以下	45.8 超 49.1 以下	35	16.4%	3314
A2	0.75超-0.80以下	49.1 超 52.4 以下	32		3173
A2 -	0.80超-0.85以下	52.4 超 55.6 以下	27		4164
A1 +	0.85超-0.90以下	55.6 超 58.9 以下	23	14.1%	5388
A1	0.90超-0.95以下	58.9 超 62.2 以下	31		2641
A1 -	0.95超-1.00以下	62.2 超 平均値 65.4 以下	27		2814
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 65.4 超 68.7 以下	34	15.0%	4906
B2	1.05超-1.10以下	68.7 超 72.0 以下	30		5468
B2 -	1.10超-1.15以下	72.0 超 75.3 以下	22		4651
B1	1.15超-1.50以下	75.3 超 98.1 以下	105	18.3%	5209
C	1.50超	98.1 超	58	10.1%	5755
合計			573	平均	4232

②事業所割合



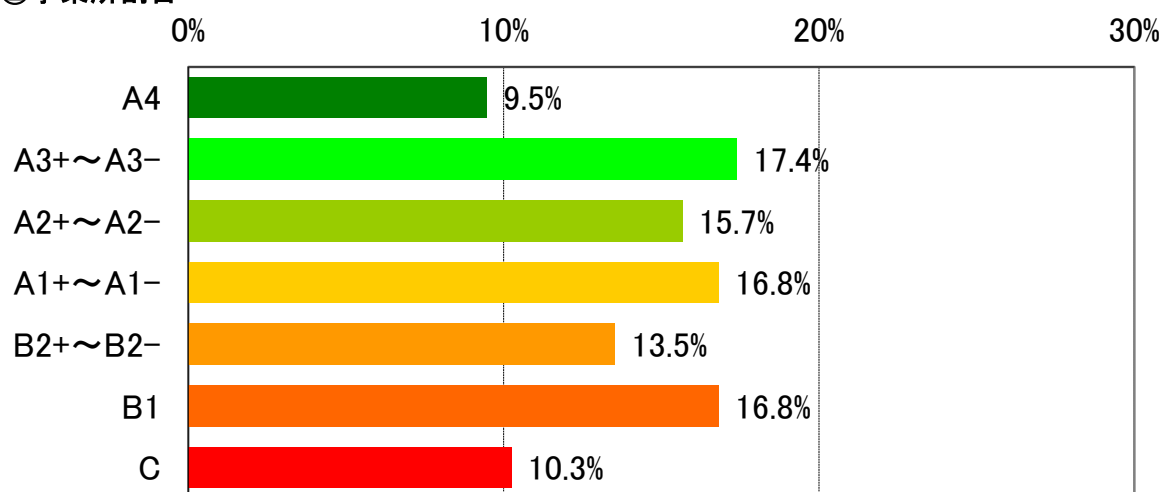
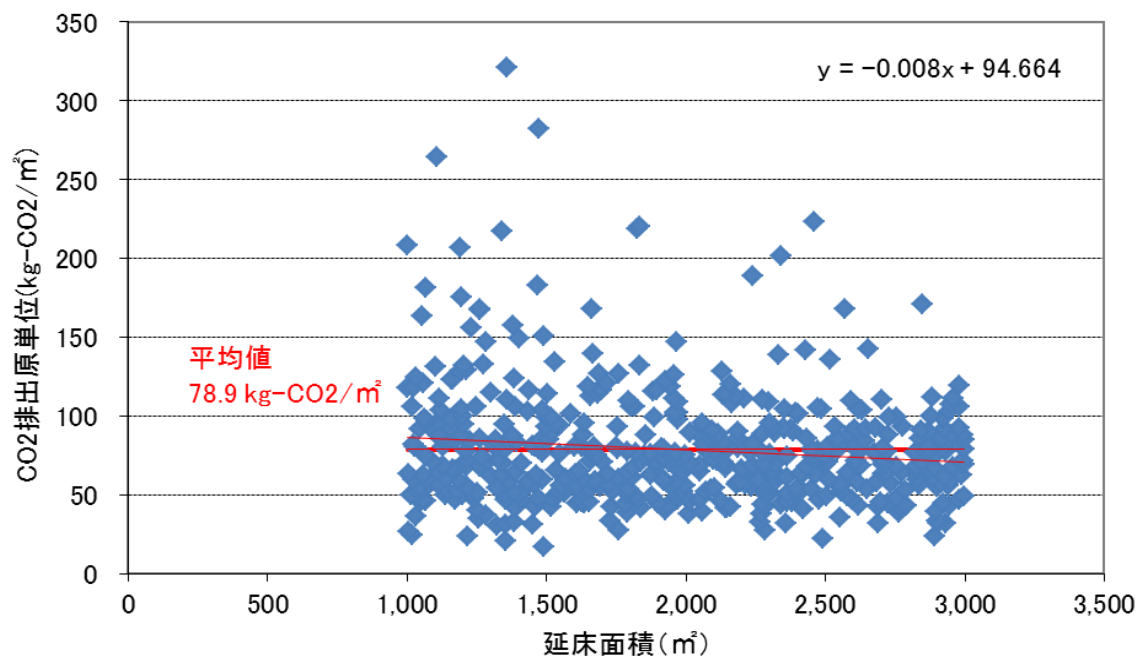
③CO₂排出原単位の散布図



①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	43.4 以下	49	9.5%	2014
A3 +	0.55超-0.60以下	43.4 超 47.4 以下	28	17.4%	1949
A3	0.60超-0.65以下	47.4 超 51.3 以下	25		1777
A3 -	0.65超-0.70以下	51.3 超 55.3 以下	37		1885
A2 +	0.70超-0.75以下	55.3 超 59.2 以下	32	15.7%	2058
A2	0.75超-0.80以下	59.2 超 63.2 以下	24		1934
A2 -	0.80超-0.85以下	63.2 超 67.1 以下	25		2022
A1 +	0.85超-0.90以下	67.1 超 71.1 以下	35	16.8%	2157
A1	0.90超-0.95以下	71.1 超 75.0 以下	24		2004
A1 -	0.95超-1.00以下	75.0 超 78.9 以下	28		2151
B2 +	1.00超-1.05以下	78.9 超 82.9 以下	26	13.5%	2023
B2	1.05超-1.10以下	82.9 超 86.8 以下	24		2026
B2 -	1.10超-1.15以下	86.8 超 90.8 以下	20		2118
B1	1.15超-1.50以下	90.8 超 118.4 以下	87	16.8%	1966
C	1.50超	118.4 超	53	10.3%	1660
合計			517	平均	1966

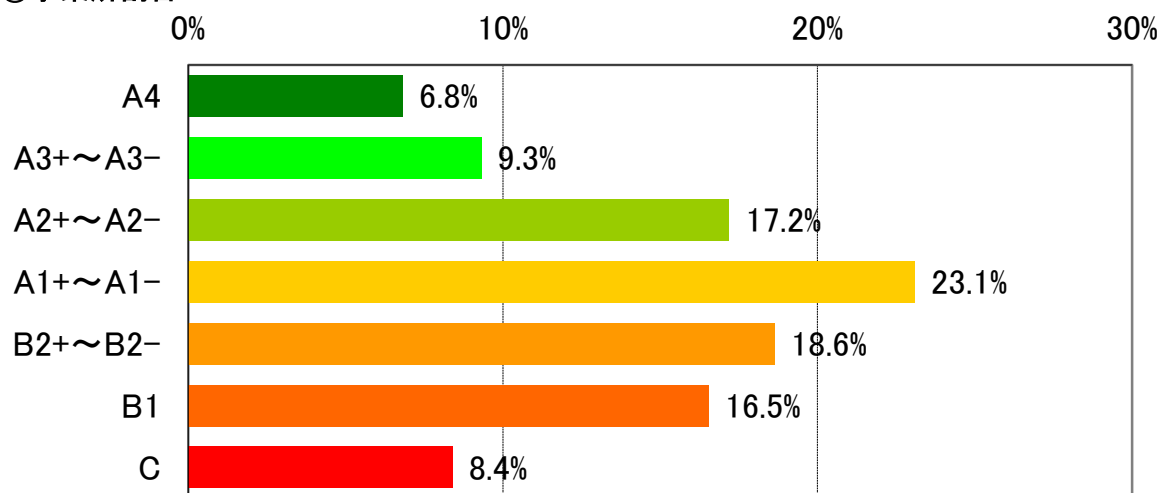
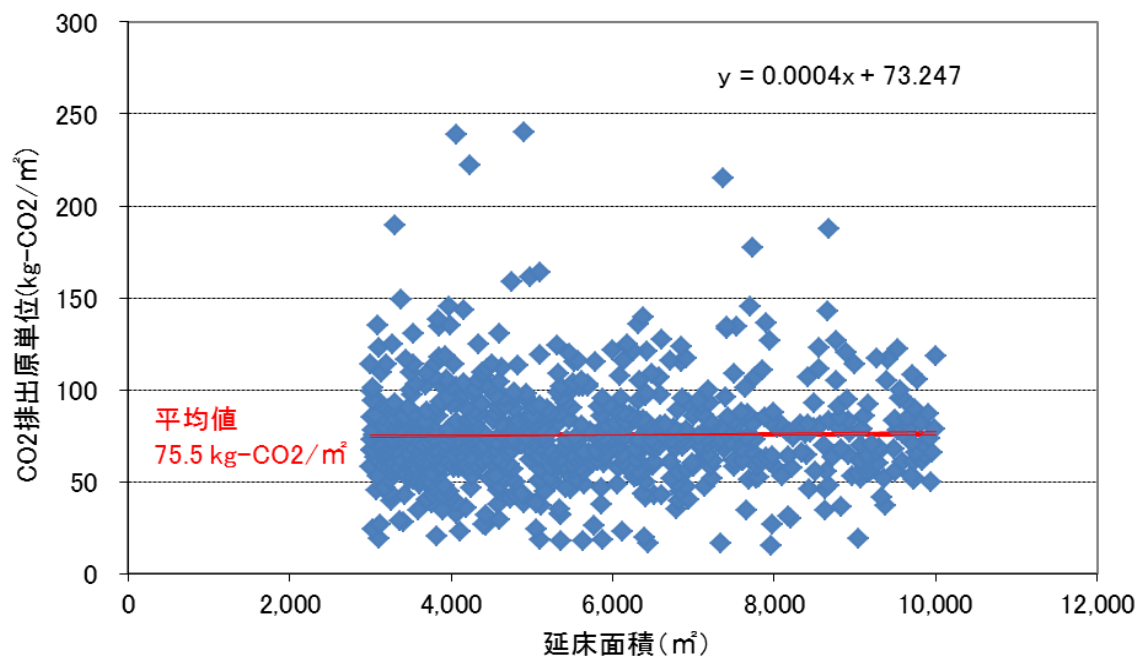
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	41.6 以下	52	6.8%	5473
A3 +	0.55超-0.60以下	41.6 超 45.3 以下	19	9.3%	4997
A3	0.60超-0.65以下	45.3 超 49.1 以下	19		5580
A3 -	0.65超-0.70以下	49.1 超 52.9 以下	33		5872
A2 +	0.70超-0.75以下	52.9 超 56.7 以下	33	17.2%	5576
A2	0.75超-0.80以下	56.7 超 60.4 以下	47		5445
A2 -	0.80超-0.85以下	60.4 超 64.2 以下	51		5604
A1 +	0.85超-0.90以下	64.2 超 68.0 以下	58	23.1%	5580
A1	0.90超-0.95以下	68.0 超 71.8 以下	57		5570
A1 -	0.95超-1.00以下	71.8 超 75.5 以下	61		5334
B2 +	1.00超-1.05以下	75.5 超 79.3 以下	53	18.6%	6057
B2	1.05超-1.10以下	79.3 超 83.1 以下	51		5739
B2 -	1.10超-1.15以下	83.1 超 86.9 以下	38		5808
B1	1.15超-1.50以下	86.9 超 113.3 以下	126	16.5%	5541
C	1.50超	113.3 超	64	8.4%	5812
合計			762	平均	5612

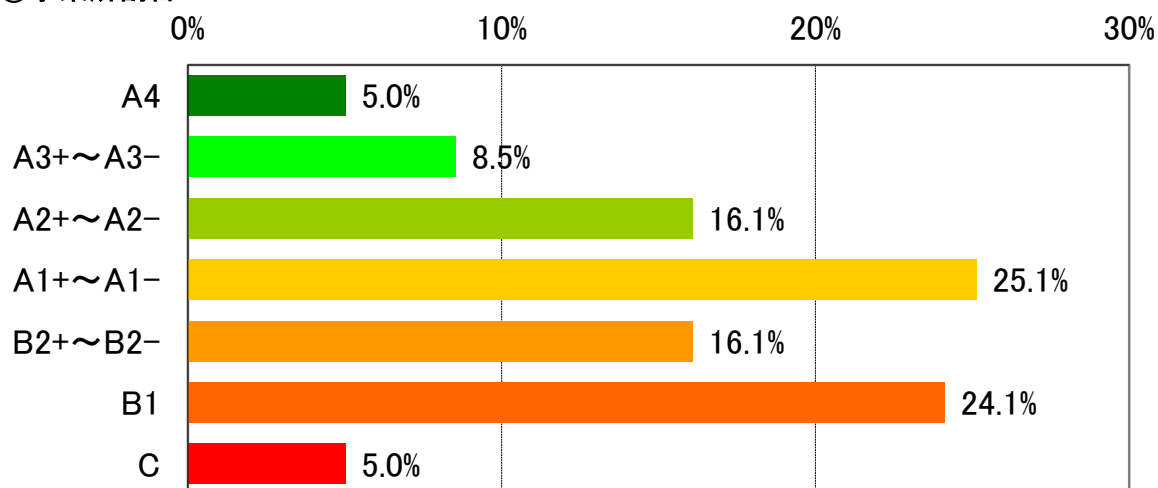
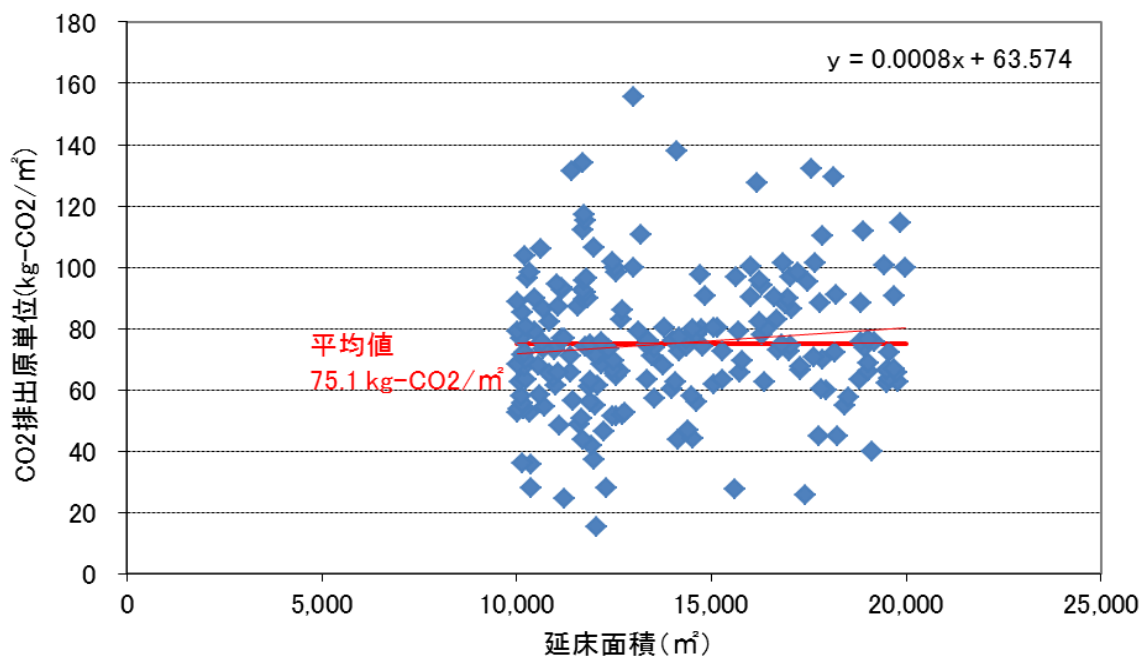
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	41.4 以下	10	5.0%	13061
A3 +	0.55超-0.60以下	41.4 超 45.1 以下	6	8.5%	14715
A3	0.60超-0.65以下	45.1 超 48.9 以下	4		12346
A3 -	0.65超-0.70以下	48.9 超 52.6 以下	7		11796
A2 +	0.70超-0.75以下	52.6 超 56.4 以下	8	16.1%	12261
A2	0.75超-0.80以下	56.4 超 60.1 以下	7		13809
A2 -	0.80超-0.85以下	60.1 超 63.9 以下	17		14752
A1 +	0.85超-0.90以下	63.9 超 67.6 以下	15	25.1%	14375
A1	0.90超-0.95以下	67.6 超 71.4 以下	14		13845
A1 -	0.95超-1.00以下	71.4 超 75.1 以下	21		14280
B2 +	1.00超-1.05以下	75.1 超 78.9 以下	14	16.1%	14232
B2	1.05超-1.10以下	78.9 超 82.7 以下	13		13572
B2 -	1.10超-1.15以下	82.7 超 86.4 以下	5		12583
B1	1.15超-1.50以下	86.4 超 112.7 以下	48	24.1%	14382
C	1.50超	112.7 超	10	5.0%	14548
合計			199	平均	13970

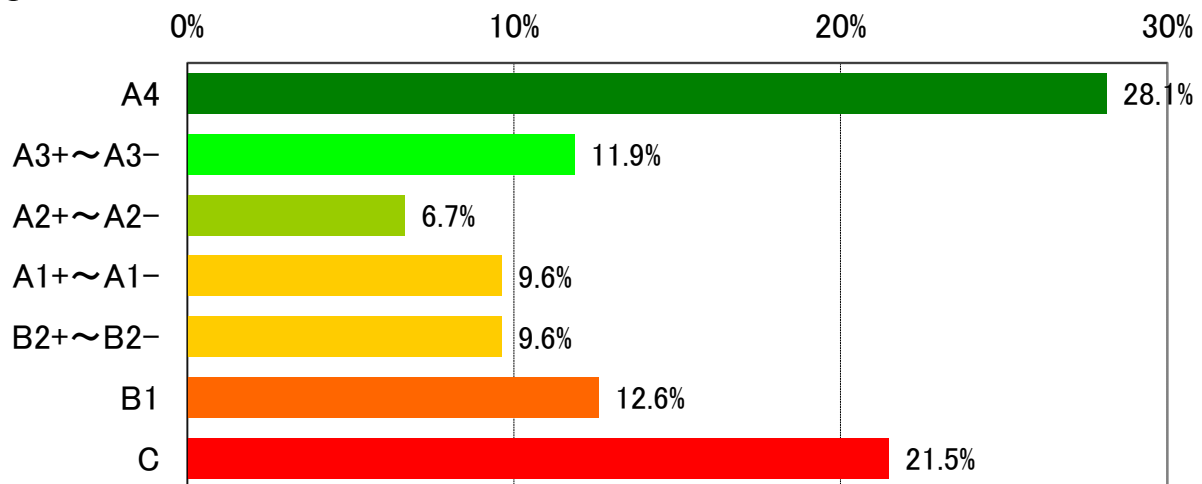
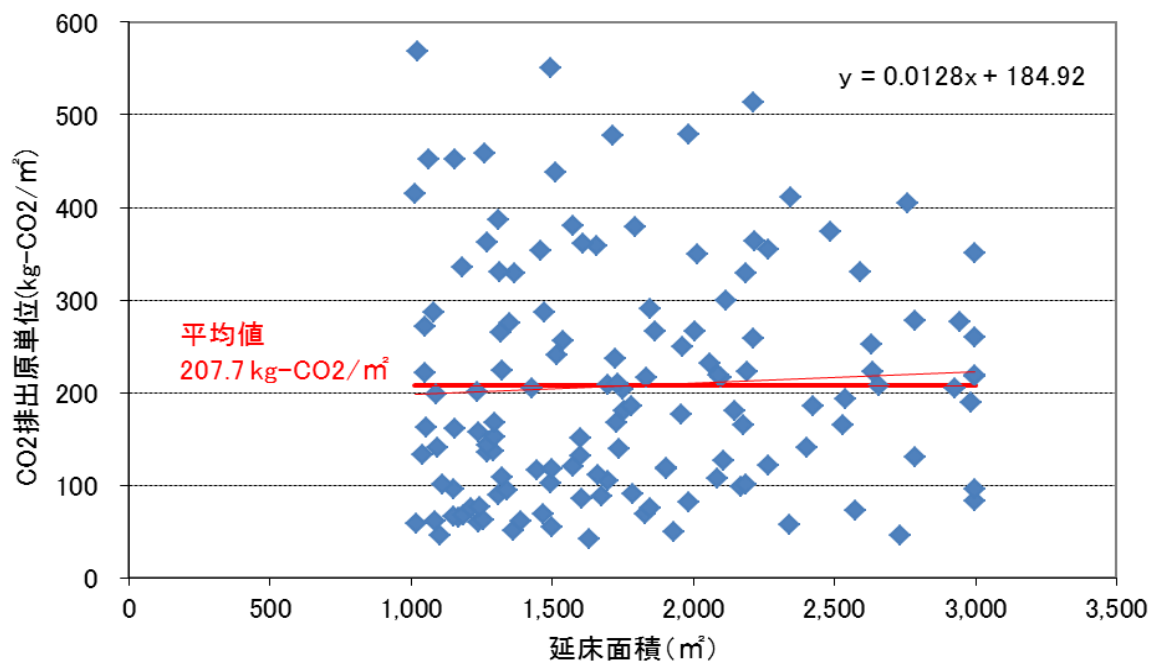
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	114.3 以下	38	28.1%	1654
A3 +	0.55超-0.60以下	114.3 超 124.7 以下	6	11.9%	1765
A3	0.60超-0.65以下	124.7 超 135.1 以下	4		1884
A3 -	0.65超-0.70以下	135.1 超 145.4 以下	6		1510
A2 +	0.70超-0.75以下	145.4 超 155.8 以下	2	6.7%	1448
A2	0.75超-0.80以下	155.8 超 166.2 以下	5		1632
A2 -	0.80超-0.85以下	166.2 超 176.6 以下	2		1513
A1 +	0.85超-0.90以下	176.6 超 187.0 以下	5	9.6%	2012
A1	0.90超-0.95以下	187.0 超 197.4 以下	2		2762
A1 -	0.95超-1.00以下	197.4 超 207.7 以下	6		1848
B2 +	1.00超-1.05以下	207.7 超 218.1 以下	5	9.6%	2072
B2	1.05超-1.10以下	218.1 超 228.5 以下	6		2048
B2 -	1.10超-1.15以下	228.5 超 238.9 以下	2		1891
B1	1.15超-1.50以下	238.9 超 311.6 以下	17	12.6%	1923
C	1.50超	311.6 超	29	21.5%	1753
合計			135	平均	1783

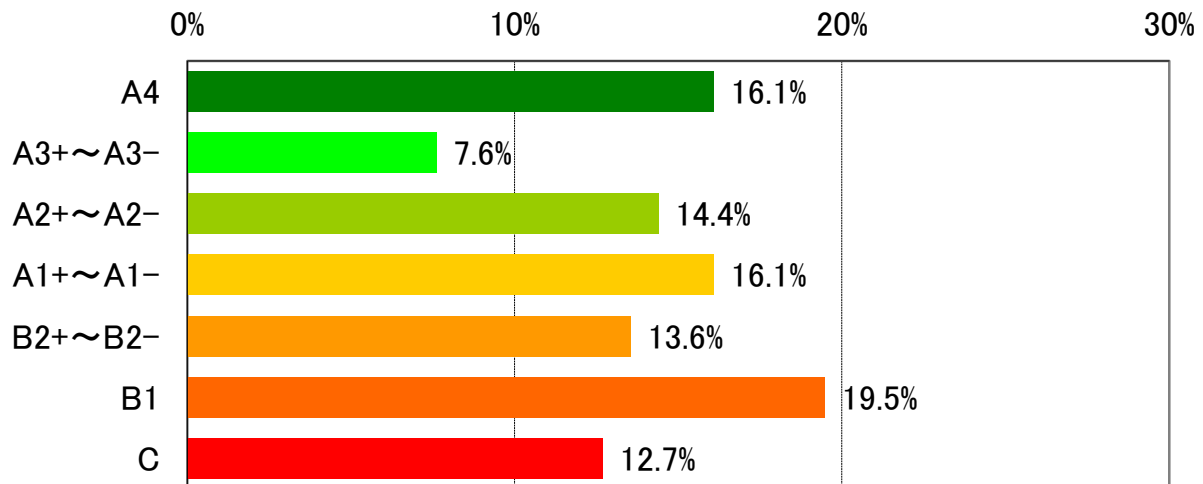
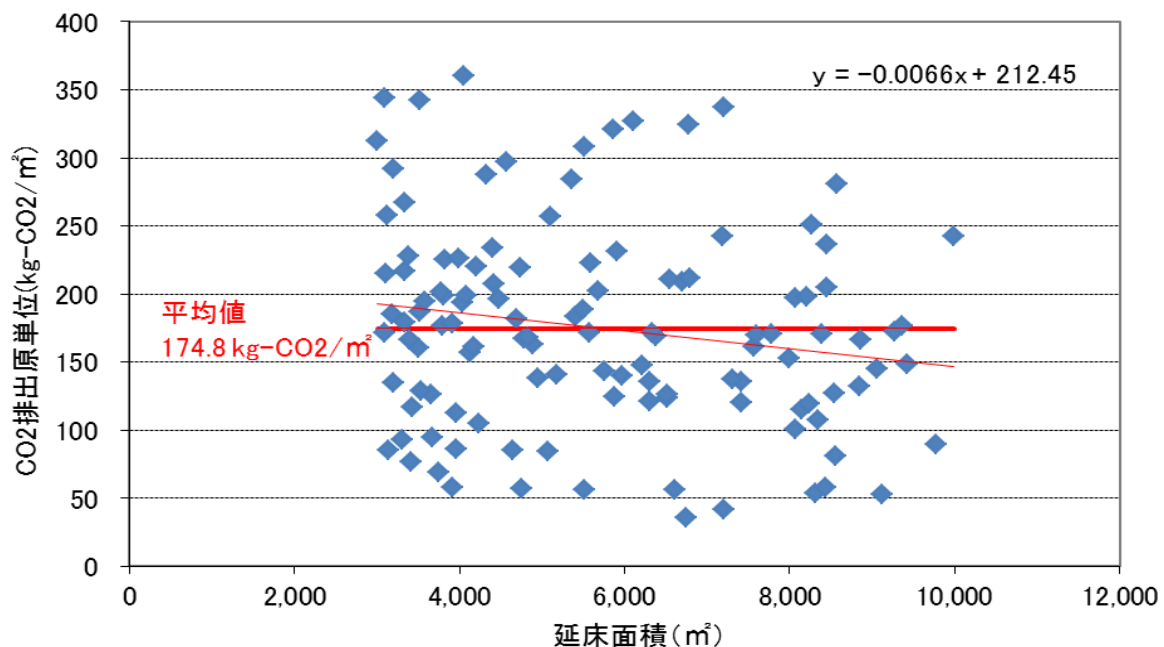
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	96.2 以下	19	16.1%	5780
A3 +	0.55超-0.60以下	96.2 超 104.9 以下	2	7.6%	6147
A3	0.60超-0.65以下	104.9 超 113.7 以下	2		6152
A3 -	0.65超-0.70以下	113.7 超 122.4 以下	5		6706
A2 +	0.70超-0.75以下	122.4 超 131.1 以下	6	14.4%	5772
A2	0.75超-0.80以下	131.1 超 139.9 以下	7		6284
A2 -	0.80超-0.85以下	139.9 超 148.6 以下	4		6551
A1 +	0.85超-0.90以下	148.6 超 157.4 以下	3	16.1%	7180
A1	0.90超-0.95以下	157.4 超 166.1 以下	4		5036
A1 -	0.95超-1.00以下	166.1 超 174.8 以下	12		6357
B2 +	1.00超-1.05以下	174.8 超 183.6 以下	5	13.6%	5019
B2	1.05超-1.10以下	183.6 超 192.3 以下	4		4398
B2 -	1.10超-1.15以下	192.3 超 201.1 以下	7		5180
B1	1.15超-1.50以下	201.1 超 262.2 以下	23	19.5%	5518
C	1.50超	262.2 超	15	12.7%	4965
合計			118	平均	5687

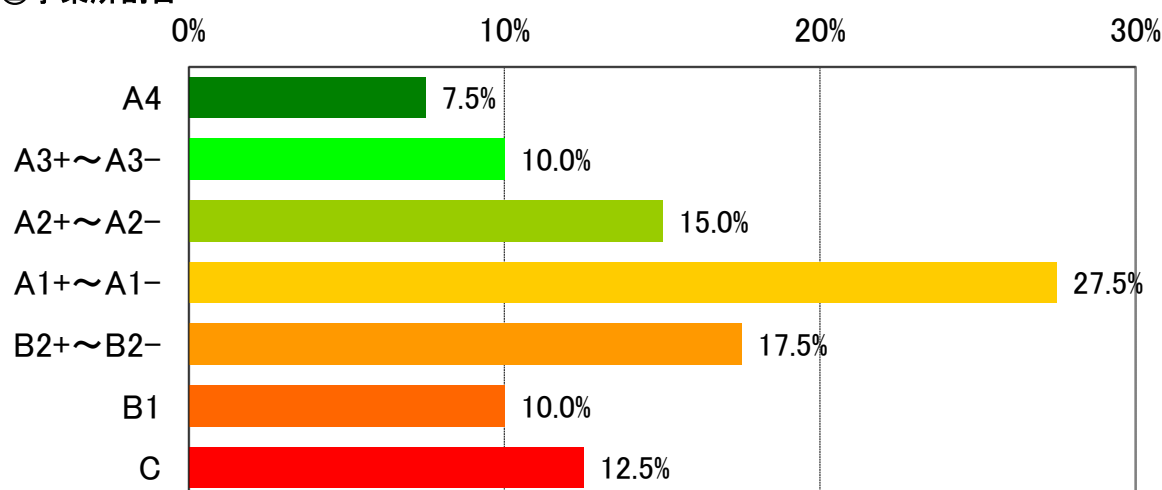
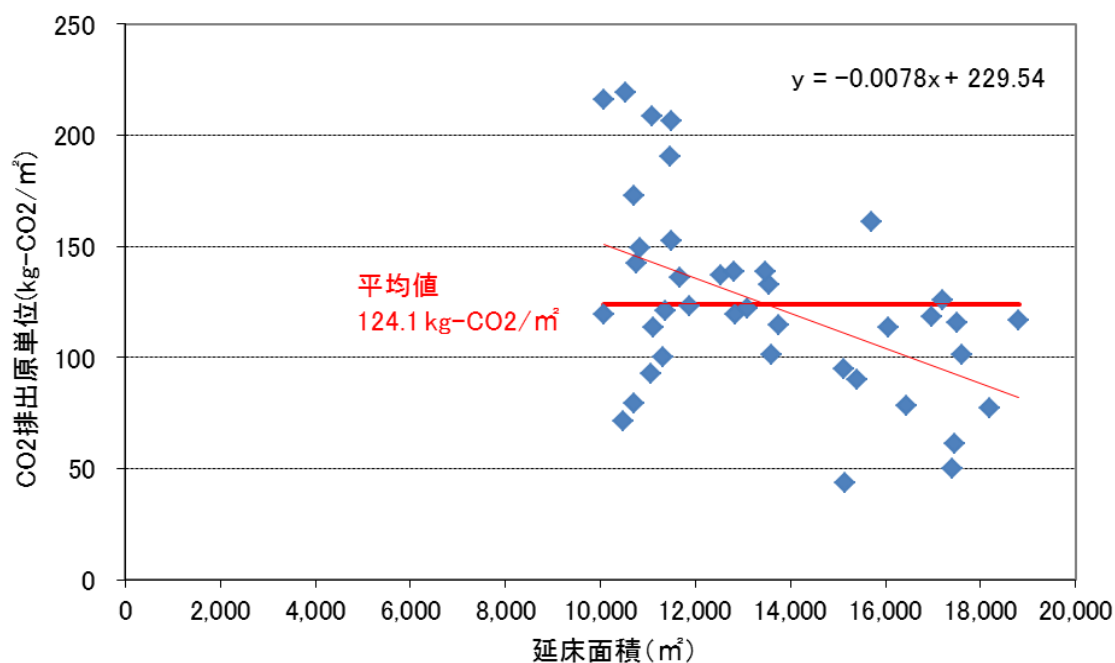
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	68.3 以下	3	7.5%	16663
A3 +	0.55超-0.60以下	68.3 超 74.5 以下	1	10.0%	10472
A3	0.60超-0.65以下	74.5 超 80.7 以下	3		15116
A3 -	0.65超-0.70以下	80.7 超 86.9 以下	0		0
A2 +	0.70超-0.75以下	86.9 超 93.1 以下	2	15.0%	13227
A2	0.75超-0.80以下	93.1 超 99.3 以下	1		15120
A2 -	0.80超-0.85以下	99.3 超 105.5 以下	3		14173
A1 +	0.85超-0.90以下	105.5 超 111.7 以下	0	27.5%	0
A1	0.90超-0.95以下	111.7 超 117.9 以下	5		15446
A1 -	0.95超-1.00以下	117.9 超 124.1 以下	6		12705
B2 +	1.00超-1.05以下	124.1 超 130.4 以下	1	17.5%	17214
B2	1.05超-1.10以下	130.4 超 136.6 以下	2		12616
B2 -	1.10超-1.15以下	136.6 超 142.8 以下	4		12393
B1	1.15超-1.50以下	142.8 超 186.2 以下	4	10.0%	12191
C	1.50超	186.2 超	5	12.5%	10928
合計			40	平均	13470

②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

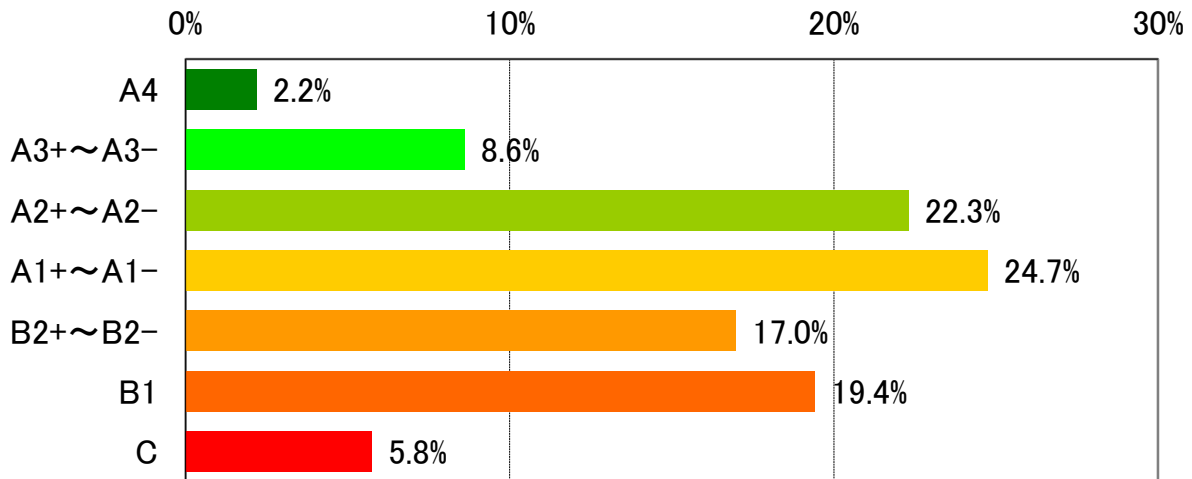
区分番号:5

物販店(コンビニ)

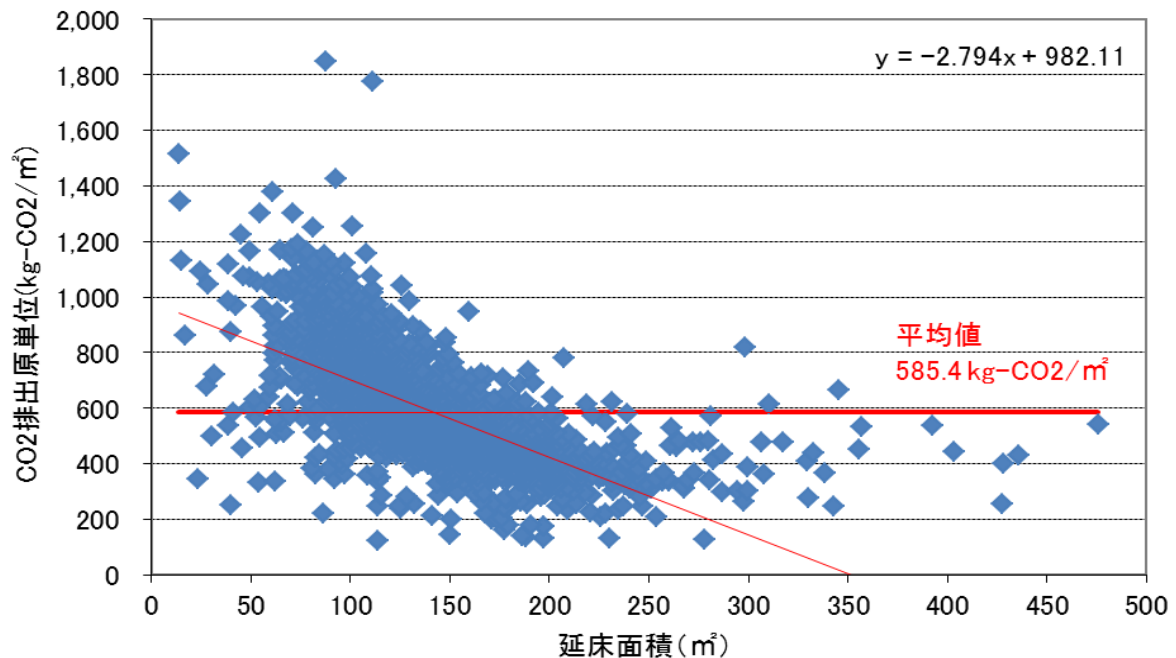
①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	322.0 以下	80	2.2%	202
A3 +	0.55超-0.60以下	322.0 超 351.3 以下	62	8.6%	194
A3	0.60超-0.65以下	351.3 超 380.6 以下	106		193
A3 -	0.65超-0.70以下	380.6 超 409.8 以下	146		188
A2 +	0.70超-0.75以下	409.8 超 439.1 以下	221	22.3%	177
A2	0.75超-0.80以下	439.1 超 468.4 以下	251		170
A2 -	0.80超-0.85以下	468.4 超 497.6 以下	341		162
A1 +	0.85超-0.90以下	497.6 超 526.9 以下	307	24.7%	152
A1	0.90超-0.95以下	526.9 超 556.2 以下	293		144
A1 -	0.95超-1.00以下	556.2 超 585.4 以下	302		137
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 585.4 超 614.7 以下	230	17.0%	132
B2	1.05超-1.10以下	614.7 超 644.0 以下	208		128
B2 -	1.10超-1.15以下	644.0 超 673.3 以下	181		122
B1	1.15超-1.50以下	673.3 超 878.1 以下	708	19.4%	109
C	1.50超	878.1 超	210	5.8%	88
合計			3646	平均	142

②事業所割合



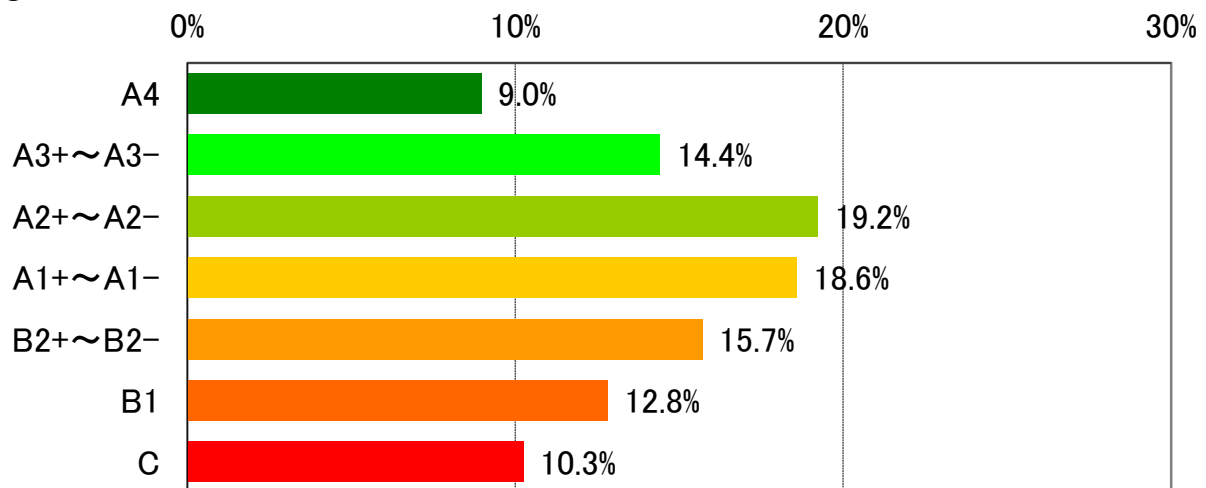
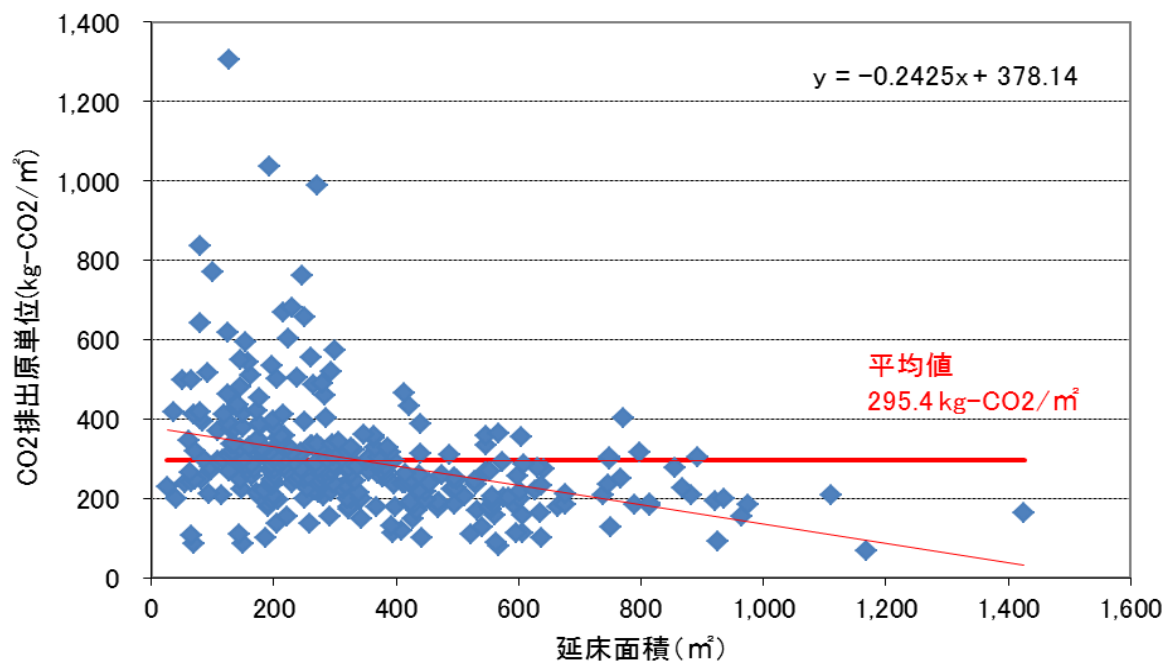
③CO₂排出原単位の散布図



①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	162.5 以下	28	9.0%	465
A3 +	0.55超-0.60以下	162.5 超 177.3 以下	7	14.4%	625
A3	0.60超-0.65以下	177.3 超 192.1 以下	20		531
A3 -	0.65超-0.70以下	192.1 超 206.8 以下	18		436
A2 +	0.70超-0.75以下	206.8 超 221.6 以下	15	19.2%	456
A2	0.75超-0.80以下	221.6 超 236.4 以下	20		375
A2 -	0.80超-0.85以下	236.4 超 251.1 以下	25		321
A1 +	0.85超-0.90以下	251.1 超 265.9 以下	19	18.6%	327
A1	0.90超-0.95以下	265.9 超 280.7 以下	23		342
A1 -	0.95超-1.00以下	280.7 超 295.4 以下	16		282
B2 +	1.00超-1.05以下	295.4 超 310.2 以下	20	15.7%	323
B2	1.05超-1.10以下	310.2 超 325.0 以下	12		278
B2 -	1.10超-1.15以下	325.0 超 339.8 以下	17		256
B1	1.15超-1.50以下	339.8 超 443.1 以下	40	12.8%	232
C	1.50超	443.1 超	32	10.3%	193
合計			312	平均	341

②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

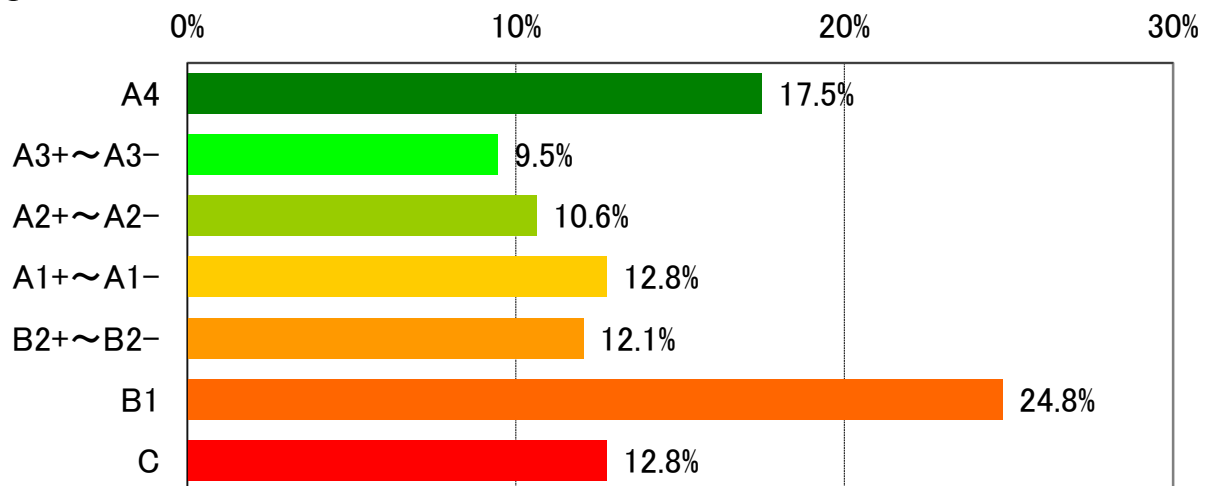
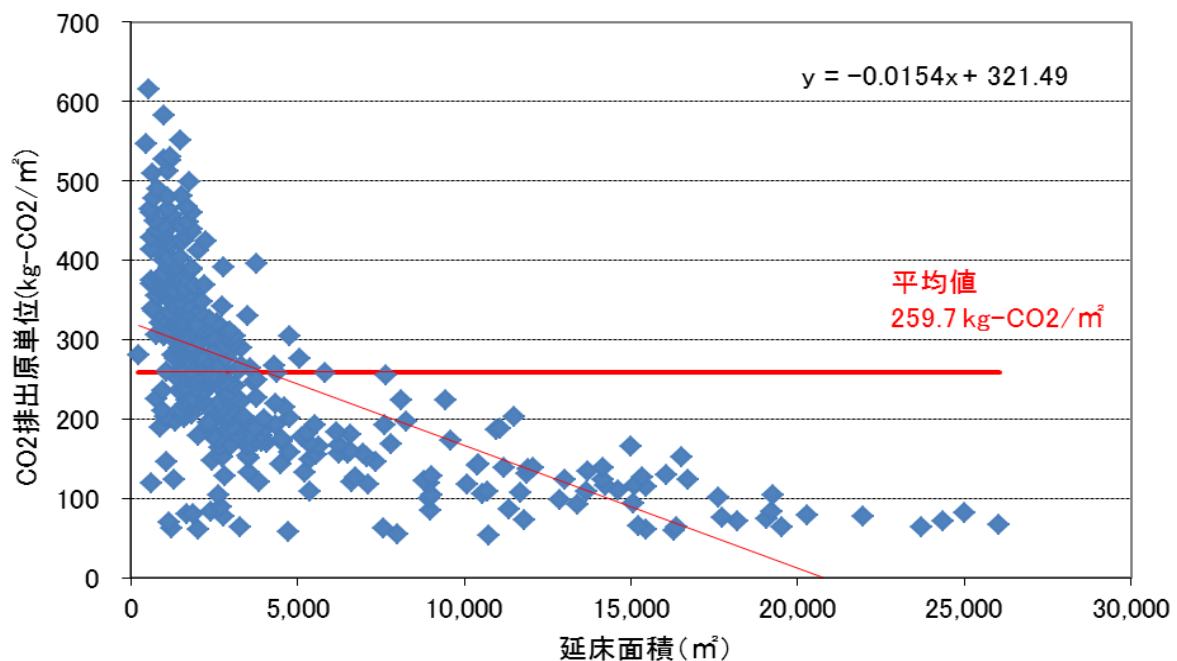
区分番号:7

物販店(総合スーパー・百貨店)

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	142.9 以下	74	17.5%	11307
A3 +	0.55超-0.60以下	142.9 超 155.9 以下	11	9.5%	5416
A3	0.60超-0.65以下	155.9 超 168.9 以下	14		5989
A3 -	0.65超-0.70以下	168.9 超 181.8 以下	15		4235
A2 +	0.70超-0.75以下	181.8 超 194.8 以下	15	10.6%	4896
A2	0.75超-0.80以下	194.8 超 207.8 以下	16		3540
A2 -	0.80超-0.85以下	207.8 超 220.8 以下	14		2375
A1 +	0.85超-0.90以下	220.8 超 233.8 以下	16	12.8%	3231
A1	0.90超-0.95以下	233.8 超 246.8 以下	18		2241
A1 -	0.95超-1.00以下	246.8 超 259.7 以下	20		2715
B2 +	1.00超-1.05以下	259.7 超 272.7 以下	17	12.1%	2360
B2	1.05超-1.10以下	272.7 超 285.7 以下	18		2002
B2 -	1.10超-1.15以下	285.7 超 298.7 以下	16		1953
B1	1.15超-1.50以下	298.7 超 389.6 以下	105	24.8%	1551
C	1.50超	389.6 超	54	12.8%	1260
合計			423	平均	3999

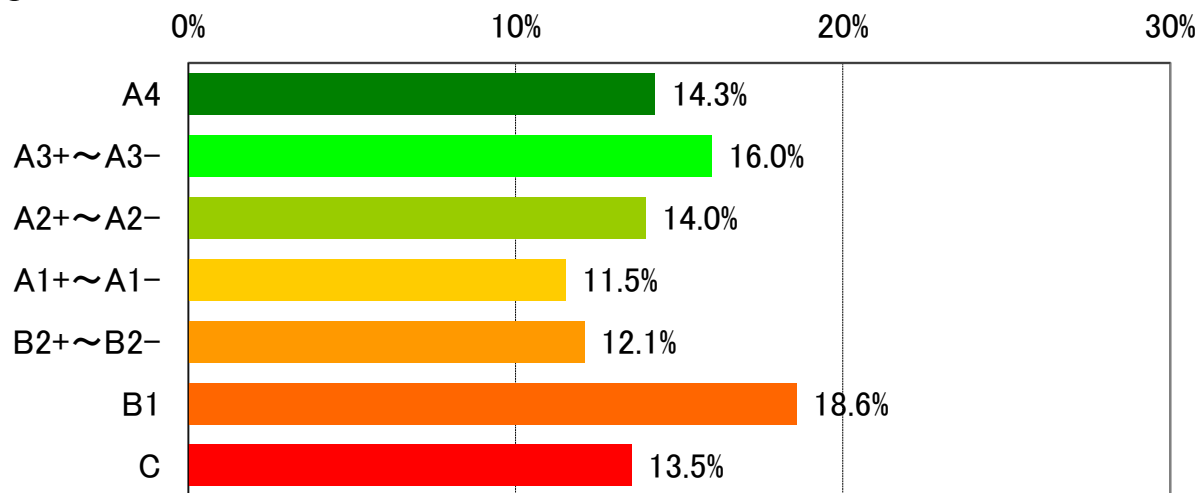
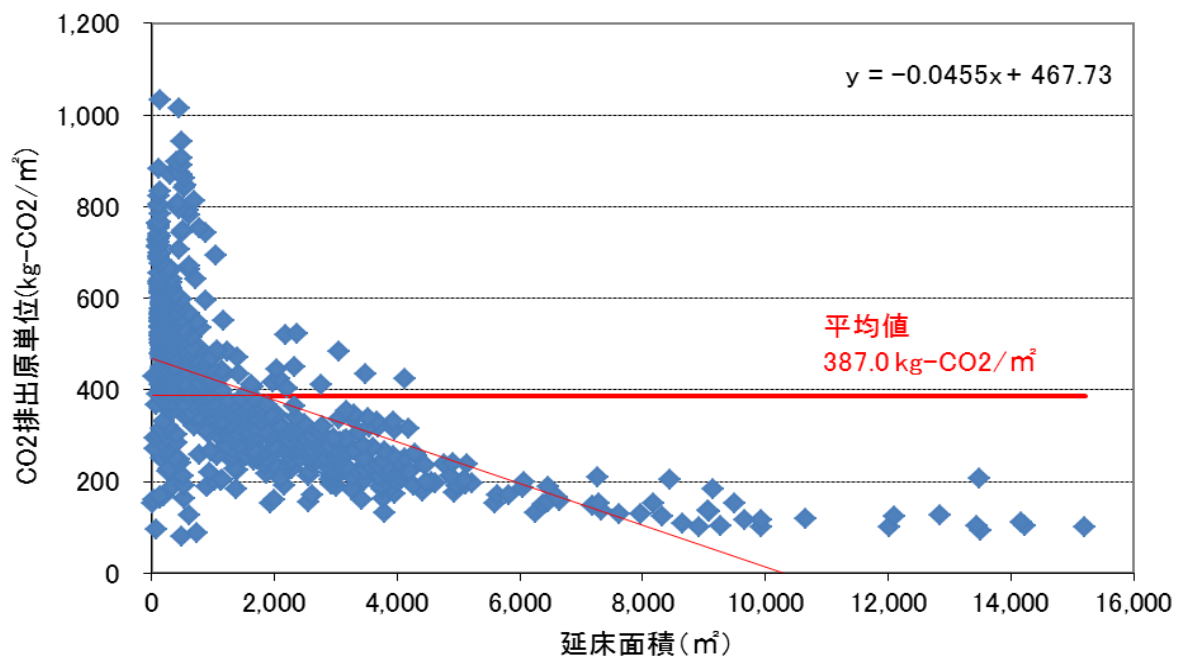
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	212.9 以下	99	14.3%	5249
A3 +	0.55超-0.60以下	212.9 超 232.2 以下	28	16.0%	2717
A3	0.60超-0.65以下	232.2 超 251.6 以下	36		2612
A3 -	0.65超-0.70以下	251.6 超 270.9 以下	47		2313
A2 +	0.70超-0.75以下	270.9 超 290.3 以下	30	14.0%	2093
A2	0.75超-0.80以下	290.3 超 309.6 以下	34		1702
A2 -	0.80超-0.85以下	309.6 超 329.0 以下	33		1757
A1 +	0.85超-0.90以下	329.0 超 348.3 以下	37	11.5%	1714
A1	0.90超-0.95以下	348.3 超 367.7 以下	22		1187
A1 -	0.95超-1.00以下	367.7 超 387.0 以下	21		933
B2 +	1.00超-1.05以下	387.0 超 406.4 以下	30	12.1%	676
B2	1.05超-1.10以下	406.4 超 425.7 以下	24		933
B2 -	1.10超-1.15以下	425.7 超 445.1 以下	30		492
B1	1.15超-1.50以下	445.1 超 580.5 以下	129	18.6%	450
C	1.50超	580.5 超	94	13.5%	303
合計			694	平均	1772

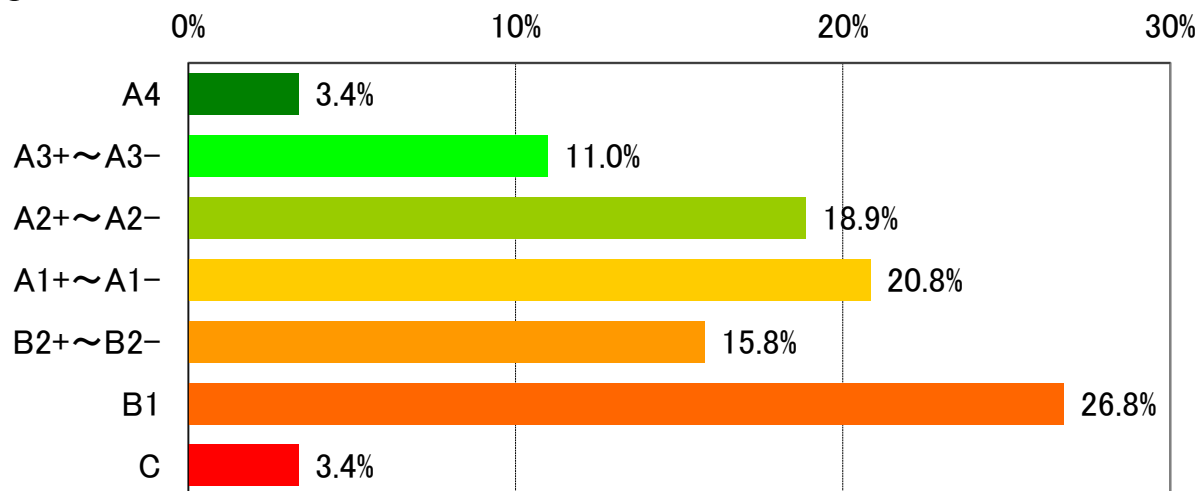
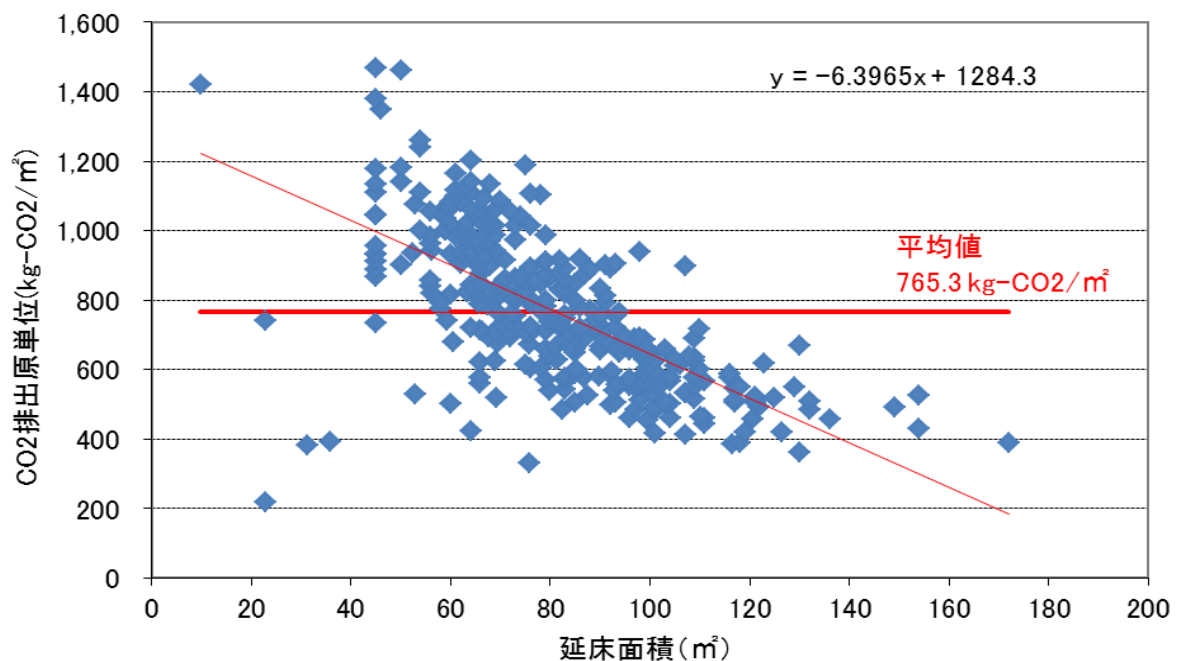
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	421.0 以下	12	3.4%	96
A3 +	0.55超-0.60以下	421.0 超 459.2 以下	7	11.0%	112
A3	0.60超-0.65以下	459.2 超 497.5 以下	10		111
A3 -	0.65超-0.70以下	497.5 超 535.8 以下	22		103
A2 +	0.70超-0.75以下	535.8 超 574.0 以下	23	18.9%	98
A2	0.75超-0.80以下	574.0 超 612.3 以下	22		96
A2 -	0.80超-0.85以下	612.3 超 650.6 以下	22		95
A1 +	0.85超-0.90以下	650.6 超 688.8 以下	25	20.8%	91
A1	0.90超-0.95以下	688.8 超 727.1 以下	29		82
A1 -	0.95超-1.00以下	727.1 超 765.3 以下	20		74
B2 +	1.00超-1.05以下	765.3 超 803.6 以下	16	15.8%	76
B2	1.05超-1.10以下	803.6 超 841.9 以下	20		72
B2 -	1.10超-1.15以下	841.9 超 880.1 以下	20		73
B1	1.15超-1.50以下	880.1 超 1148.0 以下	95	26.8%	65
C	1.50超	1148.0 超	12	3.4%	50
合計			355	平均	81

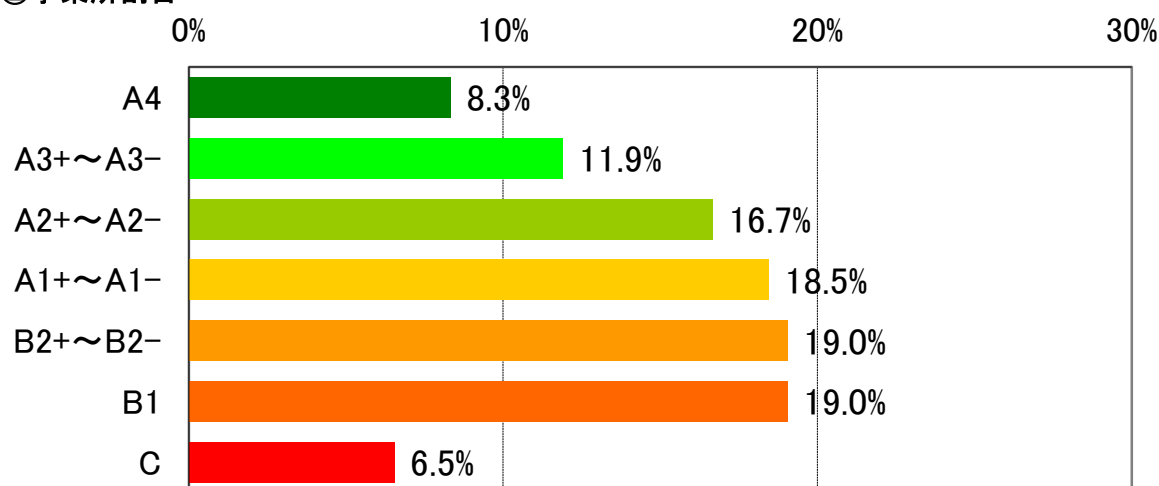
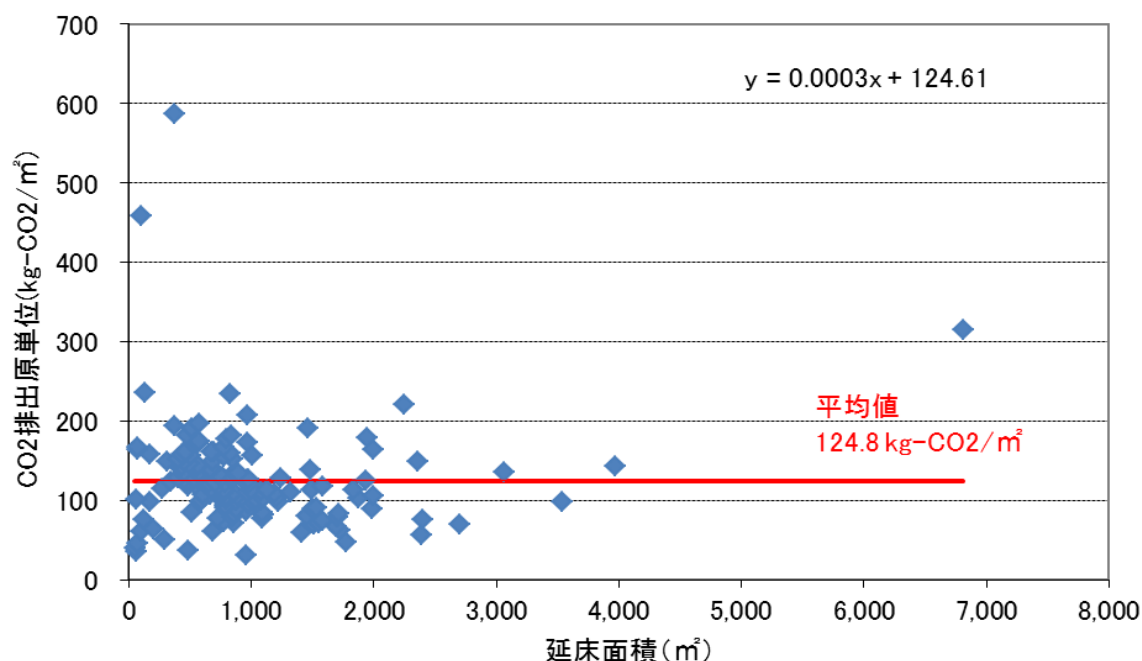
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	68.7 以下	14	8.3%	849
A3 +	0.55超-0.60以下	68.7 超 74.9 以下	7	11.9%	1497
A3	0.60超-0.65以下	74.9 超 81.2 以下	7		1191
A3 -	0.65超-0.70以下	81.2 超 87.4 以下	6		1038
A2 +	0.70超-0.75以下	87.4 超 93.6 以下	5	16.7%	1337
A2	0.75超-0.80以下	93.6 超 99.9 以下	9		1144
A2 -	0.80超-0.85以下	99.9 超 106.1 以下	14		996
A1 +	0.85超-0.90以下	106.1 超 112.4 以下	12	18.5%	881
A1	0.90超-0.95以下	112.4 超 118.6 以下	11		972
A1 -	0.95超-1.00以下	118.6 超 124.8 以下	8		651
B2 +	1.00超-1.05以下	124.8 超 131.1 以下	16	19.0%	817
B2	1.05超-1.10以下	131.1 超 137.3 以下	10		887
B2 -	1.10超-1.15以下	137.3 超 143.6 以下	6		1249
B1	1.15超-1.50以下	143.6 超 187.2 以下	32	19.0%	713
C	1.50超	187.2 超	11	6.5%	1308
合計			168	平均	958

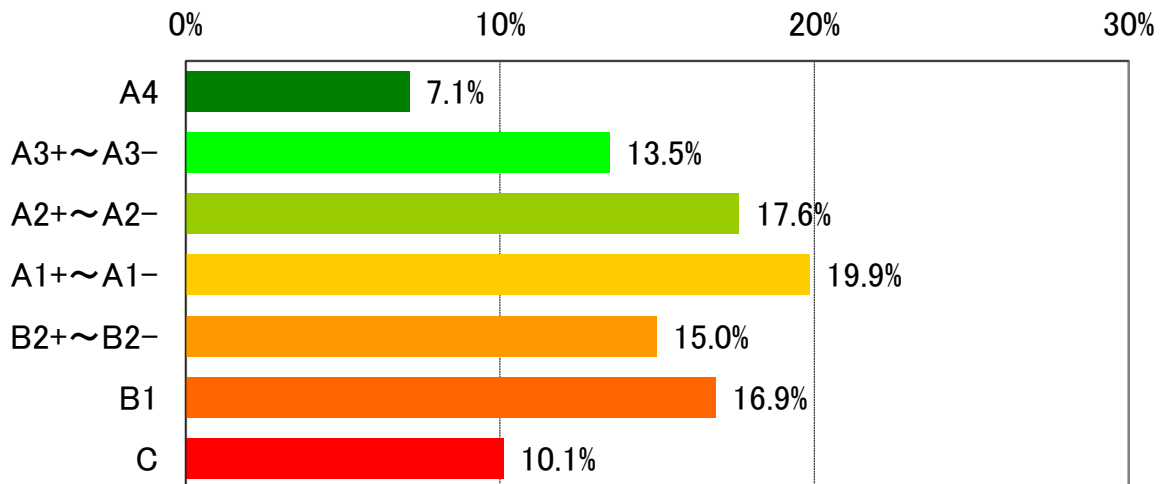
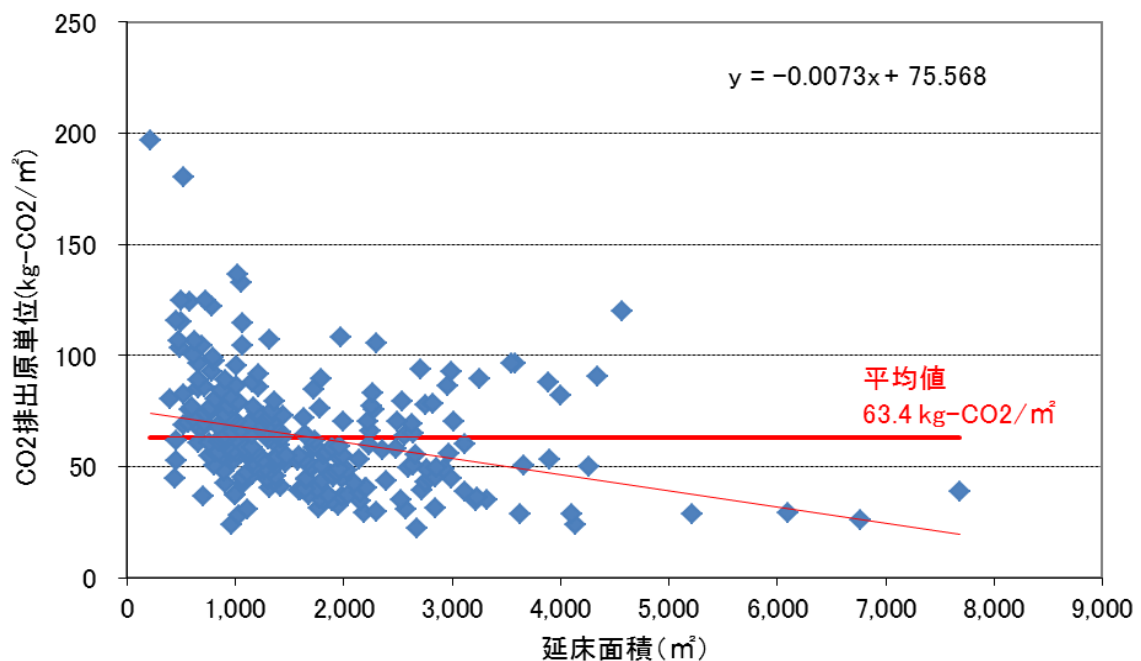
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	34.9 以下	19	7.1%	2979
A3 +	0.55超-0.60以下	34.9 超 38.1 以下	13	13.5%	1930
A3	0.60超-0.65以下	38.1 超 41.3 以下	12		2404
A3 -	0.65超-0.70以下	41.3 超 44.4 以下	11		1618
A2 +	0.70超-0.75以下	44.4 超 47.6 以下	14	17.6%	1747
A2	0.75超-0.80以下	47.6 超 50.8 以下	20		2013
A2 -	0.80超-0.85以下	50.8 超 53.9 以下	13		1572
A1 +	0.85超-0.90以下	53.9 超 57.1 以下	24	19.9%	1421
A1	0.90超-0.95以下	57.1 超 60.3 以下	15		1675
A1 -	0.95超-1.00以下	60.3 超 63.4 以下	14		1095
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 63.4 超 66.6 以下	14	15.0%	1444
B2	1.05超-1.10以下	66.6 超 69.8 以下	13		1138
B2 -	1.10超-1.15以下	69.8 超 73.0 以下	13		1508
B1	1.15超-1.50以下	73.0 超 95.1 以下	45	16.9%	1575
C	1.50超	95.1 超	27	10.1%	1182
合計			267	平均	1668

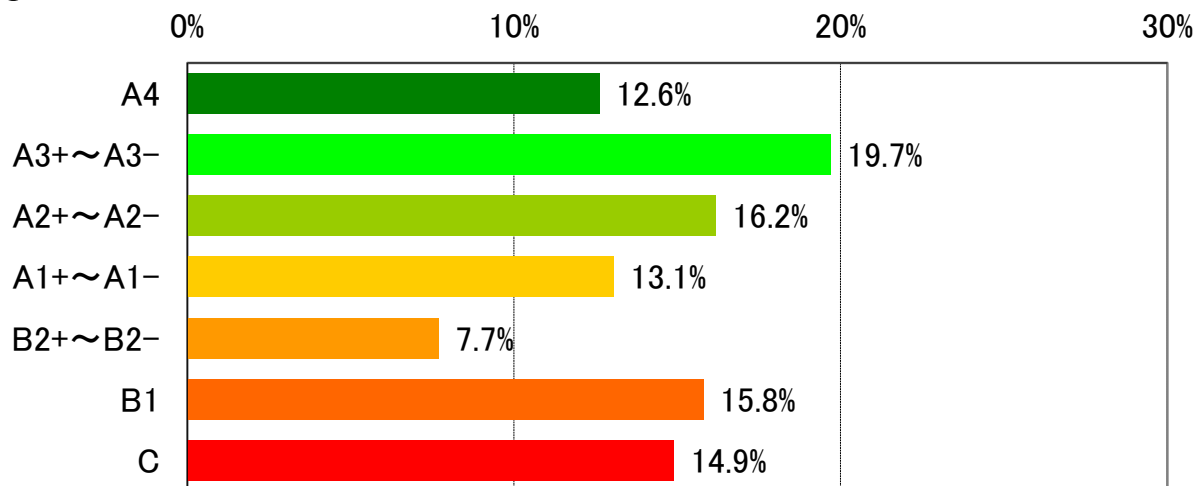
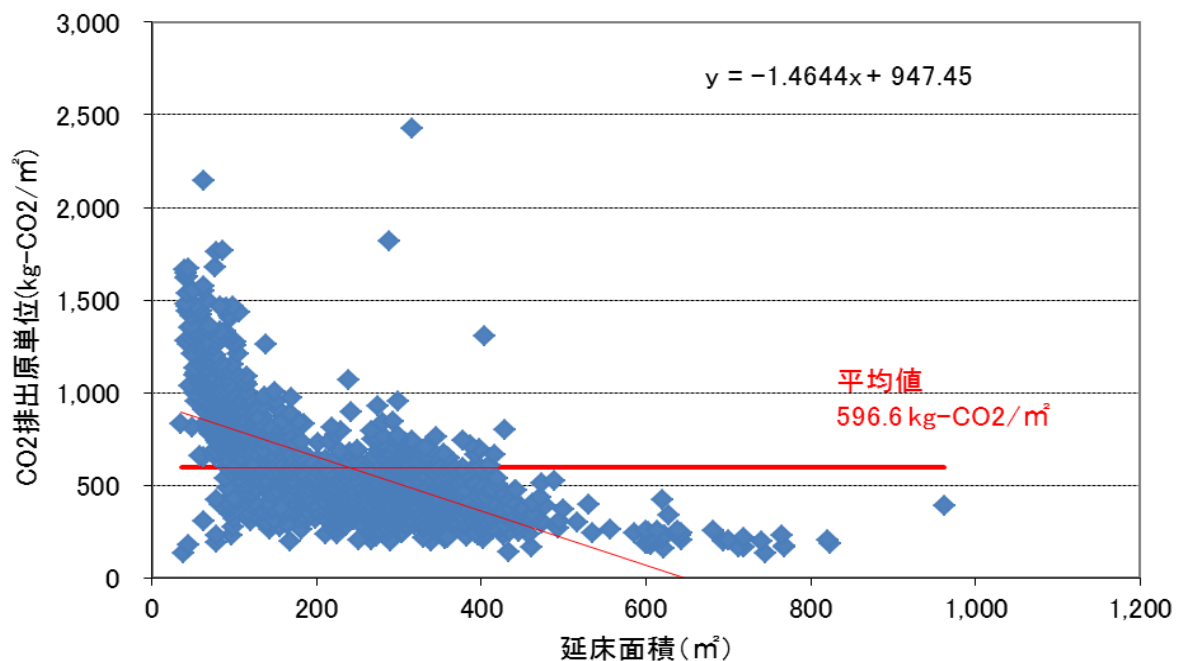
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	328.2 以下	198	12.6%	373
A3 +	0.55超-0.60以下	328.2 超 358.0 以下	80	19.7%	306
A3	0.60超-0.65以下	358.0 超 387.8 以下	116		306
A3 -	0.65超-0.70以下	387.8 超 417.7 以下	113		304
A2 +	0.70超-0.75以下	417.7 超 447.5 以下	91	16.2%	297
A2	0.75超-0.80以下	447.5 超 477.3 以下	92		284
A2 -	0.80超-0.85以下	477.3 超 507.2 以下	71		282
A1 +	0.85超-0.90以下	507.2 超 537.0 以下	81	13.1%	274
A1	0.90超-0.95以下	537.0 超 566.8 以下	61		260
A1 -	0.95超-1.00以下	566.8 超 596.6 以下	63		231
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 596.6 超 626.5 以下	46	7.7%	245
B2	1.05超-1.10以下	626.5 超 656.3 以下	38		225
B2 -	1.10超-1.15以下	656.3 超 686.1 以下	37		228
B1	1.15超-1.50以下	686.1 超 894.9 以下	248	15.8%	136
C	1.50超	894.9 超	234	14.9%	85
合計			1569	平均	240

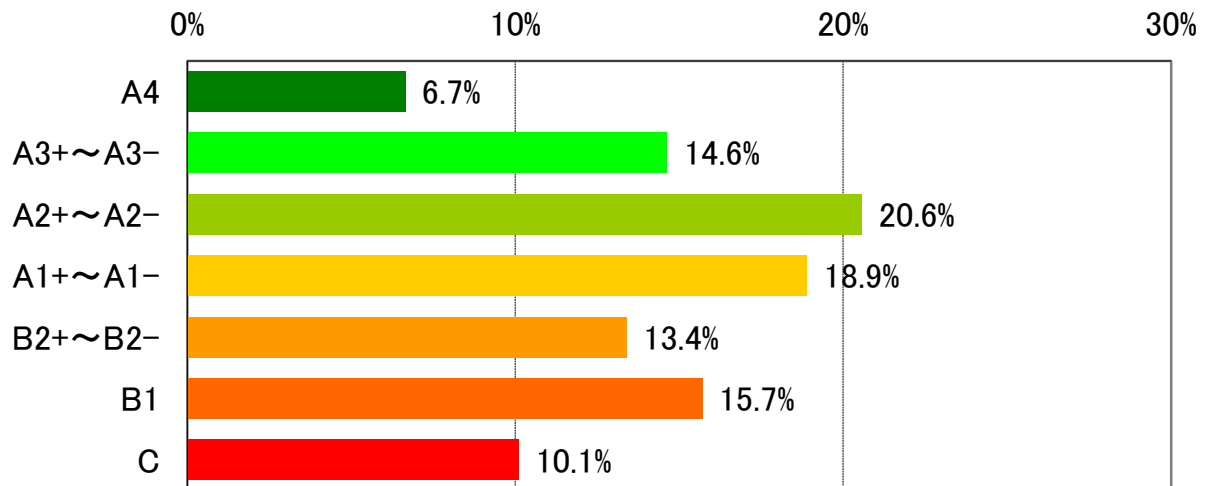
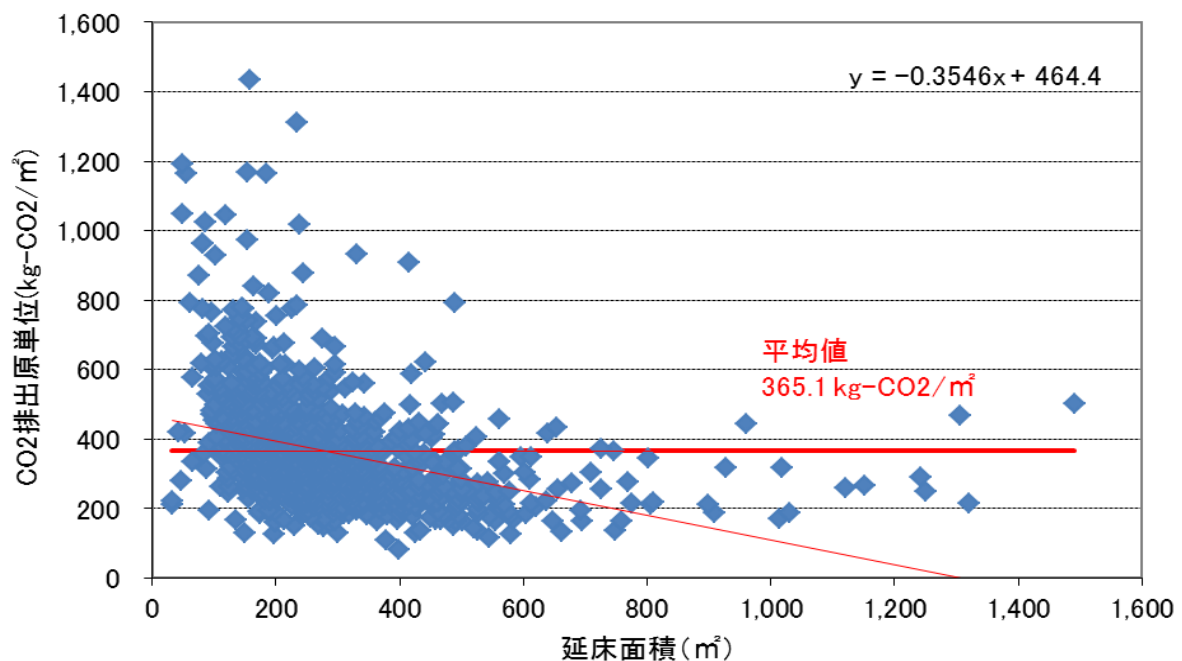
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	200.9 以下	75	6.7%	416
A3 +	0.55超-0.60以下	200.9 超 219.1 以下	50	14.6%	432
A3	0.60超-0.65以下	219.1 超 237.4 以下	57		334
A3 -	0.65超-0.70以下	237.4 超 255.6 以下	58		346
A2 +	0.70超-0.75以下	255.6 超 273.9 以下	68	20.6%	323
A2	0.75超-0.80以下	273.9 超 292.1 以下	87		286
A2 -	0.80超-0.85以下	292.1 超 310.4 以下	77		281
A1 +	0.85超-0.90以下	310.4 超 328.6 以下	68	18.9%	279
A1	0.90超-0.95以下	328.6 超 346.9 以下	67		271
A1 -	0.95超-1.00以下	346.9 超 365.1 以下	78		262
B2 +	1.00超-1.05以下	365.1 超 383.4 以下	64	13.4%	255
B2	1.05超-1.10以下	383.4 超 401.7 以下	46		234
B2 -	1.10超-1.15以下	401.7 超 419.9 以下	41		249
B1	1.15超-1.50以下	419.9 超 547.7 以下	177	15.7%	229
C	1.50超	547.7 超	114	10.1%	173
合計			1127	平均	280

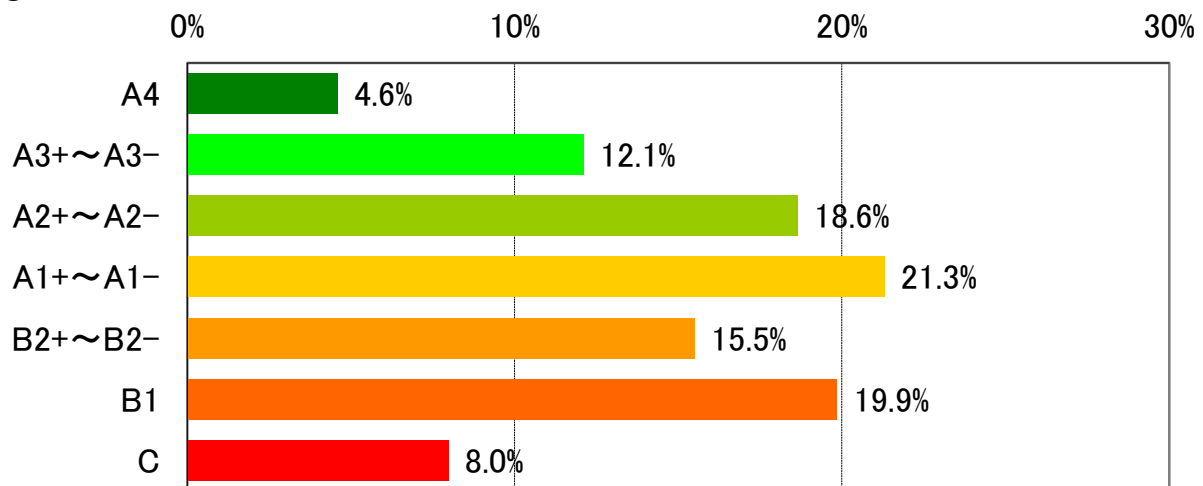
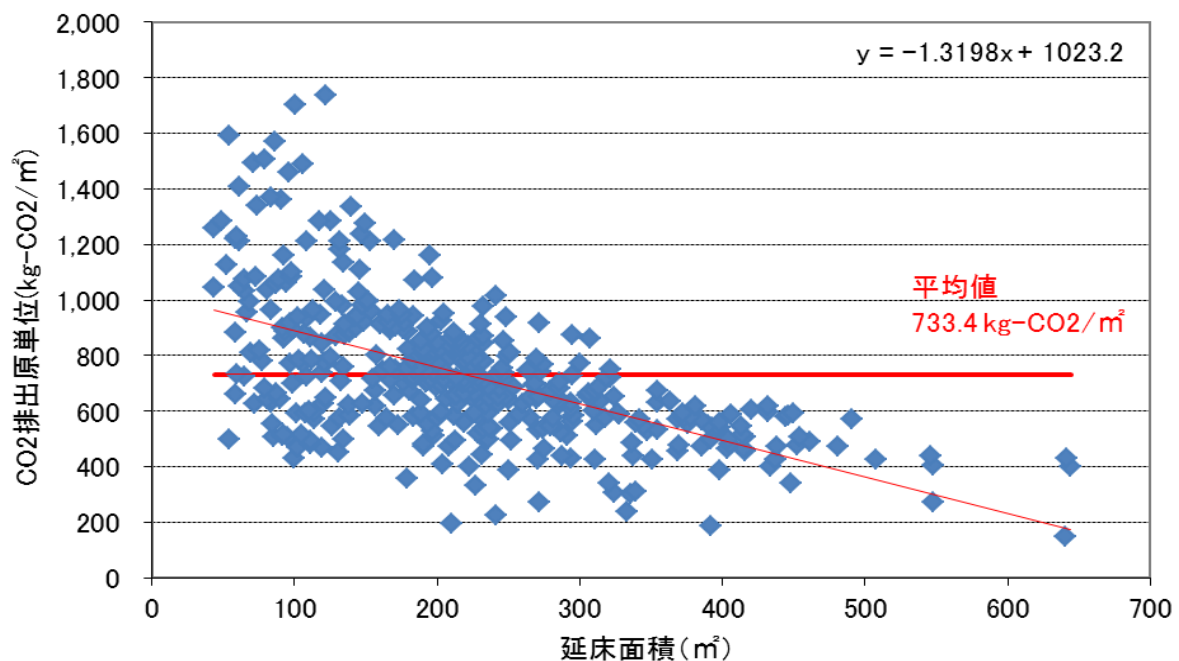
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	403.4 以下	19	4.6%	356
A3 +	0.55超-0.60以下	403.4 超 440.1 以下	13	12.1%	372
A3	0.60超-0.65以下	440.1 超 476.8 以下	15		308
A3 -	0.65超-0.70以下	476.8 超 513.4 以下	22		252
A2 +	0.70超-0.75以下	513.4 超 550.1 以下	23	18.6%	272
A2	0.75超-0.80以下	550.1 超 586.8 以下	31		289
A2 -	0.80超-0.85以下	586.8 超 623.4 以下	23		268
A1 +	0.85超-0.90以下	623.4 超 660.1 以下	36	21.3%	225
A1	0.90超-0.95以下	660.1 超 696.8 以下	23		224
A1 -	0.95超-1.00以下	696.8 超 733.4 以下	29		202
B2 +	1.00超-1.05以下	733.4 超 770.1 以下	23	15.5%	211
B2	1.05超-1.10以下	770.1 超 806.8 以下	25		184
B2 -	1.10超-1.15以下	806.8 超 843.5 以下	16		192
B1	1.15超-1.50以下	843.5 超 1100.1 以下	82	19.9%	153
C	1.50超	1100.1 超	33	8.0%	103
合計			413	平均	220

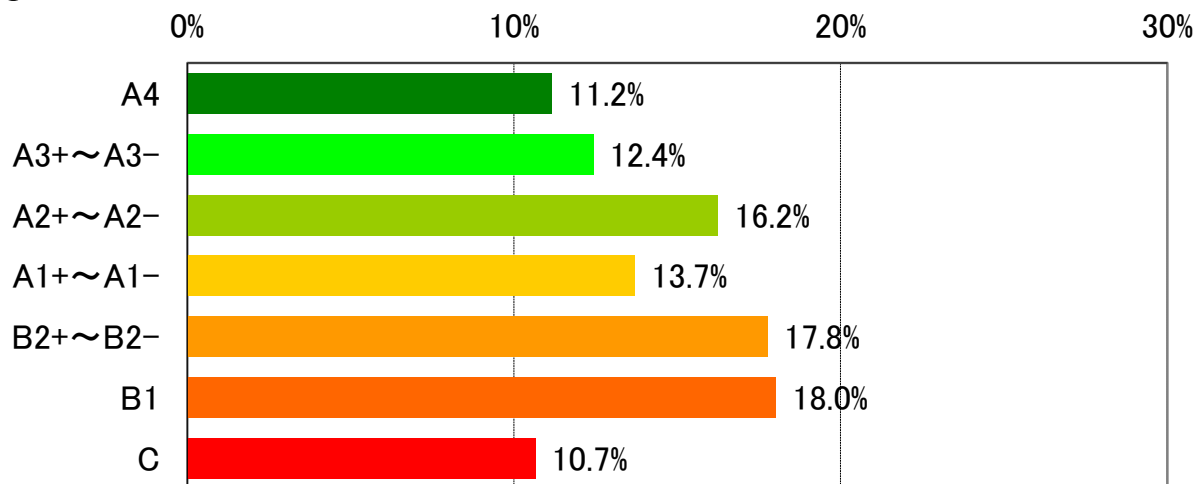
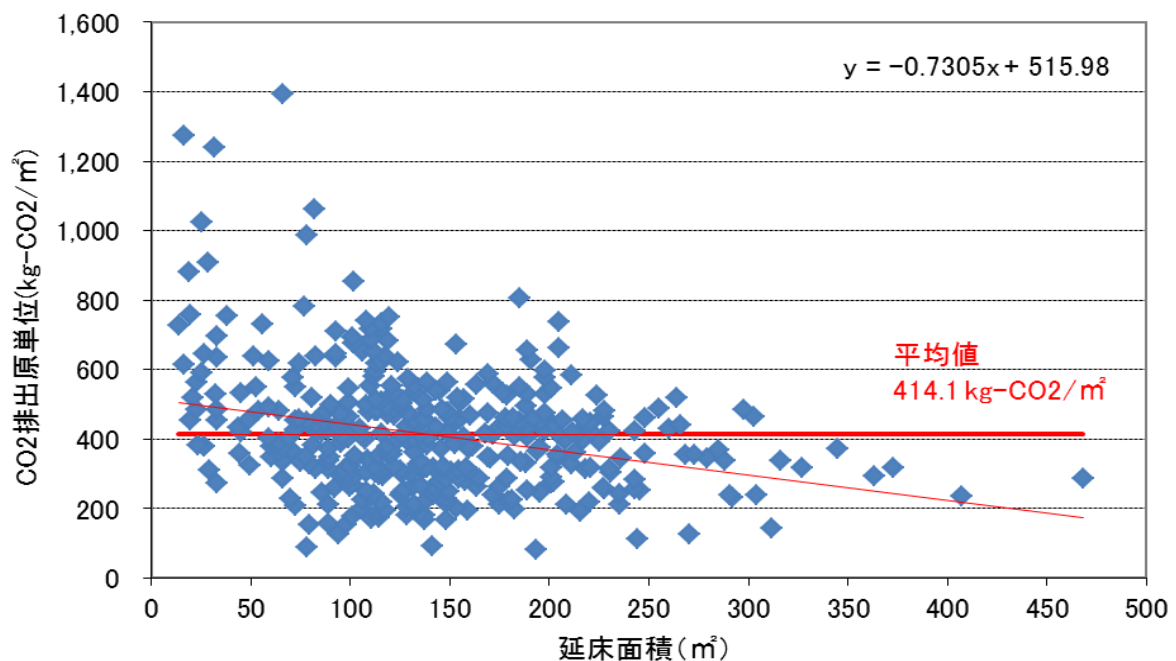
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	227.8 以下	44	11.2%	145
A3 +	0.55超-0.60以下	227.8 超 248.5 以下	18	12.4%	182
A3	0.60超-0.65以下	248.5 超 269.2 以下	15		161
A3 -	0.65超-0.70以下	269.2 超 289.9 以下	16		169
A2 +	0.70超-0.75以下	289.9 超 310.6 以下	18	16.2%	132
A2	0.75超-0.80以下	310.6 超 331.3 以下	26		160
A2 -	0.80超-0.85以下	331.3 超 352.0 以下	20		152
A1 +	0.85超-0.90以下	352.0 超 372.7 以下	19	13.7%	169
A1	0.90超-0.95以下	372.7 超 393.4 以下	16		104
A1 -	0.95超-1.00以下	393.4 超 414.1 以下	19		136
B2 +	1.00超-1.05以下	414.1 超 434.9 以下	27	17.8%	147
B2	1.05超-1.10以下	434.9 超 455.6 以下	23		134
B2 -	1.10超-1.15以下	455.6 超 476.3 以下	20		162
B1	1.15超-1.50以下	476.3 超 621.2 以下	71	18.0%	127
C	1.50超	621.2 超	42	10.7%	90
合計			394	平均	139

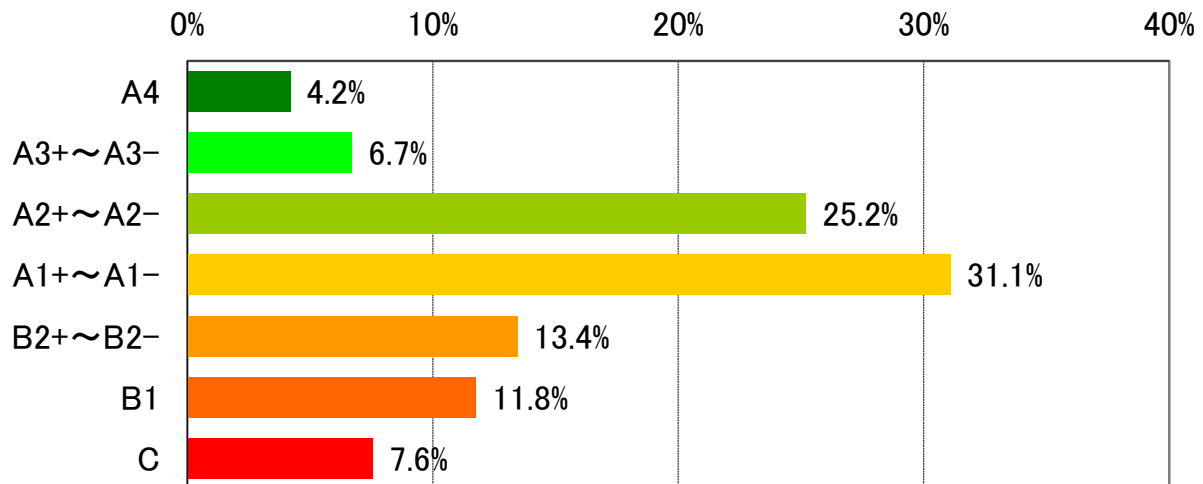
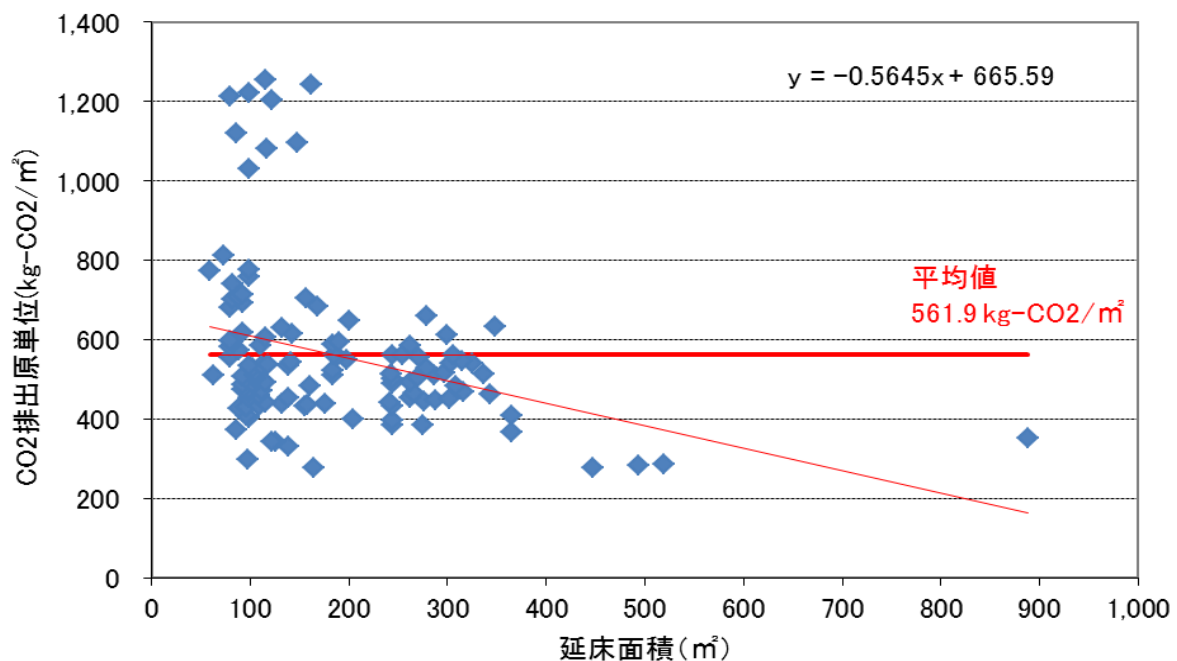
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	309.1 以下	5	4.2%	344
A3 +	0.55超-0.60以下	309.1 超 337.2 以下	1	6.7%	139
A3	0.60超-0.65以下	337.2 超 365.3 以下	3		378
A3 -	0.65超-0.70以下	365.3 超 393.4 以下	4		243
A2 +	0.70超-0.75以下	393.4 超 421.5 以下	5	25.2%	202
A2	0.75超-0.80以下	421.5 超 449.6 以下	13		167
A2 -	0.80超-0.85以下	449.6 超 477.7 以下	12		187
A1 +	0.85超-0.90以下	477.7 超 505.8 以下	11	31.1%	182
A1	0.90超-0.95以下	505.8 超 533.9 以下	13		186
A1 -	0.95超-1.00以下	533.9 超 561.9 以下	13		199
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 561.9 超 590.0 以下	7	13.4%	184
B2	1.05超-1.10以下	590.0 超 618.1 以下	7		143
B2 -	1.10超-1.15以下	618.1 超 646.2 以下	2		240
B1	1.15超-1.50以下	646.2 超 842.9 以下	14	11.8%	118
C	1.50超	842.9 超	9	7.6%	114
合計			119	平均	184

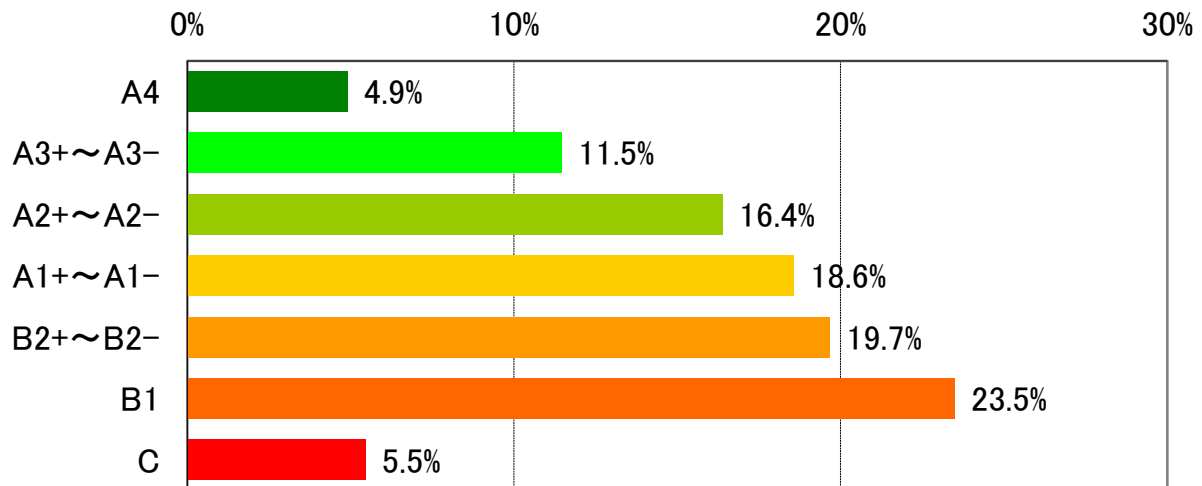
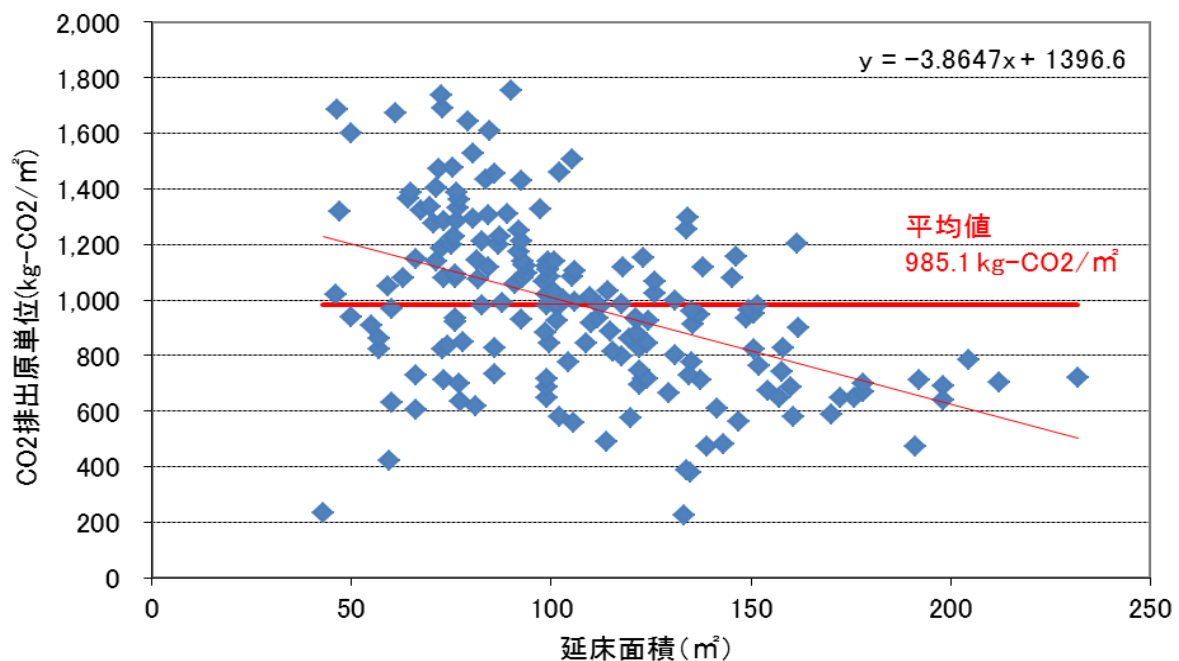
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	541.9 以下	9	4.9%	121
A3 +	0.55超-0.60以下	541.9 超 591.1 以下	6	11.5%	134
A3	0.60超-0.65以下	591.1 超 640.4 以下	5		85
A3 -	0.65超-0.70以下	640.4 超 689.6 以下	10		152
A2 +	0.70超-0.75以下	689.6 超 738.9 以下	15	16.4%	137
A2	0.75超-0.80以下	738.9 超 788.1 以下	6		146
A2 -	0.80超-0.85以下	788.1 超 837.4 以下	9		112
A1 +	0.85超-0.90以下	837.4 超 886.6 以下	9	18.6%	98
A1	0.90超-0.95以下	886.6 超 935.9 以下	14		111
A1 -	0.95超-1.00以下	935.9 超 985.1 以下	11		112
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 985.1 超 1034.4 以下	12	19.7%	103
B2	1.05超-1.10以下	1034.4 超 1083.7 以下	12		94
B2 -	1.10超-1.15以下	1083.7 超 1132.9 以下	12		100
B1	1.15超-1.50以下	1132.9 超 1477.7 以下	43	23.5%	87
C	1.50超	1477.7 超	10	5.5%	74
合計			183	平均	106

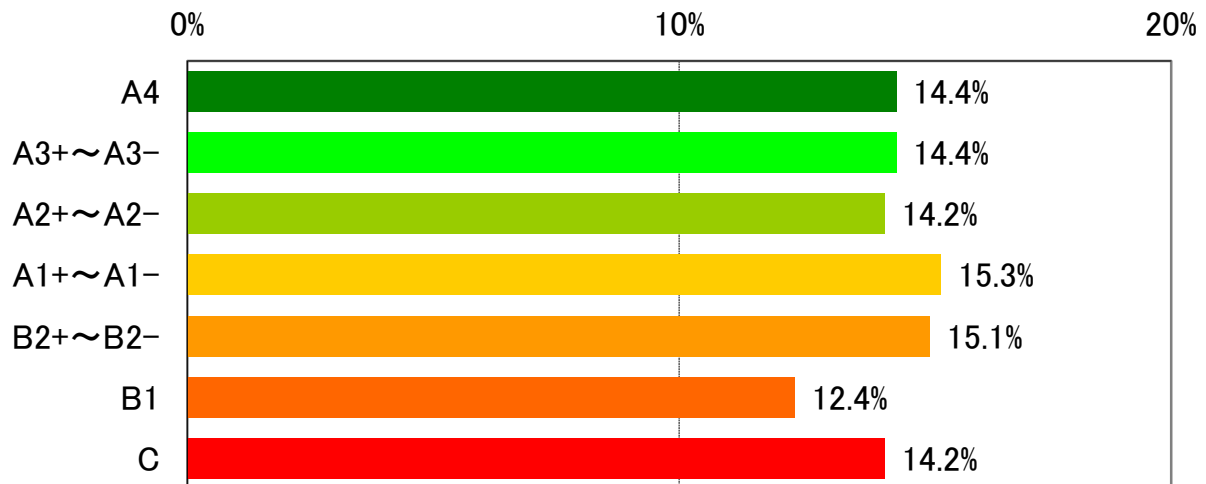
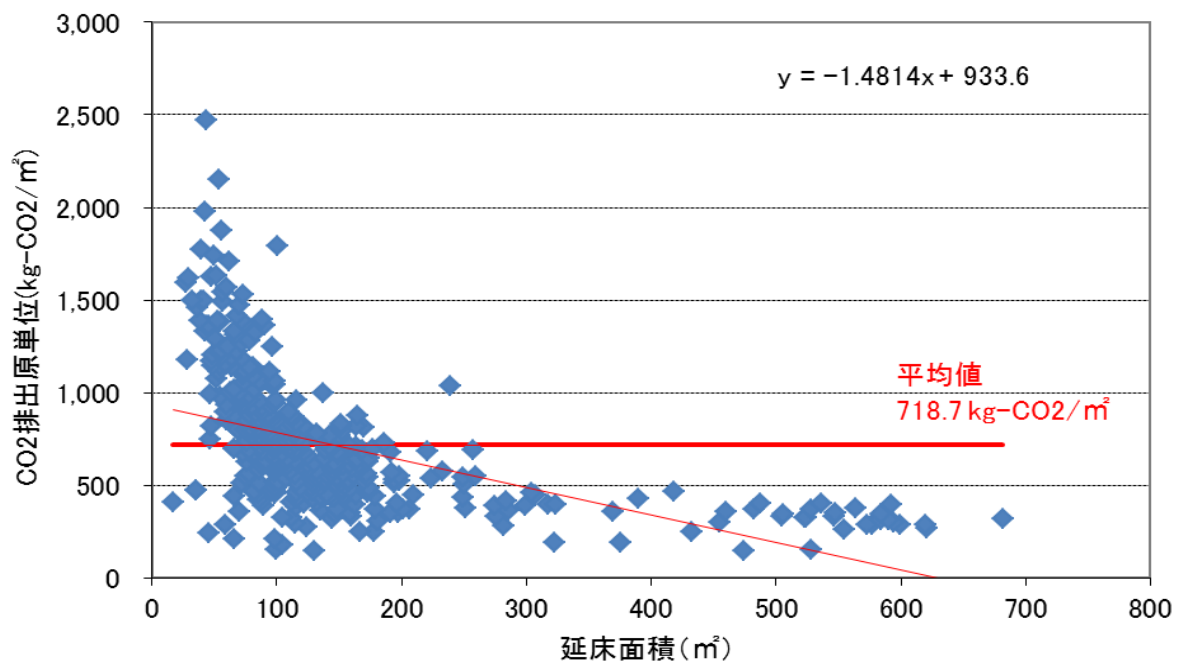
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	395.3 以下	63	14.4%	324
A3 +	0.55超-0.60以下	395.3 超 431.3 以下	16	14.4%	236
A3	0.60超-0.65以下	431.3 超 467.2 以下	27		160
A3 -	0.65超-0.70以下	467.2 超 503.1 以下	20		129
A2 +	0.70超-0.75以下	503.1 超 539.1 以下	22	14.2%	141
A2	0.75超-0.80以下	539.1 超 575.0 以下	18		150
A2 -	0.80超-0.85以下	575.0 超 610.9 以下	22		131
A1 +	0.85超-0.90以下	610.9 超 646.9 以下	28	15.3%	119
A1	0.90超-0.95以下	646.9 超 682.8 以下	16		109
A1 -	0.95超-1.00以下	682.8 超 718.7 以下	23		129
B2 +	1.00超-1.05以下	718.7 超 754.7 以下	27	15.1%	107
B2	1.05超-1.10以下	754.7 超 790.6 以下	18		109
B2 -	1.10超-1.15以下	790.6 超 826.6 以下	21		100
B1	1.15超-1.50以下	826.6 超 1078.1 以下	54	12.4%	90
C	1.50超	1078.1 超	62	14.2%	60
合計			437	平均	145

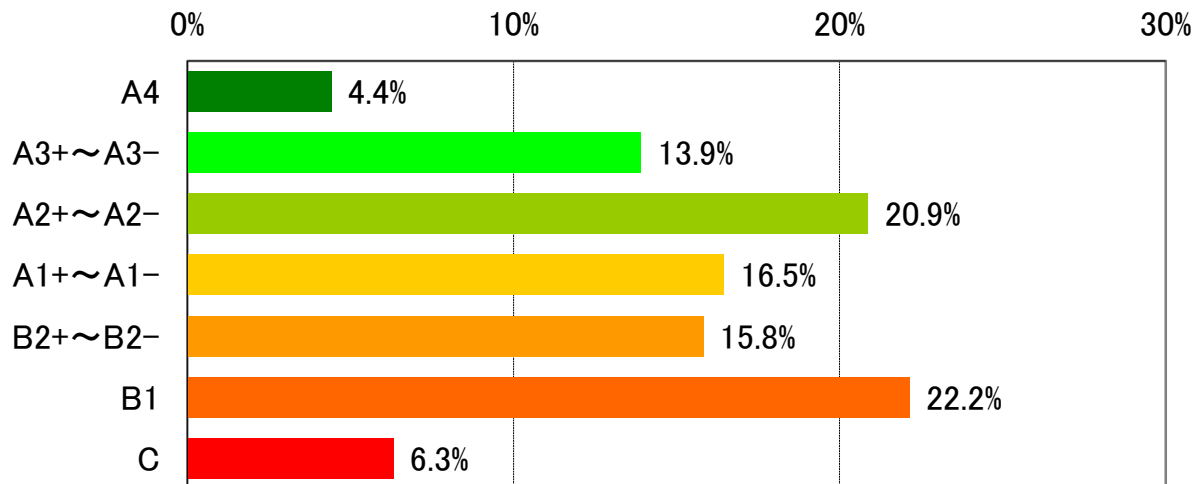
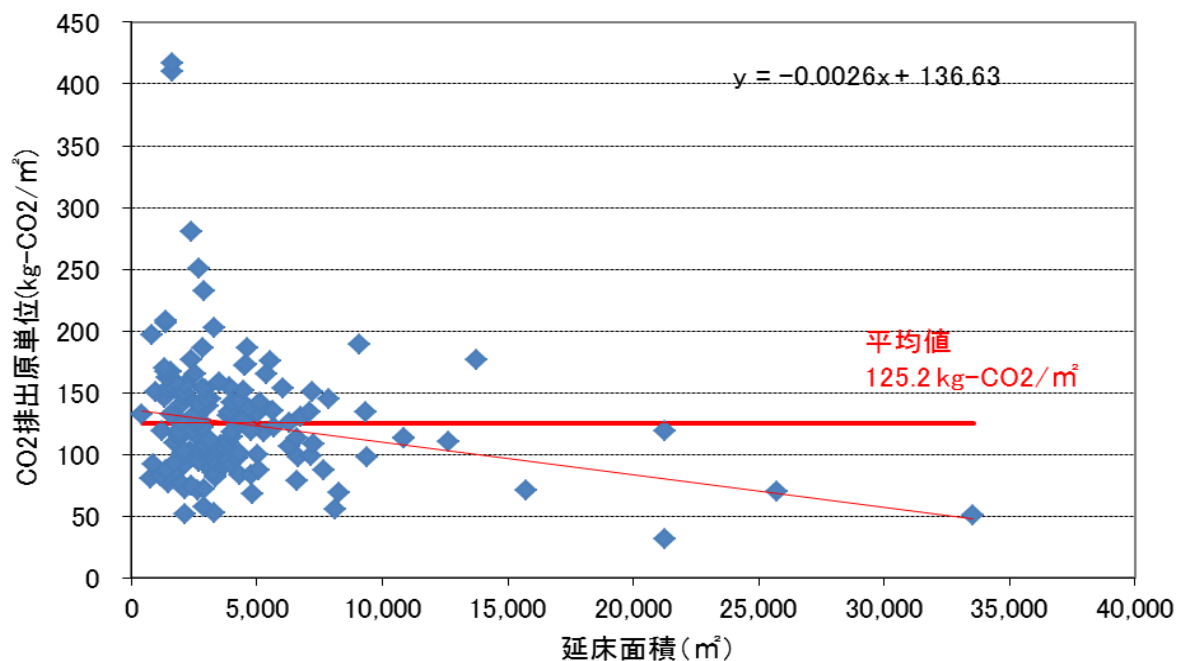
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	68.9 以下	7	4.4%	10873
A3 +	0.55超-0.60以下	68.9 超 75.2 以下	7	13.9%	8539
A3	0.60超-0.65以下	75.2 超 81.4 以下	5		2429
A3 -	0.65超-0.70以下	81.4 超 87.7 以下	10		3622
A2 +	0.70超-0.75以下	87.7 超 93.9 以下	10	20.9%	2756
A2	0.75超-0.80以下	93.9 超 100.2 以下	10		4839
A2 -	0.80超-0.85以下	100.2 超 106.5 以下	13		2954
A1 +	0.85超-0.90以下	106.5 超 112.7 以下	9	16.5%	5033
A1	0.90超-0.95以下	112.7 超 119.0 以下	14		5467
A1 -	0.95超-1.00以下	119.0 超 125.2 以下	3		4422
B2 +	1.00超-1.05以下	125.2 超 131.5 以下	9	15.8%	3698
B2	1.05超-1.10以下	131.5 超 137.8 以下	10		4407
B2 -	1.10超-1.15以下	137.8 超 144.0 以下	6		3676
B1	1.15超-1.50以下	144.0 超 187.8 以下	35	22.2%	3453
C	1.50超	187.8 超	10	6.3%	2716
合計			158	平均	4311

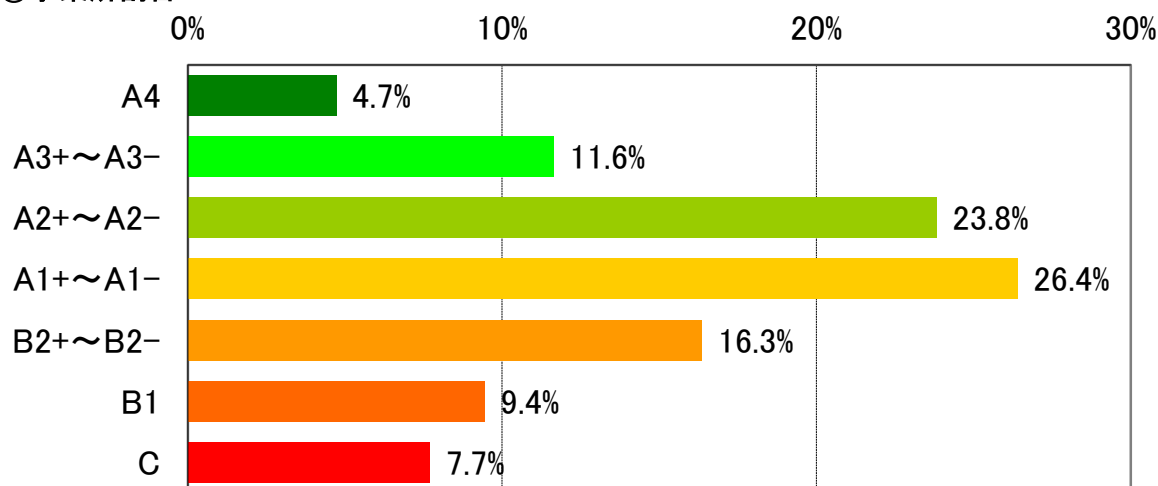
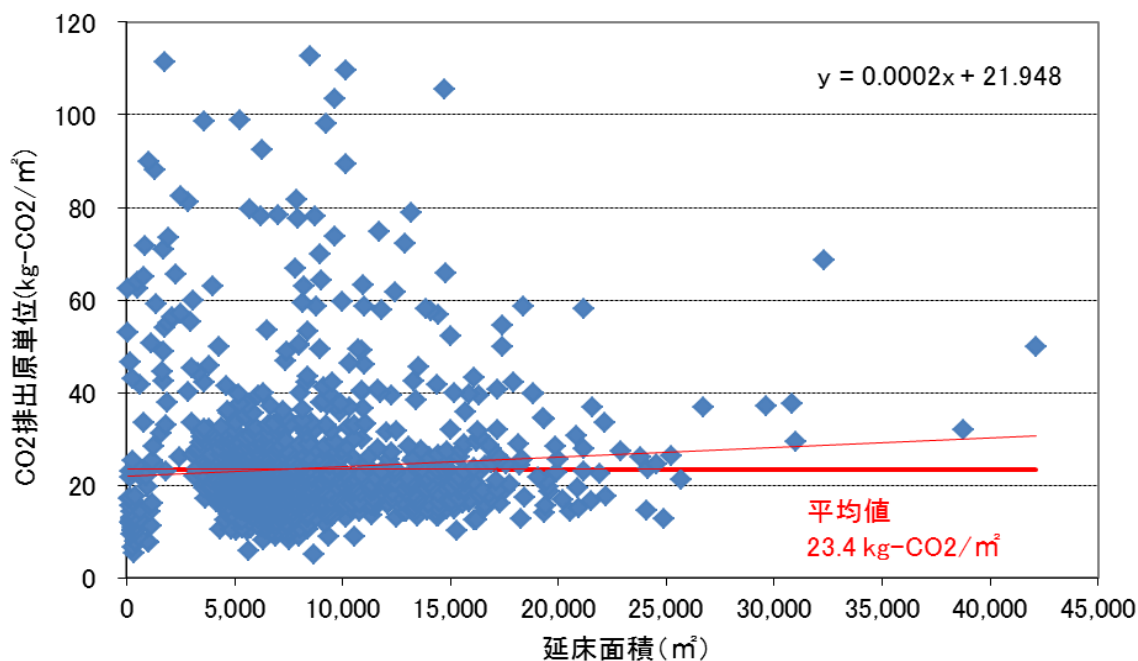
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	12.9 以下	84	4.7%	5576
A3 +	0.55超-0.60以下	12.9 超 14.1 以下	39	11.6%	8316
A3	0.60超-0.65以下	14.1 超 15.3 以下	66		8312
A3 -	0.65超-0.70以下	15.3 超 16.4 以下	102		7841
A2 +	0.70超-0.75以下	16.4 超 17.6 以下	117	23.8%	7217
A2	0.75超-0.80以下	17.6 超 18.8 以下	138		7385
A2 -	0.80超-0.85以下	18.8 超 19.9 以下	169		7134
A1 +	0.85超-0.90以下	19.9 超 21.1 以下	176	26.4%	7078
A1	0.90超-0.95以下	21.1 超 22.3 以下	173		6852
A1 -	0.95超-1.00以下	22.3 超 23.4 以下	121		6742
B2 +	1.00超-1.05以下	23.4 超 24.6 以下	126	16.3%	6838
B2	1.05超-1.10以下	24.6 超 25.8 以下	109		6992
B2 -	1.10超-1.15以下	25.8 超 27.0 以下	56		7271
B1	1.15超-1.50以下	27.0 超 35.1 以下	168	9.4%	7950
C	1.50超	35.1 超	137	7.7%	9098
合計			1781	平均	7339

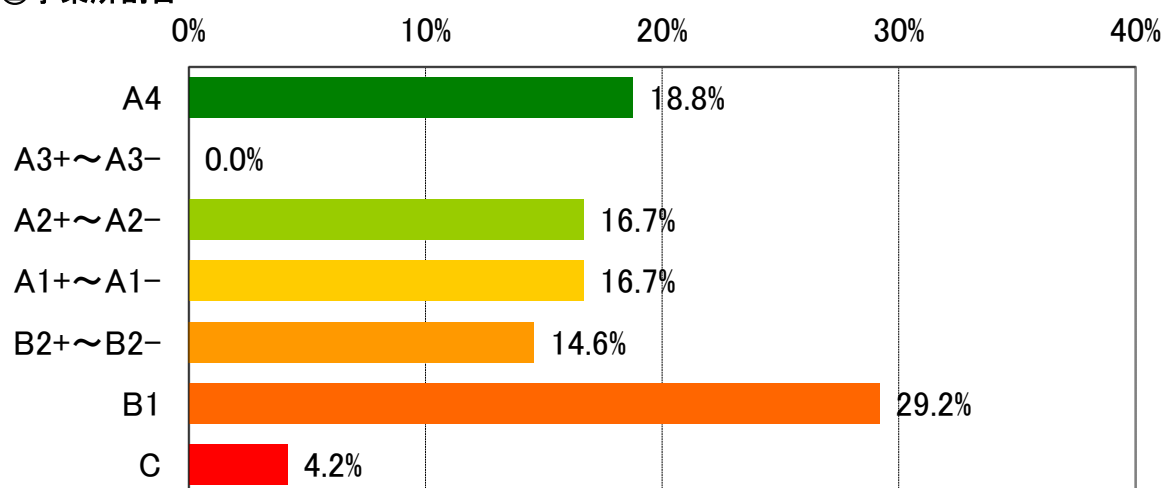
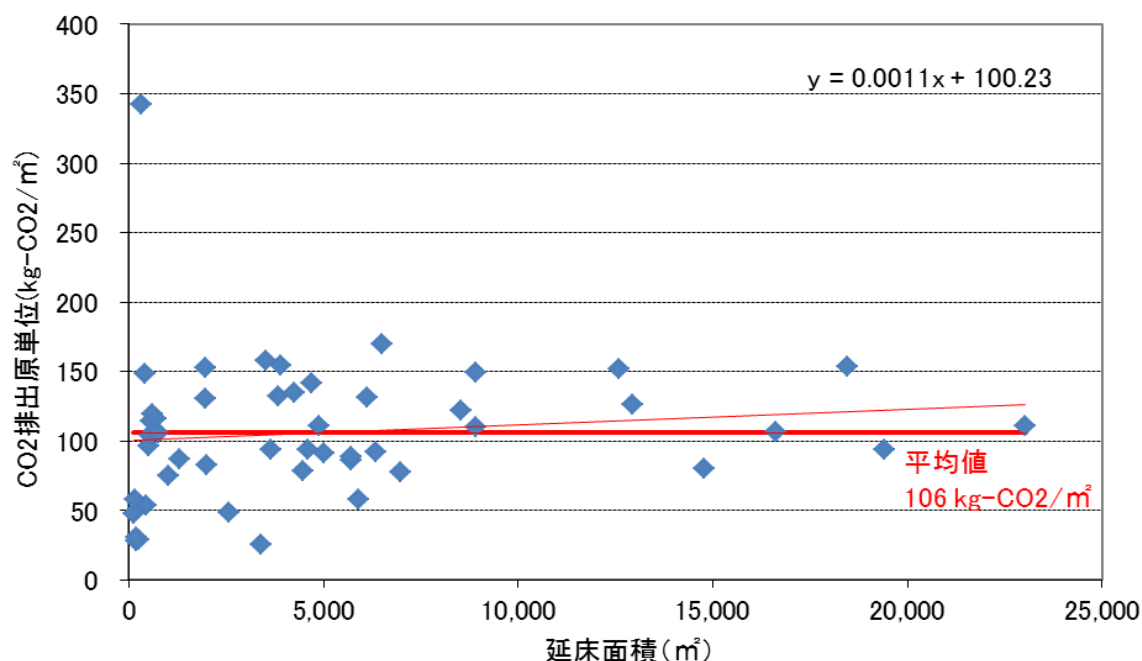
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	58.3 以下	9	18.8%	1469
A3 +	0.55超-0.60以下	58.3 超 63.6 以下	0	0.0%	0
A3	0.60超-0.65以下	63.6 超 68.9 以下	0		0
A3 -	0.65超-0.70以下	68.9 超 74.2 以下	0		0
A2 +	0.70超-0.75以下	74.2 超 79.5 以下	3	16.7%	4152
A2	0.75超-0.80以下	79.5 超 84.8 以下	2		8384
A2 -	0.80超-0.85以下	84.8 超 90.1 以下	3		4246
A1 +	0.85超-0.90以下	90.1 超 95.4 以下	5	16.7%	7796
A1	0.90超-0.95以下	95.4 超 100.7 以下	1		500
A1 -	0.95超-1.00以下	100.7 超 106.0 以下	2		656
B2 +	1.00超-1.05以下	106.0 超 111.3 以下	4	14.6%	13365
B2	1.05超-1.10以下	111.3 超 116.6 以下	2		638
B2 -	1.10超-1.15以下	116.6 超 121.9 以下	1		602
B1	1.15超-1.50以下	121.9 超 159.0 以下	14	29.2%	6580
C	1.50超	159.0 超	2	4.2%	3405
合計			48	平均	5213

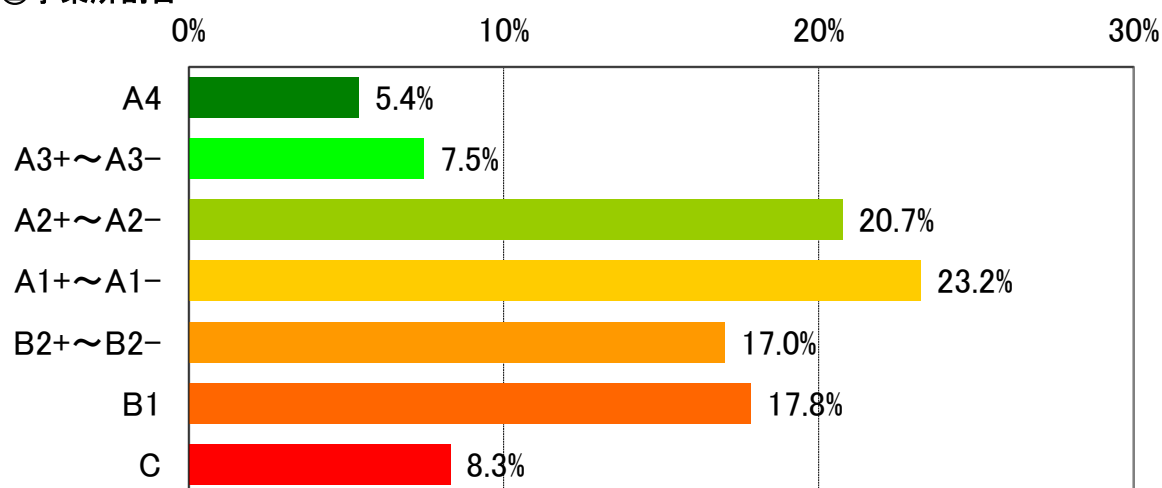
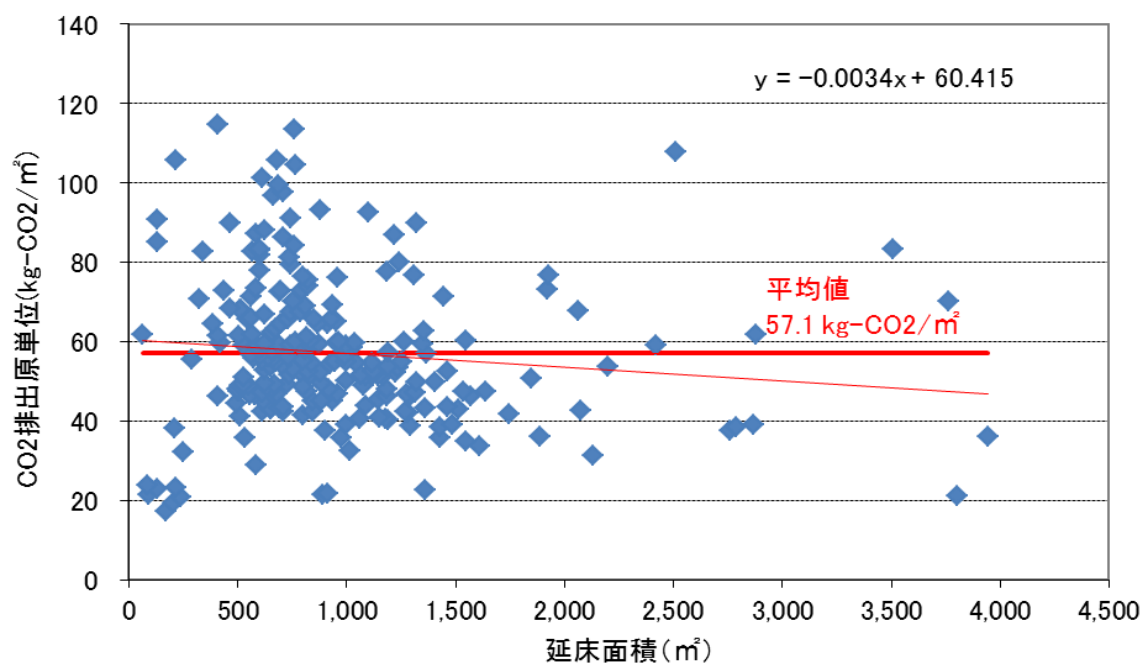
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	31.5 以下	13	5.4%	832
A3 +	0.55超-0.60以下	31.5 超 34.3 以下	3	7.5%	956
A3	0.60超-0.65以下	34.3 超 37.2 以下	6		1719
A3 -	0.65超-0.70以下	37.2 超 40.0 以下	9		1637
A2 +	0.70超-0.75以下	40.0 超 42.9 以下	15	20.7%	1106
A2	0.75超-0.80以下	42.9 超 45.7 以下	12		908
A2 -	0.80超-0.85以下	45.7 超 48.6 以下	23		898
A1 +	0.85超-0.90以下	48.6 超 51.4 以下	16	23.2%	903
A1	0.90超-0.95以下	51.4 超 54.3 以下	21		1039
A1 -	0.95超-1.00以下	54.3 超 57.1 以下	19		833
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 57.1 超 60.0 以下	21	17.0%	865
B2	1.05超-1.10以下	60.0 超 62.9 以下	13		971
B2 -	1.10超-1.15以下	62.9 超 65.7 以下	7		774
B1	1.15超-1.50以下	65.7 超 85.7 以下	43	17.8%	939
C	1.50超	85.7 超	20	8.3%	789
合計			241	平均	960

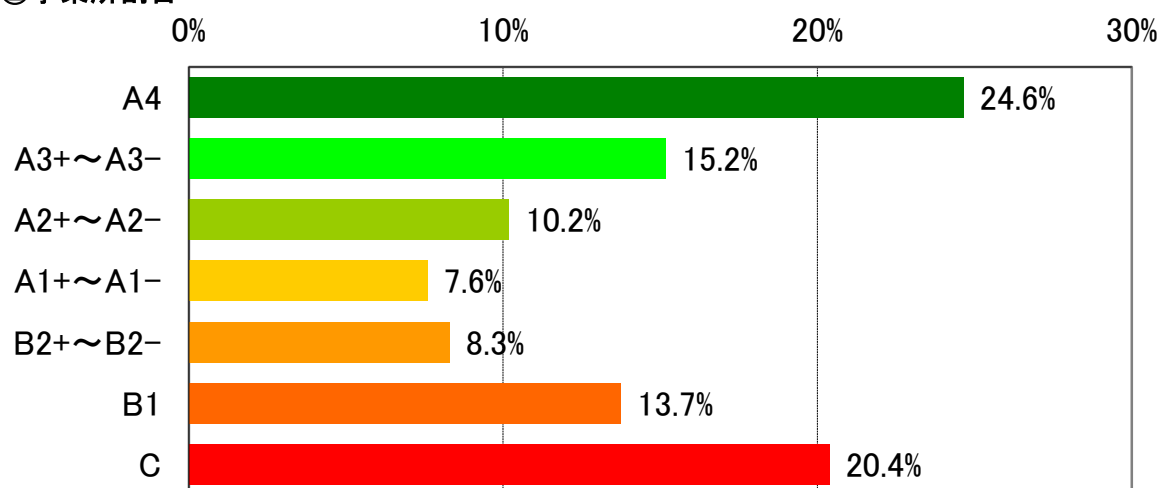
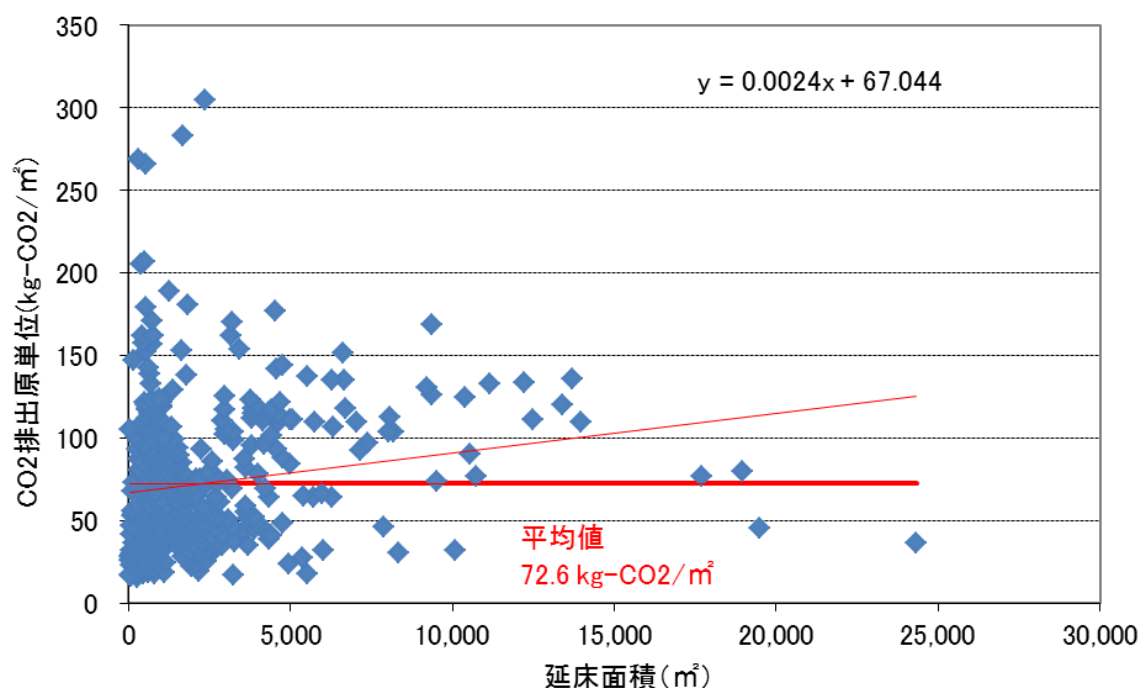
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	40.0 以下	104	24.6%	1645
A3 +	0.55超-0.60以下	40.0 超 43.6 以下	26	15.2%	1345
A3	0.60超-0.65以下	43.6 超 47.2 以下	20		3192
A3 -	0.65超-0.70以下	47.2 超 50.9 以下	18		1976
A2 +	0.70超-0.75以下	50.9 超 54.5 以下	22	10.2%	1602
A2	0.75超-0.80以下	54.5 超 58.1 以下	13		1419
A2 -	0.80超-0.85以下	58.1 超 61.8 以下	8		1629
A1 +	0.85超-0.90以下	61.8 超 65.4 以下	10	7.6%	3328
A1	0.90超-0.95以下	65.4 超 69.0 以下	13		1419
A1 -	0.95超-1.00以下	69.0 超 平均値 72.6 以下	9		2189
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 72.6 超 76.3 以下	13	8.3%	2145
B2	1.05超-1.10以下	76.3 超 79.9 以下	12		3762
B2 -	1.10超-1.15以下	79.9 超 83.5 以下	10		3034
B1	1.15超-1.50以下	83.5 超 108.9 以下	58	13.7%	2395
C	1.50超	108.9 超	86	20.4%	3467
合計			422	平均	2332

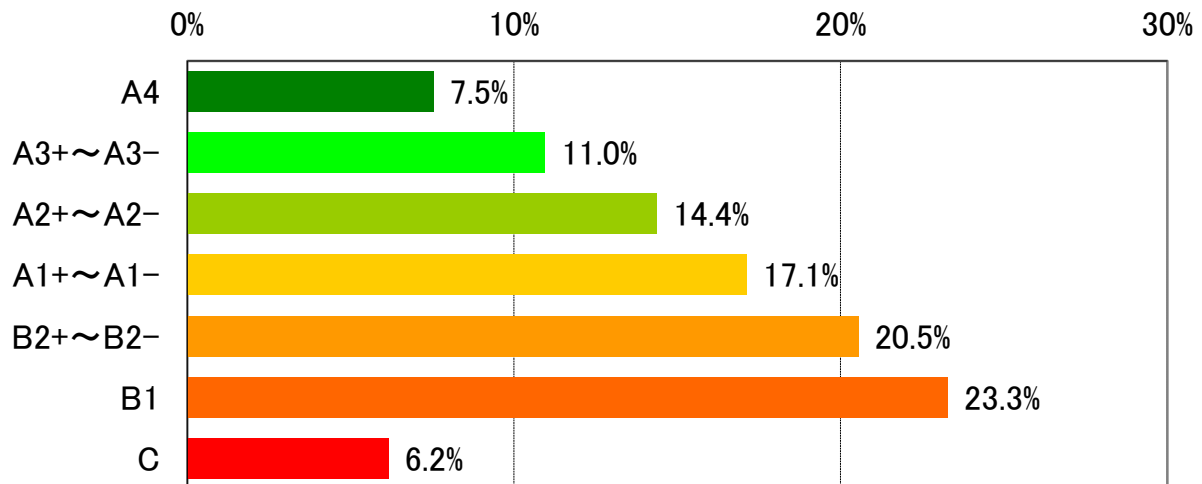
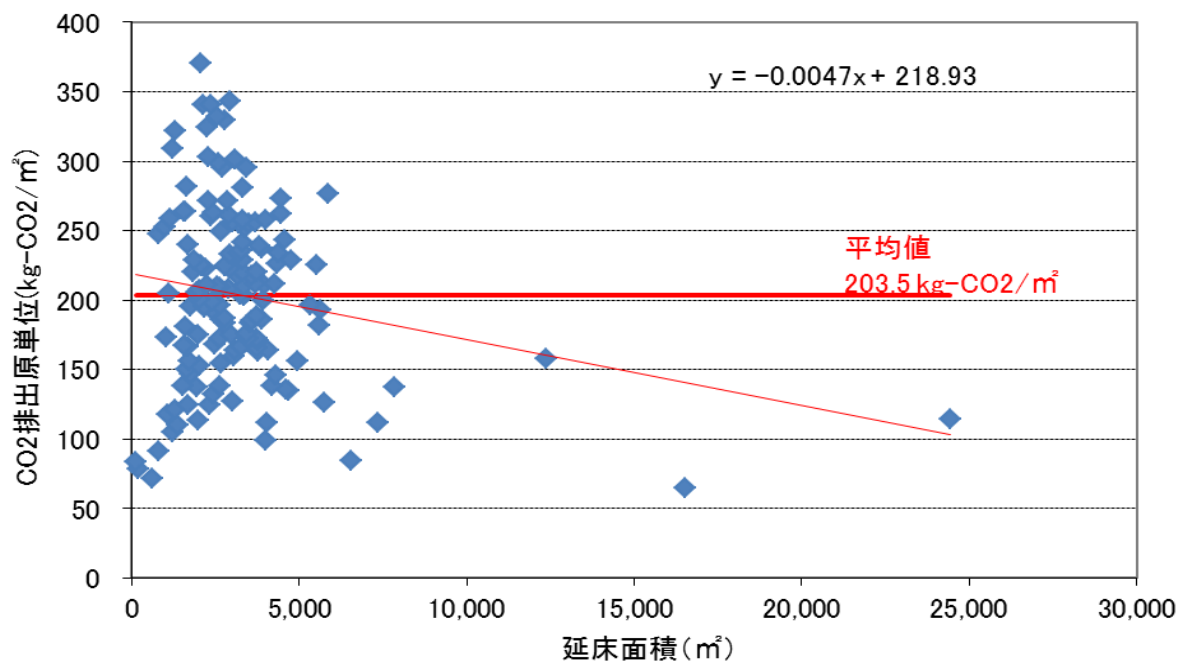
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に 対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所 数	事業所 数の割合	平均 延床面積 (㎡)
A4	0.55以下	112.0 以下	11	7.5%	3885
A3 +	0.55超-0.60以下	112.0 超 122.1 以下	4	11.0%	7199
A3	0.60超-0.65以下	122.1 超 132.3 以下	5		3033
A3 -	0.65超-0.70以下	132.3 超 142.5 以下	7		3915
A2 +	0.70超-0.75以下	142.5 超 152.7 以下	3	14.4%	2559
A2	0.75超-0.80以下	152.7 超 162.8 以下	7		4363
A2 -	0.80超-0.85以下	162.8 超 173.0 以下	11		3045
A1 +	0.85超-0.90以下	173.0 超 183.2 以下	6	17.1%	2772
A1	0.90超-0.95以下	183.2 超 193.4 以下	9		3449
A1 -	0.95超-1.00以下	193.4 超 203.5 以下	10		2914
B2 +	1.00超-1.05以下	203.5 超 213.7 以下	12	20.5%	2825
B2	1.05超-1.10以下	213.7 超 223.9 以下	7		2964
B2 -	1.10超-1.15以下	223.9 超 234.1 以下	11		3386
B1	1.15超-1.50以下	234.1 超 305.3 以下	34	23.3%	2944
C	1.50超	305.3 超	9	6.2%	2174
合計			146	平均	3248

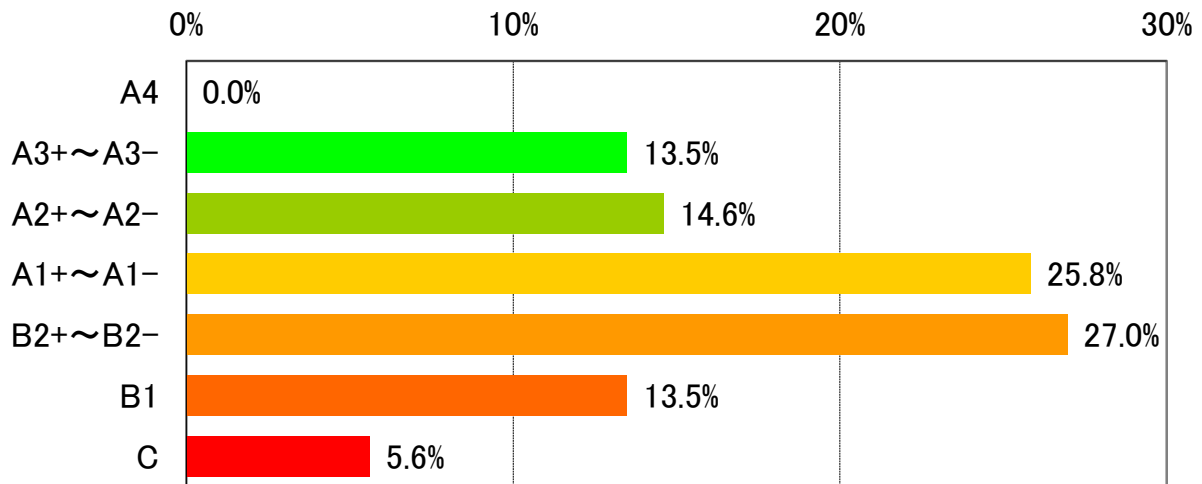
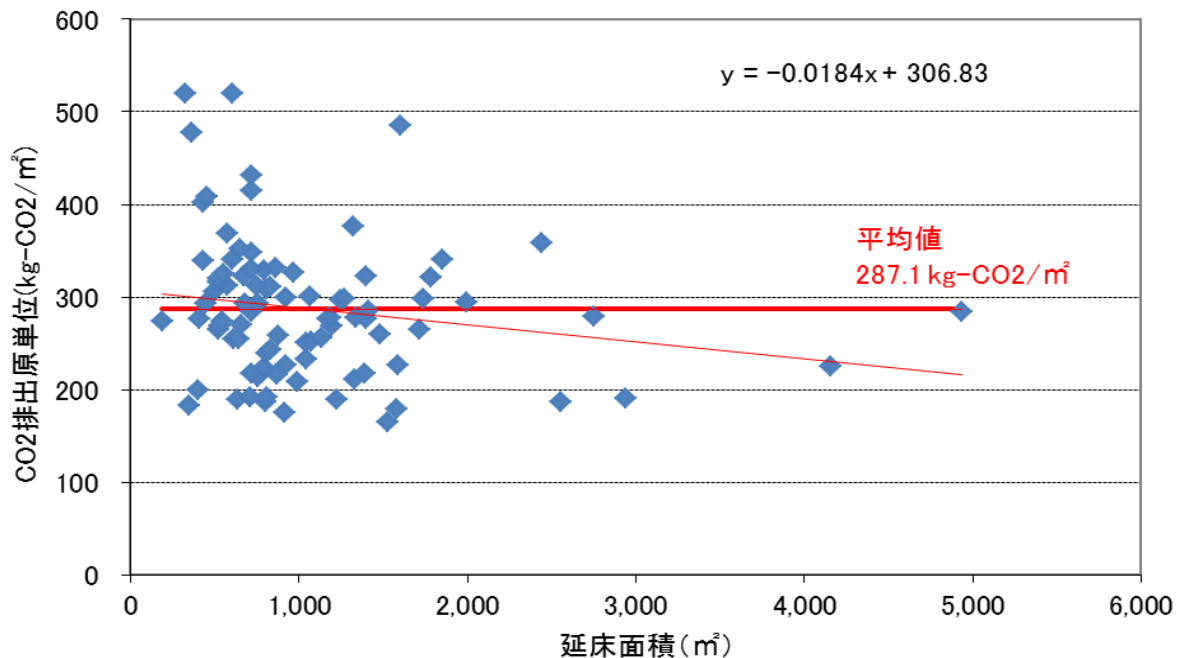
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	158.0 以下	0	0.0%	0
A3 +	0.55超-0.60以下	158.0 超 172.3 以下	1	13.5%	1524
A3	0.60超-0.65以下	172.3 超 186.7 以下	4		912
A3 -	0.65超-0.70以下	186.7 超 201.0 以下	7		1324
A2 +	0.70超-0.75以下	201.0 超 215.4 以下	3	14.6%	1024
A2	0.75超-0.80以下	215.4 超 229.7 以下	7		1490
A2 -	0.80超-0.85以下	229.7 超 244.1 以下	3		895
A1 +	0.85超-0.90以下	244.1 超 258.4 以下	5	25.8%	902
A1	0.90超-0.95以下	258.4 超 272.8 以下	7		996
A1 -	0.95超-1.00以下	272.8 超 287.1 以下	11		1459
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 287.1 超 301.5 以下	10	27.0%	1086
B2	1.05超-1.10以下	301.5 超 315.9 以下	5		691
B2 -	1.10超-1.15以下	315.9 超 330.2 以下	9		881
B1	1.15超-1.50以下	330.2 超 430.7 以下	12	13.5%	921
C	1.50超	430.7 超	5	5.6%	722
合計			89	平均	1068

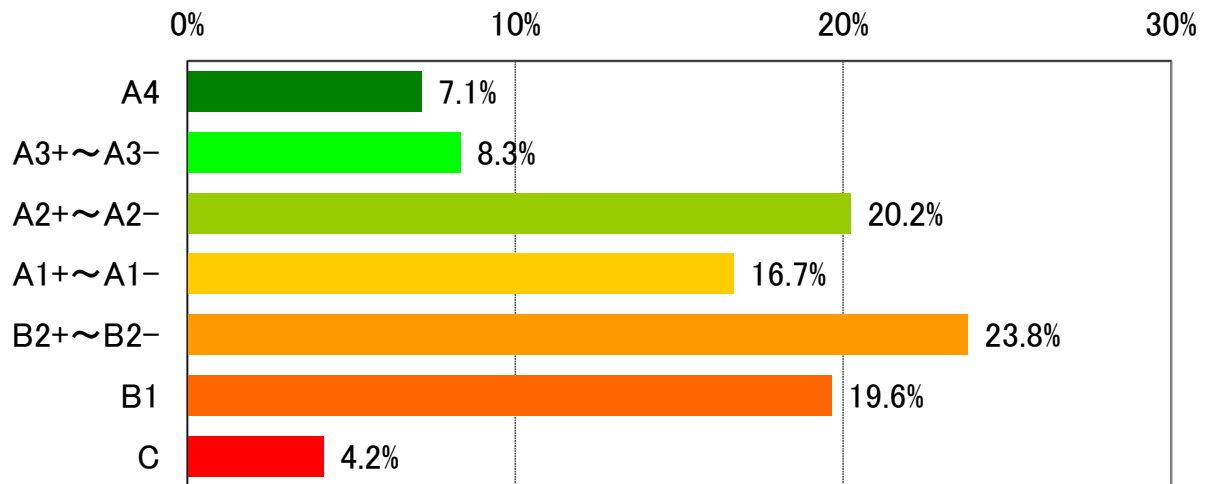
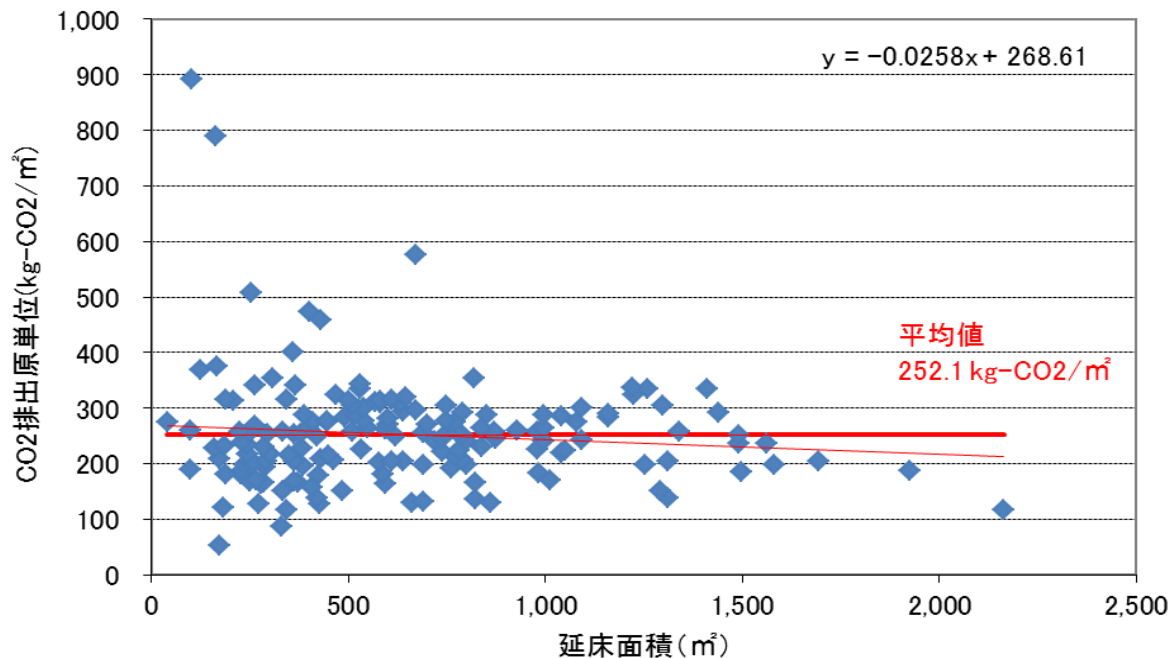
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	138.7 以下	12	7.1%	612
A3 +	0.55超-0.60以下	138.7 超 151.3 以下	3	8.3%	709
A3	0.60超-0.65以下	151.3 超 163.9 以下	2		850
A3 -	0.65超-0.70以下	163.9 超 176.5 以下	9		472
A2 +	0.70超-0.75以下	176.5 超 189.1 以下	8	20.2%	758
A2	0.75超-0.80以下	189.1 超 201.7 以下	12		574
A2 -	0.80超-0.85以下	201.7 超 214.3 以下	14		623
A1 +	0.85超-0.90以下	214.3 超 226.9 以下	9	16.7%	680
A1	0.90超-0.95以下	226.9 超 239.5 以下	9		598
A1 -	0.95超-1.00以下	239.5 超 252.1 以下	10		854
B2 +	1.00超-1.05以下	252.1 超 264.8 以下	20	23.8%	608
B2	1.05超-1.10以下	264.8 超 277.4 以下	10		551
B2 -	1.10超-1.15以下	277.4 超 290.0 以下	10		774
B1	1.15超-1.50以下	290.0 超 378.2 以下	33	19.6%	661
C	1.50超	378.2 超	7	4.2%	340
合計			168	平均	635

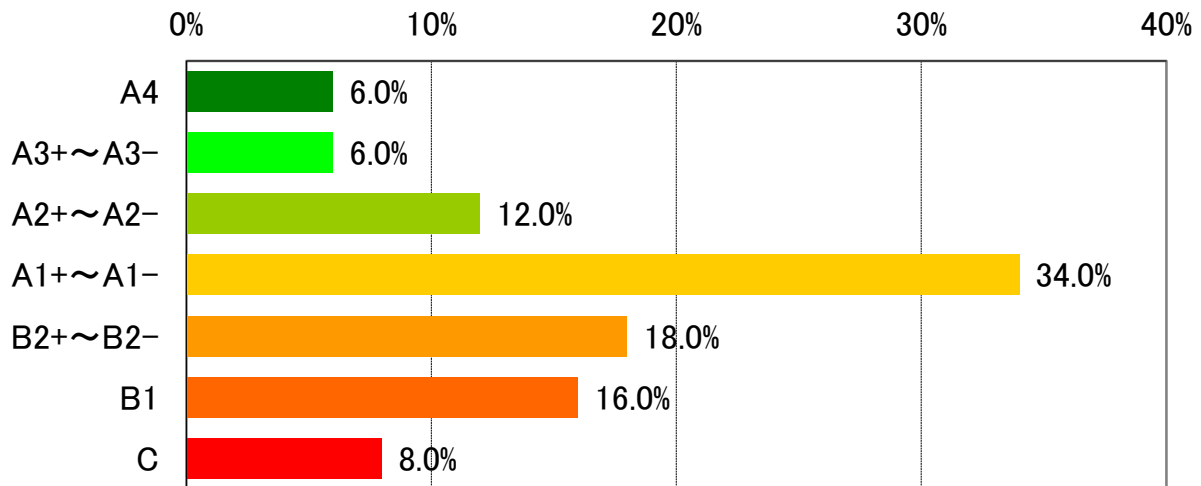
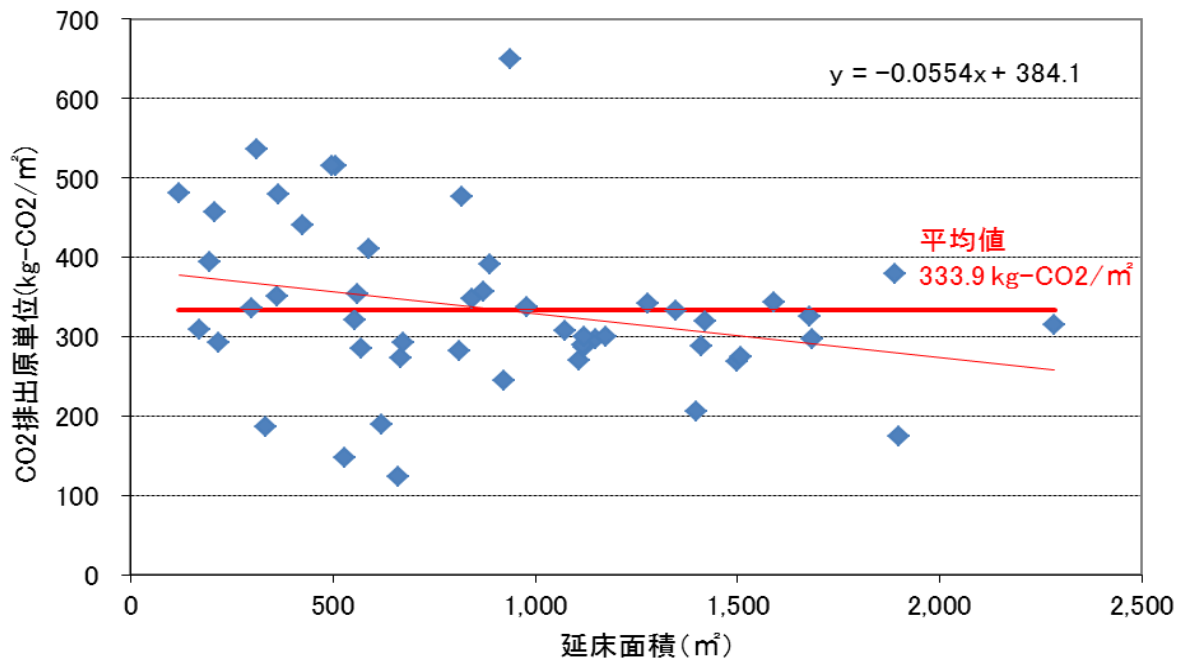
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	183.7 以下	3	6.0%	1031
A3 +	0.55超-0.60以下	183.7 超 200.4 以下	2	6.0%	476
A3	0.60超-0.65以下	200.4 超 217.1 以下	1		1398
A3 -	0.65超-0.70以下	217.1 超 233.8 以下	0		0
A2 +	0.70超-0.75以下	233.8 超 250.5 以下	1	12.0%	924
A2	0.75超-0.80以下	250.5 超 267.2 以下	0		0
A2 -	0.80超-0.85以下	267.2 超 283.9 以下	5		1119
A1 +	0.85超-0.90以下	283.9 超 300.6 以下	9	34.0%	1007
A1	0.90超-0.95以下	300.6 超 317.3 以下	4		1176
A1 -	0.95超-1.00以下	317.3 超 333.9 以下	4		1250
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 333.9 超 350.6 以下	6	18.0%	892
B2	1.05超-1.10以下	350.6 超 367.3 以下	2		716
B2 -	1.10超-1.15以下	367.3 超 384.0 以下	1		1890
B1	1.15超-1.50以下	384.0 超 500.9 以下	8	16.0%	451
C	1.50超	500.9 超	4	8.0%	564
合計			50	平均	905

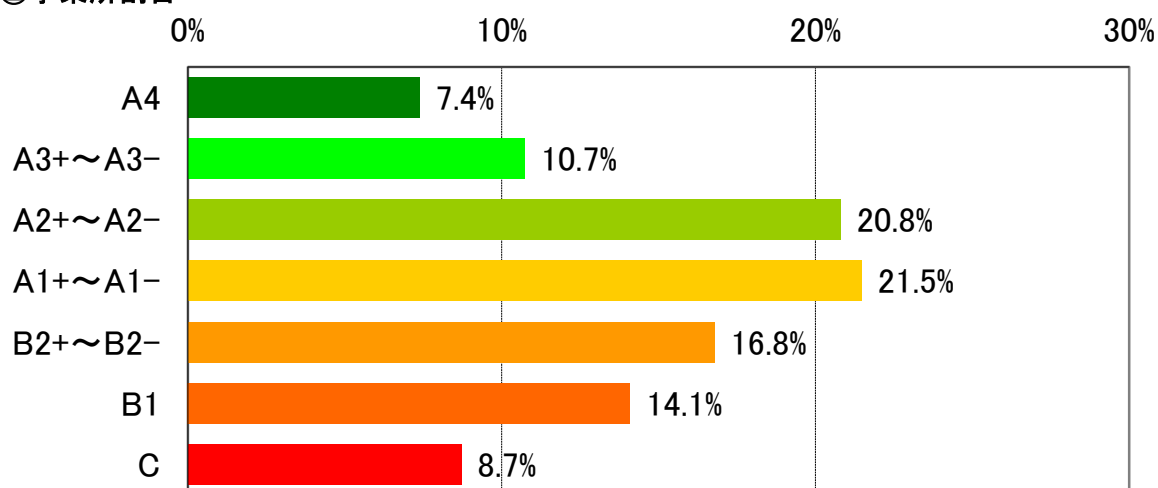
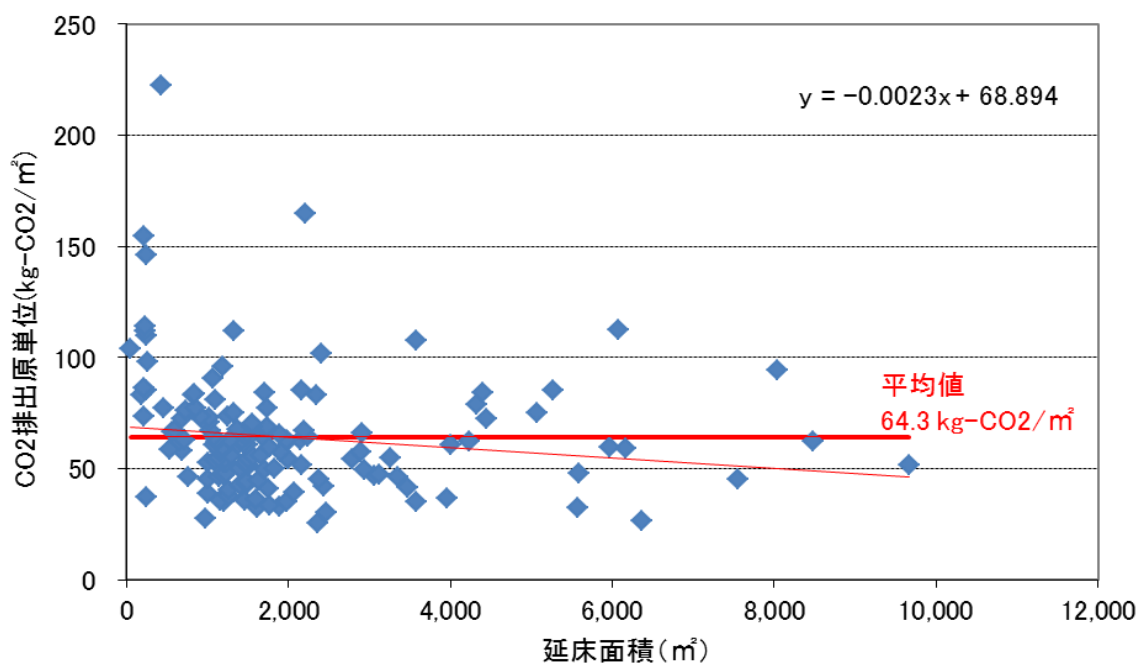
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	35.4 以下	11	7.4%	2703
A3 +	0.55超-0.60以下	35.4 超 38.6 以下	6	10.7%	1612
A3	0.60超-0.65以下	38.6 超 41.8 以下	5		1915
A3 -	0.65超-0.70以下	41.8 超 45.1 以下	5		1690
A2 +	0.70超-0.75以下	45.1 超 48.3 以下	11	20.8%	2761
A2	0.75超-0.80以下	48.3 超 51.5 以下	6		3173
A2 -	0.80超-0.85以下	51.5 超 54.7 以下	14		1534
A1 +	0.85超-0.90以下	54.7 超 57.9 以下	9	21.5%	1731
A1	0.90超-0.95以下	57.9 超 61.1 以下	10		2475
A1 -	0.95超-1.00以下	61.1 超 平均値 64.3 以下	13		2143
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 64.3 超 67.6 以下	12	16.8%	1560
B2	1.05超-1.10以下	67.6 超 70.8 以下	5		1593
B2 -	1.10超-1.15以下	70.8 超 74.0 以下	8		1312
B1	1.15超-1.50以下	74.0 超 96.5 以下	21	14.1%	2097
C	1.50超	96.5 超	13	8.7%	1345
合計			149	平均	1981

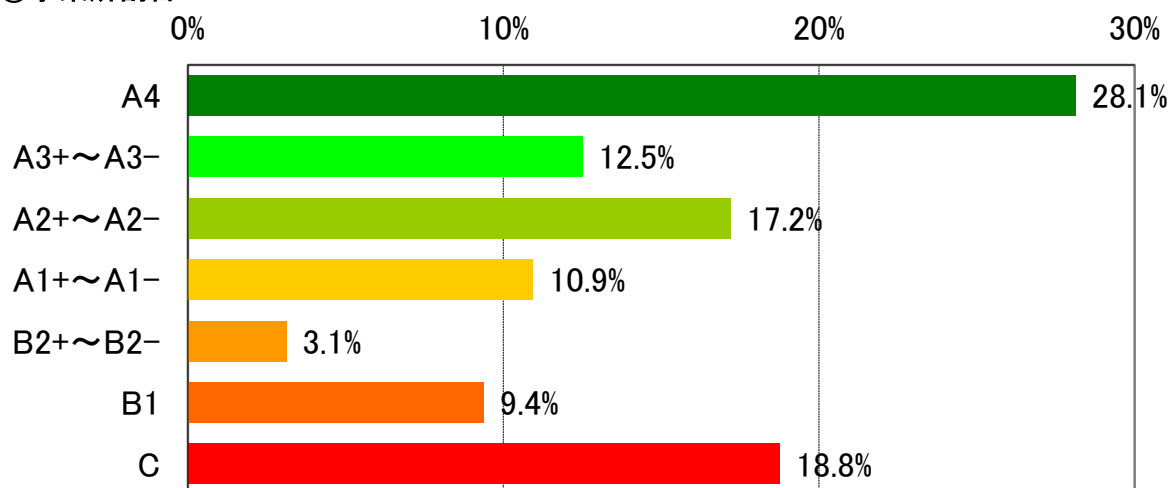
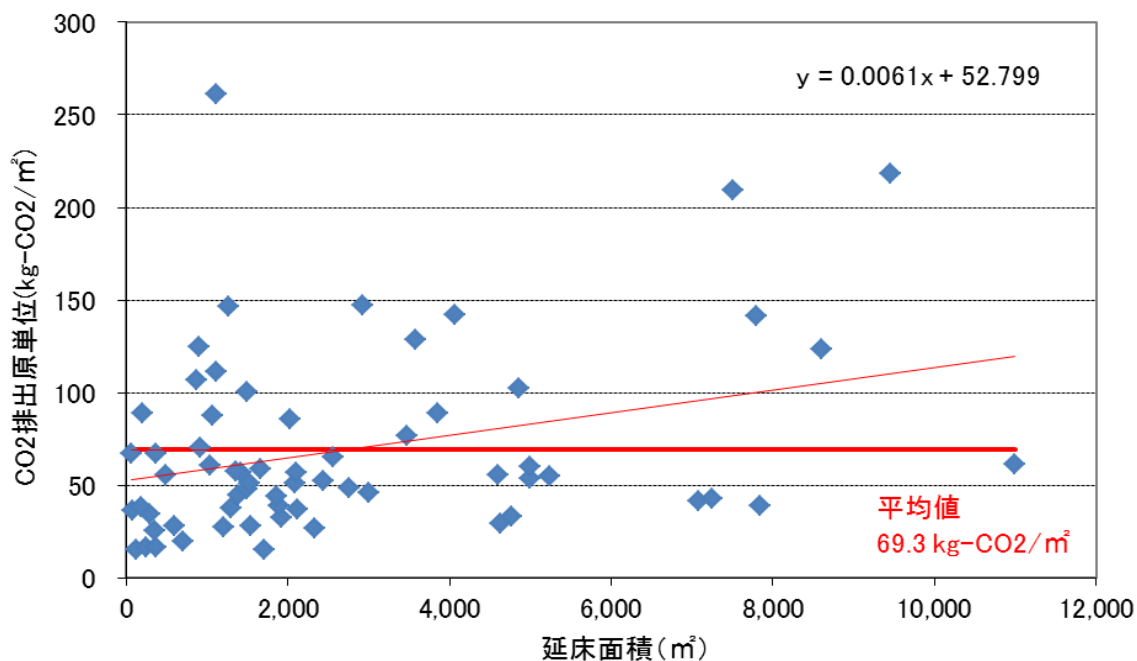
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	38.2 以下	18	28.1%	1358
A3 +	0.55超-0.60以下	38.2 超 41.6 以下	3	12.5%	5606
A3	0.60超-0.65以下	41.6 超 45.1 以下	3		3498
A3 -	0.65超-0.70以下	45.1 超 48.6 以下	2		2241
A2 +	0.70超-0.75以下	48.6 超 52.0 以下	3	17.2%	2123
A2	0.75超-0.80以下	52.0 超 55.5 以下	3		4220
A2 -	0.80超-0.85以下	55.5 超 59.0 以下	5		1987
A1 +	0.85超-0.90以下	59.0 超 62.4 以下	4	10.9%	4668
A1	0.90超-0.95以下	62.4 超 65.9 以下	1		2562
A1 -	0.95超-1.00以下	65.9 超 平均値 69.3 以下	2		216
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 69.3 超 72.8 以下	1	3.1%	911
B2	1.05超-1.10以下	72.8 超 76.3 以下	0		0
B2 -	1.10超-1.15以下	76.3 超 79.7 以下	1		3475
B1	1.15超-1.50以下	79.7 超 104.0 以下	6	9.4%	2249
C	1.50超	104.0 超	12	18.8%	4097
合計			64	平均	2717

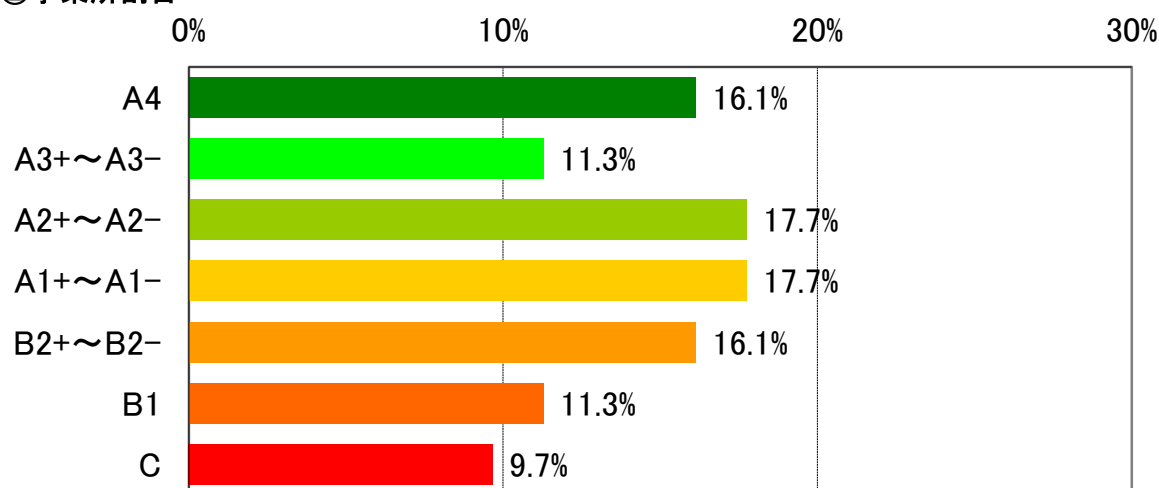
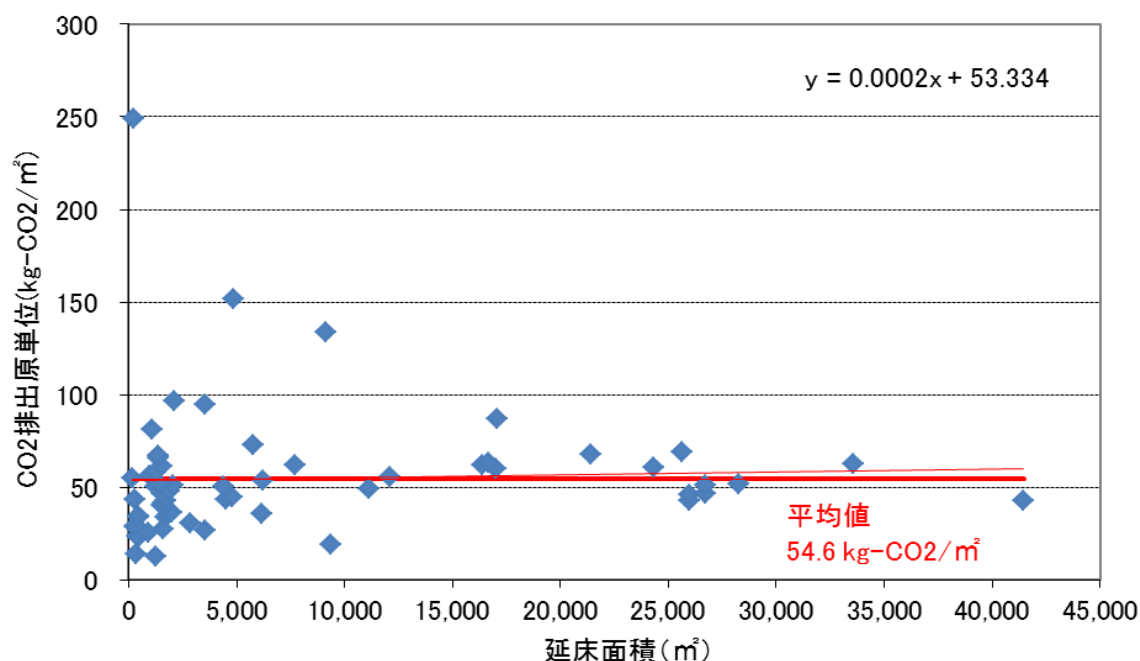
②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

①自己評価指標(ベンチマーク)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /㎡)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(㎡)
A4	0.55以下	30.1 以下	10	16.1%	1857
A3 +	0.55超-0.60以下	30.1 超 32.8 以下	1	11.3%	2843
A3	0.60超-0.65以下	32.8 超 35.5 以下	4		1115
A3 -	0.65超-0.70以下	35.5 超 38.3 以下	2		4080
A2 +	0.70超-0.75以下	38.3 超 41.0 以下	2	17.7%	1605
A2	0.75超-0.80以下	41.0 超 43.7 以下	6		12596
A2 -	0.80超-0.85以下	43.7 超 46.5 以下	3		19158
A1 +	0.85超-0.90以下	46.5 超 49.2 以下	3	17.7%	1686
A1	0.90超-0.95以下	49.2 超 51.9 以下	7		10757
A1 -	0.95超-1.00以下	51.9 超 54.6 以下	1		6219
B2 +	1.00超-1.05以下	平均値 54.6 超 57.4 以下	3	16.1%	4425
B2	1.05超-1.10以下	57.4 超 60.1 以下	2		9124
B2 -	1.10超-1.15以下	60.1 超 62.8 以下	5		16703
B1	1.15超-1.50以下	62.8 超 81.9 以下	7	11.3%	10476
C	1.50超	81.9 超	6	9.7%	6169
合計			62	平均	7778

②事業所割合

③CO₂排出原単位の散布図

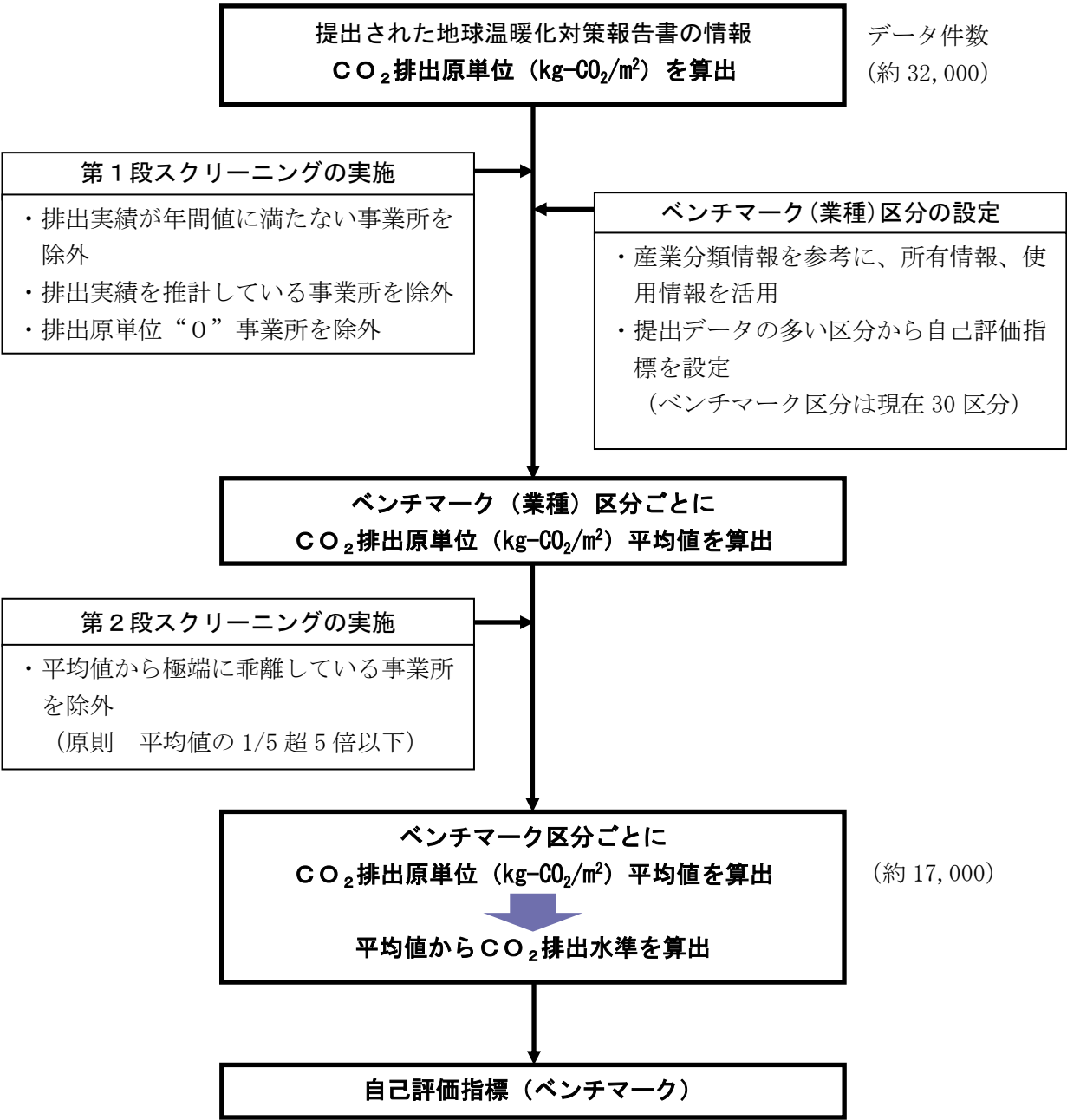
参考資料

ベンチマークの作成方法

参考. ベンチマークの作成方法

1. ベンチマーク作成作業フロー

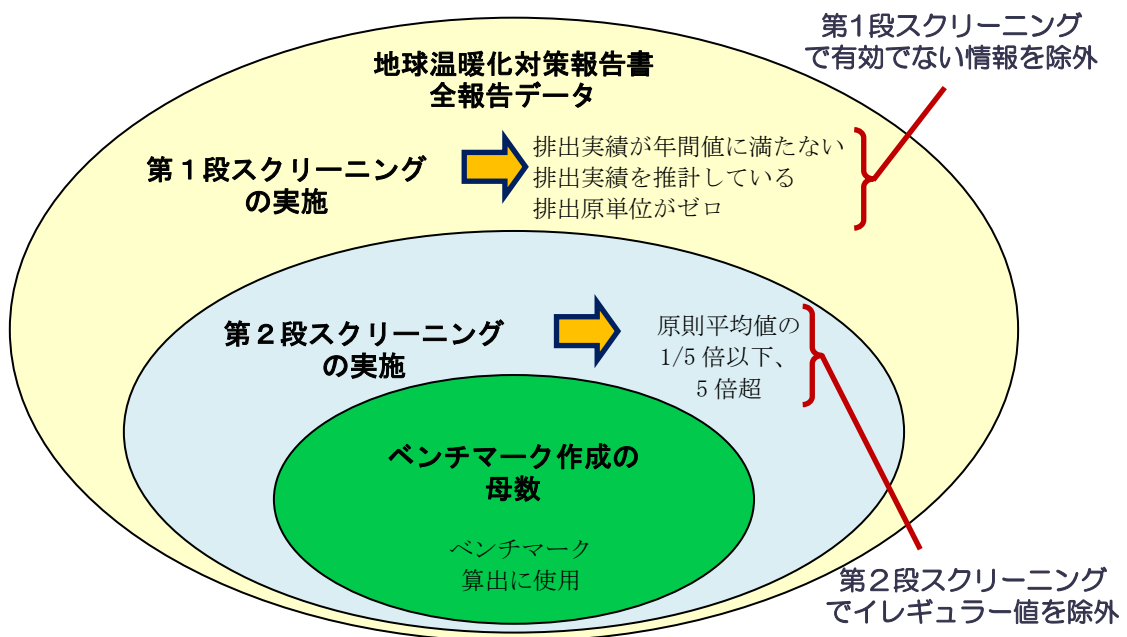
ベンチマークは、地球温暖化対策報告書で収集した事業所情報から、以下のプロセスを経て抽出・作成しています。



参考図-1 自己評価指標の作成フロー

2. スクリーニング作業の概念

ベンチマークの作成において、できるだけ実態に即した指標を作成するため、有効なデータとならない事業所情報を、ベンチマークを算出する母数から除外するため、2段階のスクリーニングを実施しています。以下にその概念を示します。



参考図-2 スクリーニング作業の概念

第1段階スクリーニング作業では、CO₂排出量が1年度分の実績に満たない事業所など有効でない情報を除外しています。

- ①排出実績が年間値に満たないもの（例：年度途中での閉所・開所）
- ②排出実績を推計しているもの
- ③排出原単位がゼロのもの

第2段階スクリーニングでは、第1段階スクリーニング後、仮に算出した平均値から極端に乖離している事業所の情報を除外しています。

第2段階スクリーニングでは、原則平均値の1/5倍と5倍（区分によっては、1/10倍、10倍）を閾値としています。これで、最多排出原単位と最少原単位との差は、最大で25倍（100倍）になります。

自己評価指標（ベンチマーク）解説書

平成 28 年 3 月発行

編集・発行 東京都環境局 地球環境エネルギー部

地域エネルギー課 中小規模事業所対策支援係